男一匹ガキ大将

万吉 大人になるの巻

第4巻

本宮ひろ志

男一匹ガキ大将

●第4巻●

本宮ひろ志

万吉 大人になるの巻

戸川万吉はけんかをするのが三度の飯より大好きな暴れん坊だ。

故郷の西海村をとびだし、東京にでてきた万吉は、岡野友子の家にやっかいになることになった。

しかし友子の父の会社・岡野建設が水戸のおばばにのっとられたのを知った万吉の怒りは爆発した。

水戸のおばばと大人のけんかの一騎討ちをする決意をする。株の世界へなぐりこみをかけるのだ。

ガキ大将
戸川万吉

水戸屋商事会長
水戸正江

白川宇太郎

万吉の軍師
坊谷津光五郎

仲台誠十郎

かつての株の神さま・坊屋津光五郎を軍師として、大勝負をする。

しかし株を買うには大金が必要なのに気づいた万吉は、すっかり困惑した。金をもうけるこなんか今まで考えてもみなかったからだ。

軍師の知恵で、万吉の代理として片目の銀次が、西海へむかった。

昭和ハウス社長
稲垣日出夫

万吉の一千人の子分にアルバイトをさせれば、たちどころに大金が集まるという計画である。

銀次の必死の努力で、百三十七万円がたちどころに集まった。

いよいよ一発大勝負の時である。浮浪者の情報網を使い昭和ハウスという建設会社に白羽の矢がたった。

社長の稲垣にあった万吉は、30万円で家を建てようという話に、すっかりほれこみ、全面的に昭和ハウスを支援する約束をする。

昭和ハウスが作ったモデルハウスを破壊しようと、万吉や浮浪者たちが守るちようちん岬へ、競争会社がさしむけたぶっこわし屋がなぐりこんできた……!!

ラッパ　久保銀次

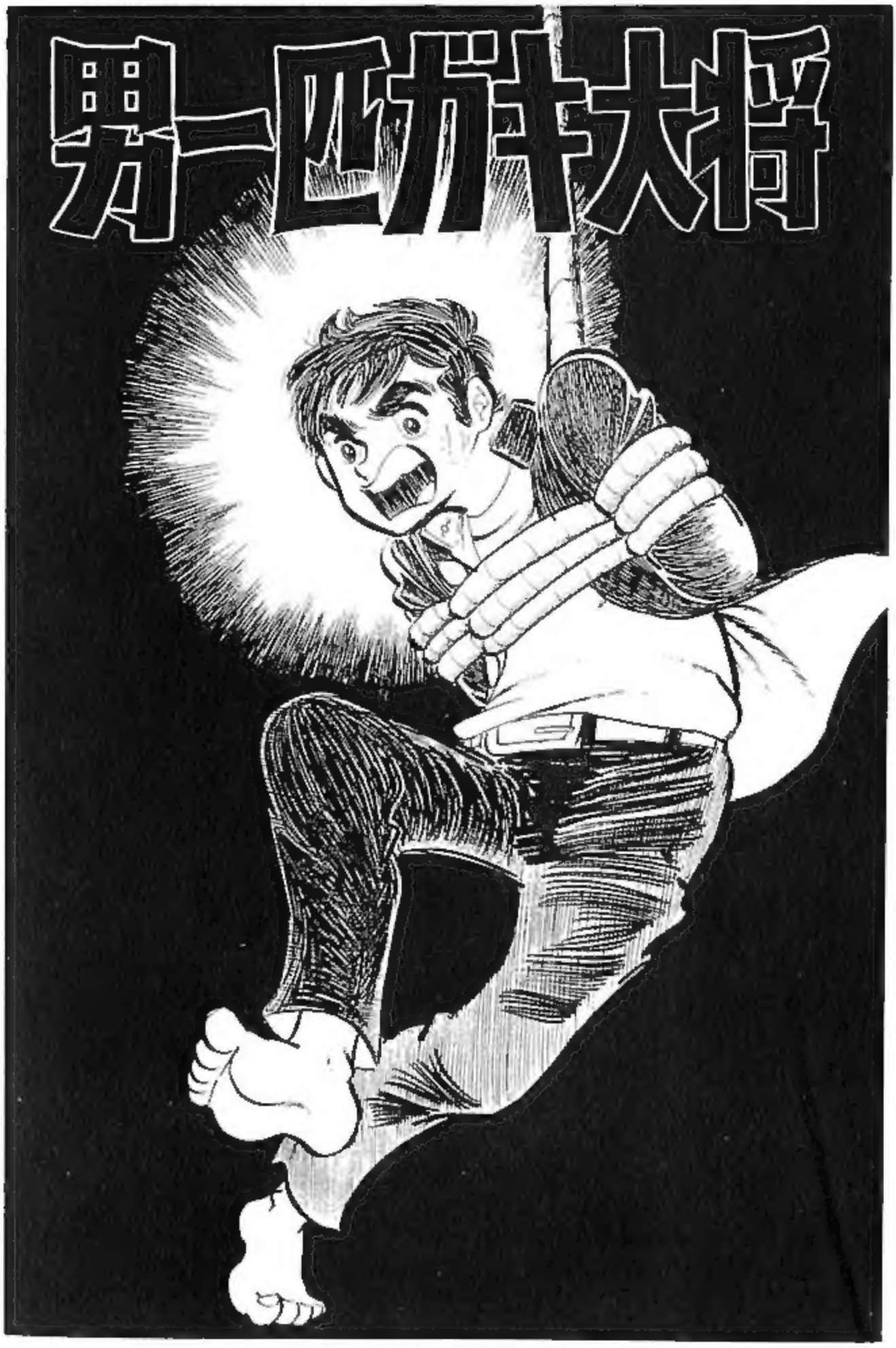
便利屋三吉

目次

男一匹ガキ大将4
万吉　大人になるの巻

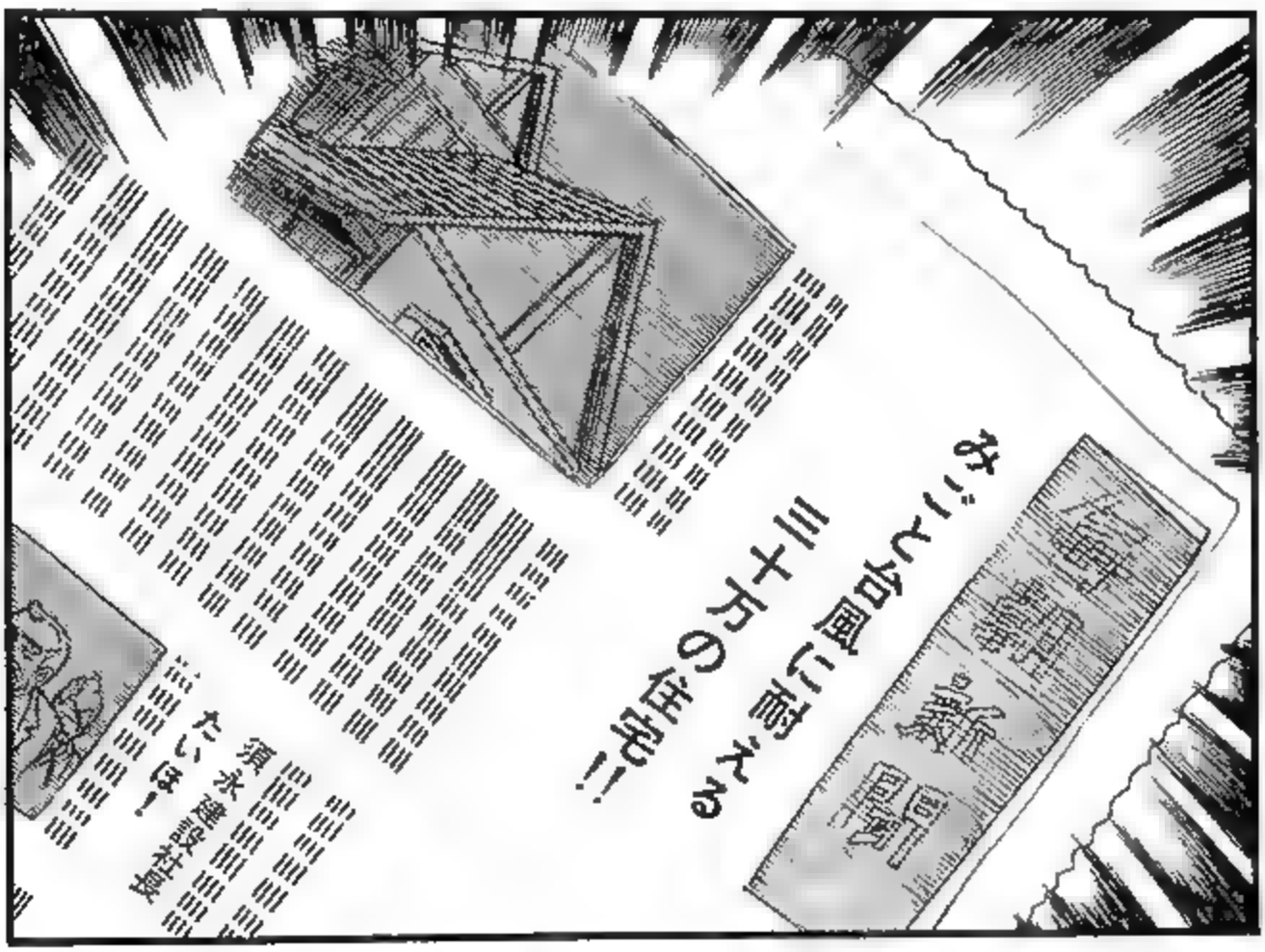
英雄帰るの巻……8
しごかれる万吉の巻……48
炎の西海の巻……78
和尚　負けるの巻……108
焼け野原の万吉の巻……128
万吉　怒るの巻……147
『おとなになれ！』の巻……167
赤姫山籠城の巻……186

男一匹ガキ大将



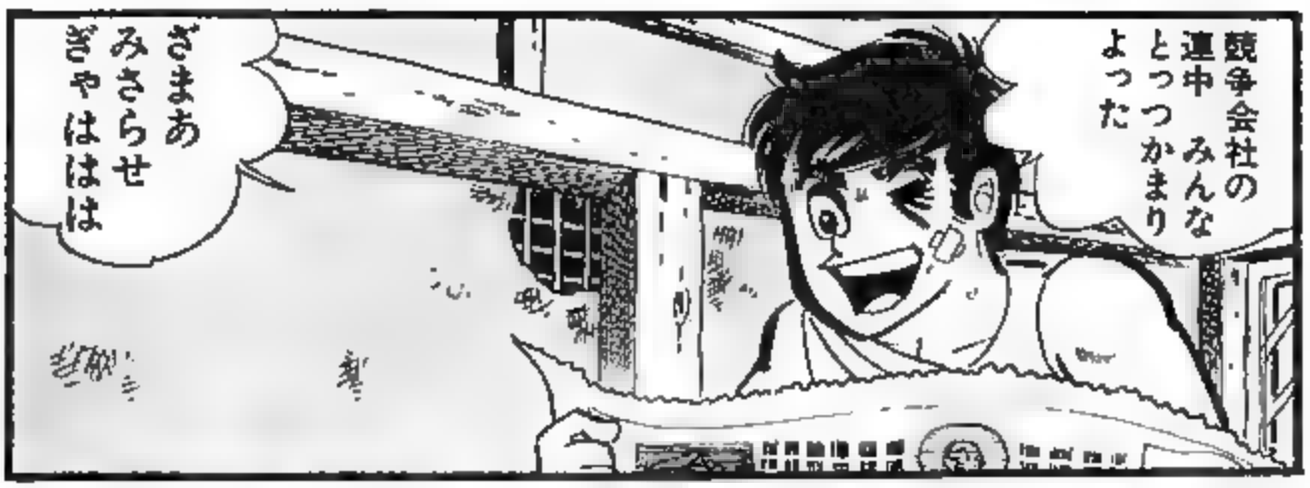
英雄帰るの巻

やったぜ〜っ
へっへへへ
ぎゃ〜
あっ
うわーっ
親分!!
万吉
親分!!
昭和二十年
九月二十日
真っ昼間
なにやら
三人衆
のようすが
おかしい


須永陣設土木
たいほ！
三十九の男に！
みごとな個人住宅ぞ

昭和ハウス
株価いっきょ
五八十円!!

ぎゃ
ははは
……

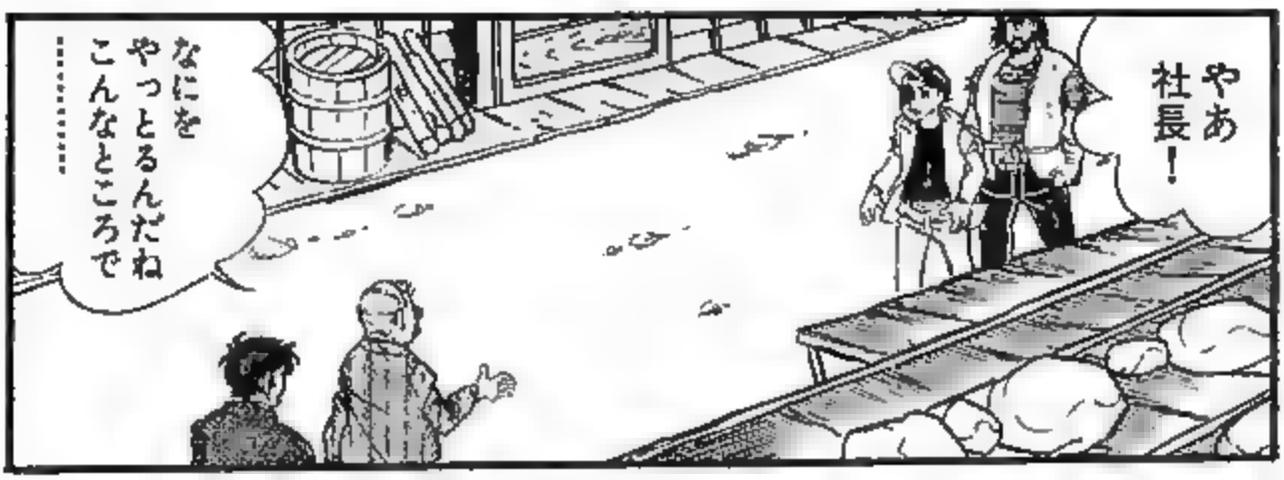

競争会社の連中 みんなとっつかまりよった
ざまあみさらせぎゃははは

とっ……イテテテ……
ほら～～っ

だからいったじゃないおとなしくねてなきゃだめだって
う！うむ！
それよりはらへったよおれ
ふふ……

おなかがすくようになれば もう大丈夫ね
あぁっへっへへ…
待っててねいますぐよ……
はい……おまちどうさま
わたしがたべさせてあげるわね
はいあ～～～んして
ああ～～～ん
ああ～～～っ
みちゃいられねえぜまったく
みてるこっちがはずかしくならあ
ふふふ……

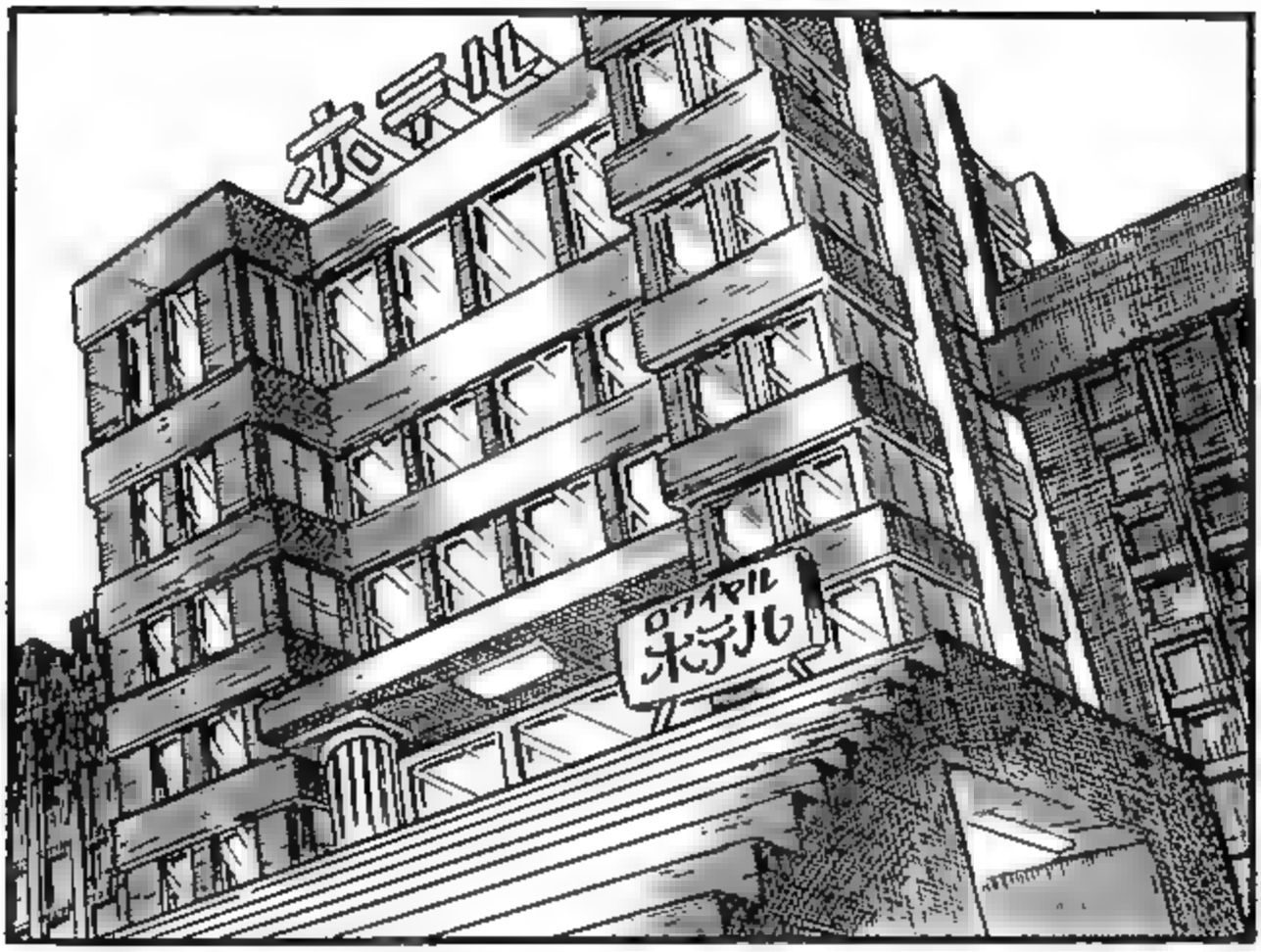
よお～～っ
みなさん
ン！


やあ
社長！
なにを
やっとるんだね
こんなところで
……

へっへへ
ふっふ…

万吉くんは
おるんだ
ろう…

おっとと
いけねえよ
いま 中へ
はいっちゃ
いけねえ
へっへへ
なぜや
おっ…おい
こら……


ホテル
ロワイヤル
ホテル

本日
戸川万吉様
かしきり!!
この方でございます

あっ……まことに申しわけございません
本日はかしきりになっております

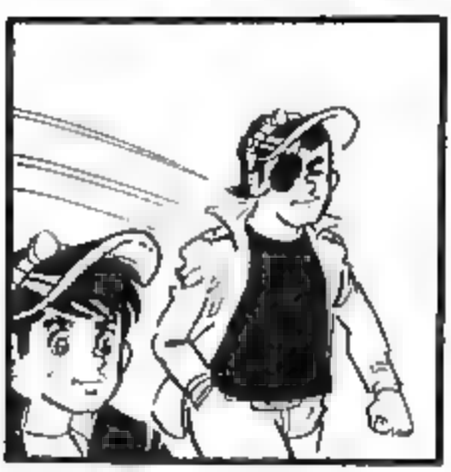
なにいっだれのだね……
はあ……

うむ？
しかたが
ない……
HOTEL
まことに
申しわけご
ざいません
おい戸川万吉
ってのは
何者なんだ
さあな……
どこかで
きいたことが
あるんだがな
ン!!
な
なんだ
ありゃ
あーっ

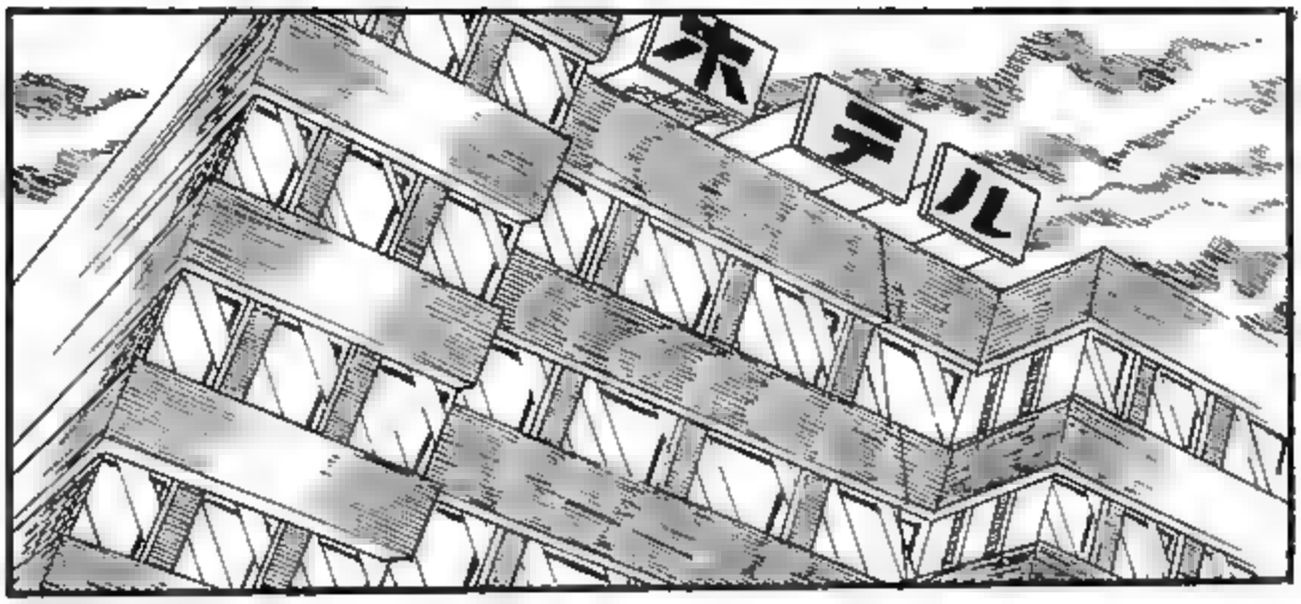
みんな
きょうは
のんでくって
おおいに
さわいで
くれっ
おお
ーっ
こら
ーっ
おい
まて
まて!!

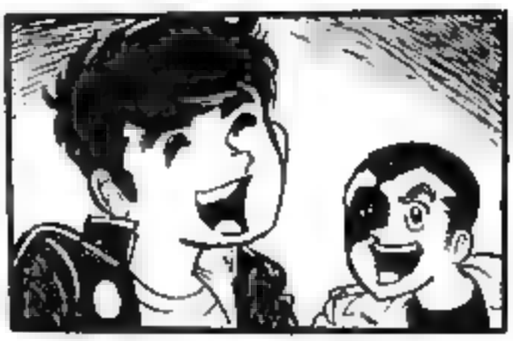
ここは
おまえたち
などの くる
ところでは
ないぞ
なにを
やっとるか
帰れ帰れ

それに
本日は 戸川
万吉さまの
かしきりだ
早く帰らんと
警察をよぶぞ
HOTEL

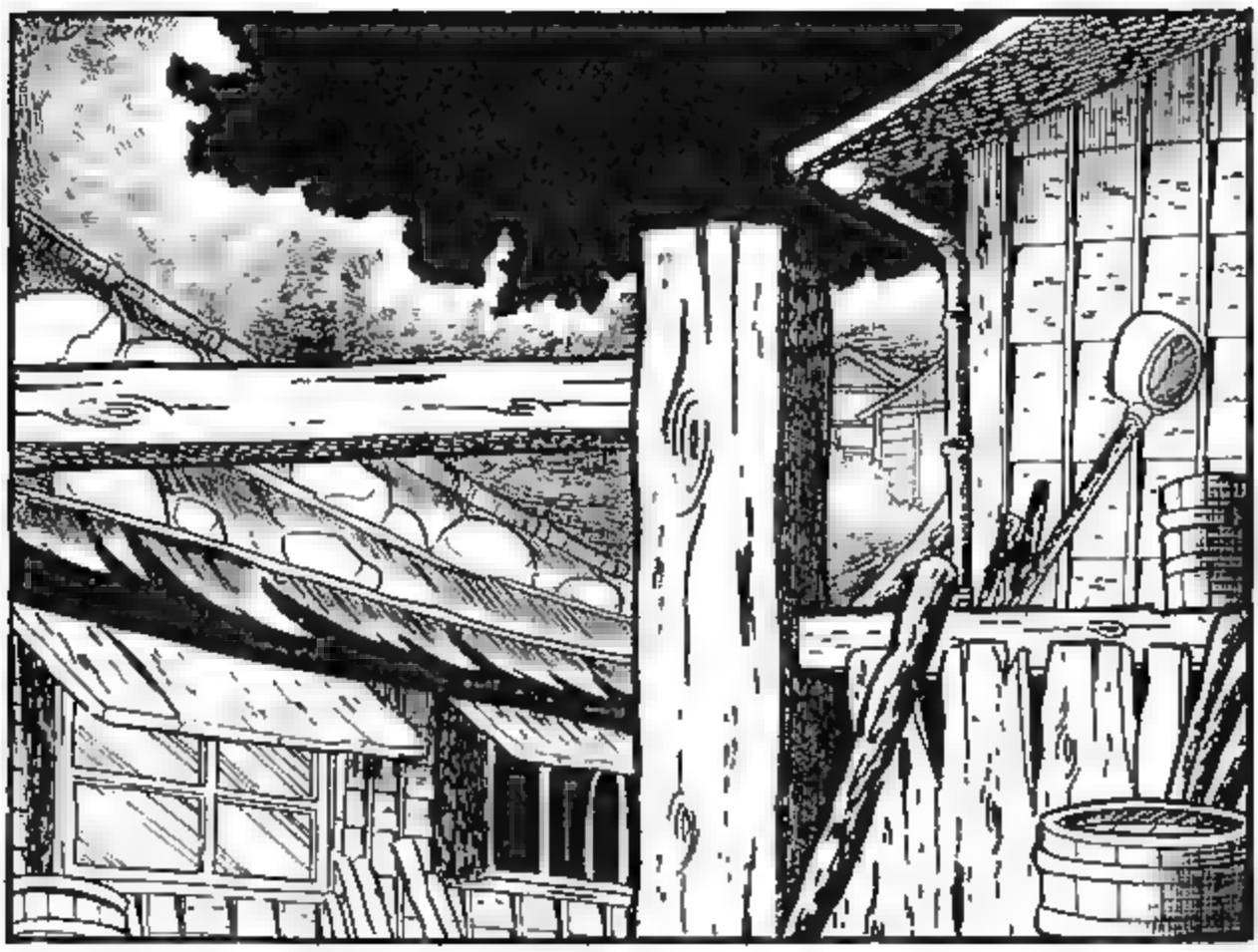


うっ
ぐいっ
なっ…
なにを
する！
あの方が
戸川万吉
さまよおっ
ええっ
文句
あるかっ
!!
ええっ
この
野郎
わっはは
わっはは
わっはは…
あれかね
……
戸川万吉と
いうのは
はあ
……



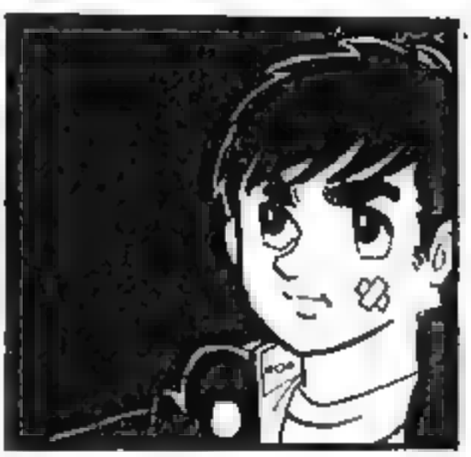


その後　昭和ハウスは　すさまじい人気になり…
売れに売れまくった



どうだね
万吉くん

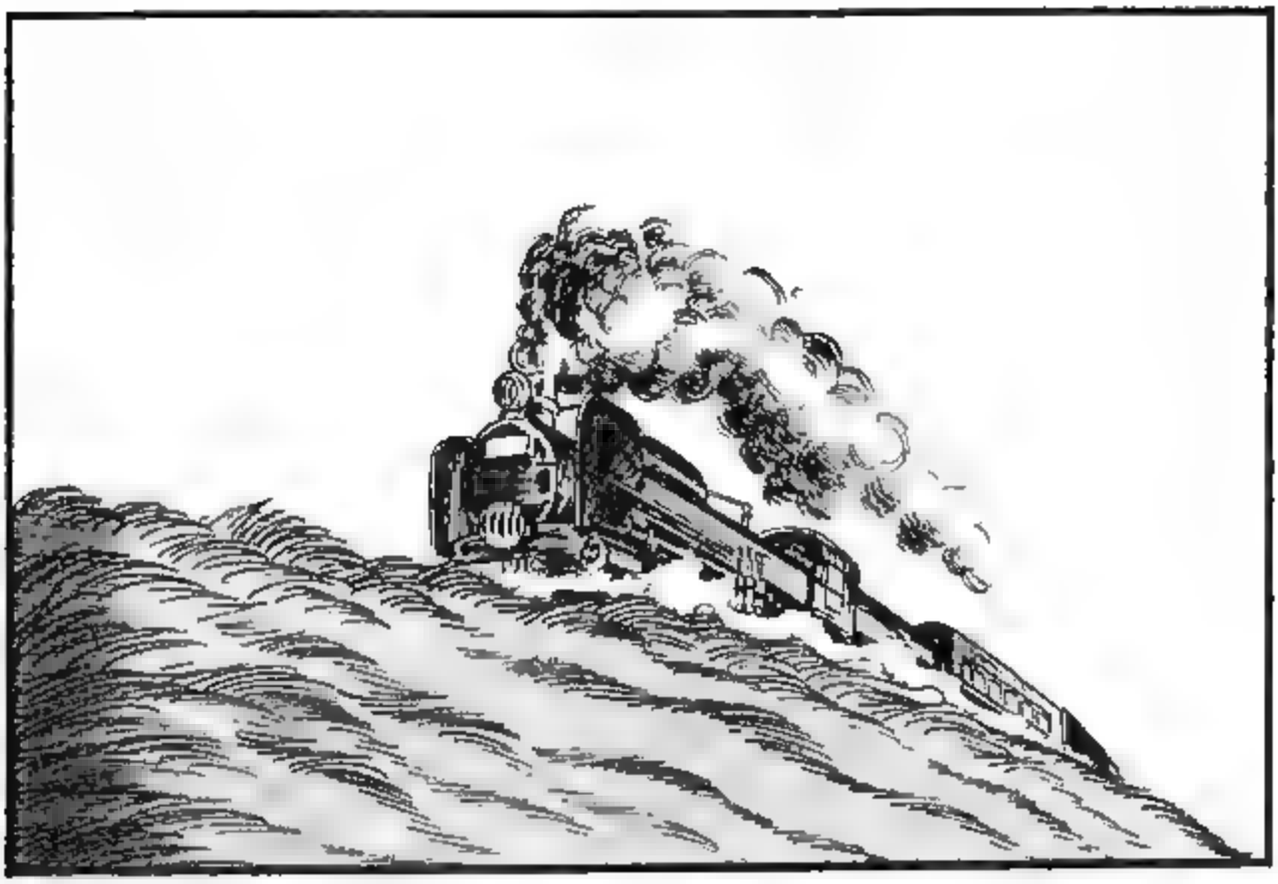
きみの持ち株は
いま約十五万
株ある……
ちょっとした
株主だし…



わが社の経営にくわわる気はないかね
もちろん重役としてだが……
ほえ～～～っ重役！
そいつあすげえや
ねえ親分……
どうじゃろう悪い話ではあるまい…
へえっへへ……
やめときまっさ
へっ…
親分そんなもったいない
アホンダラ!!

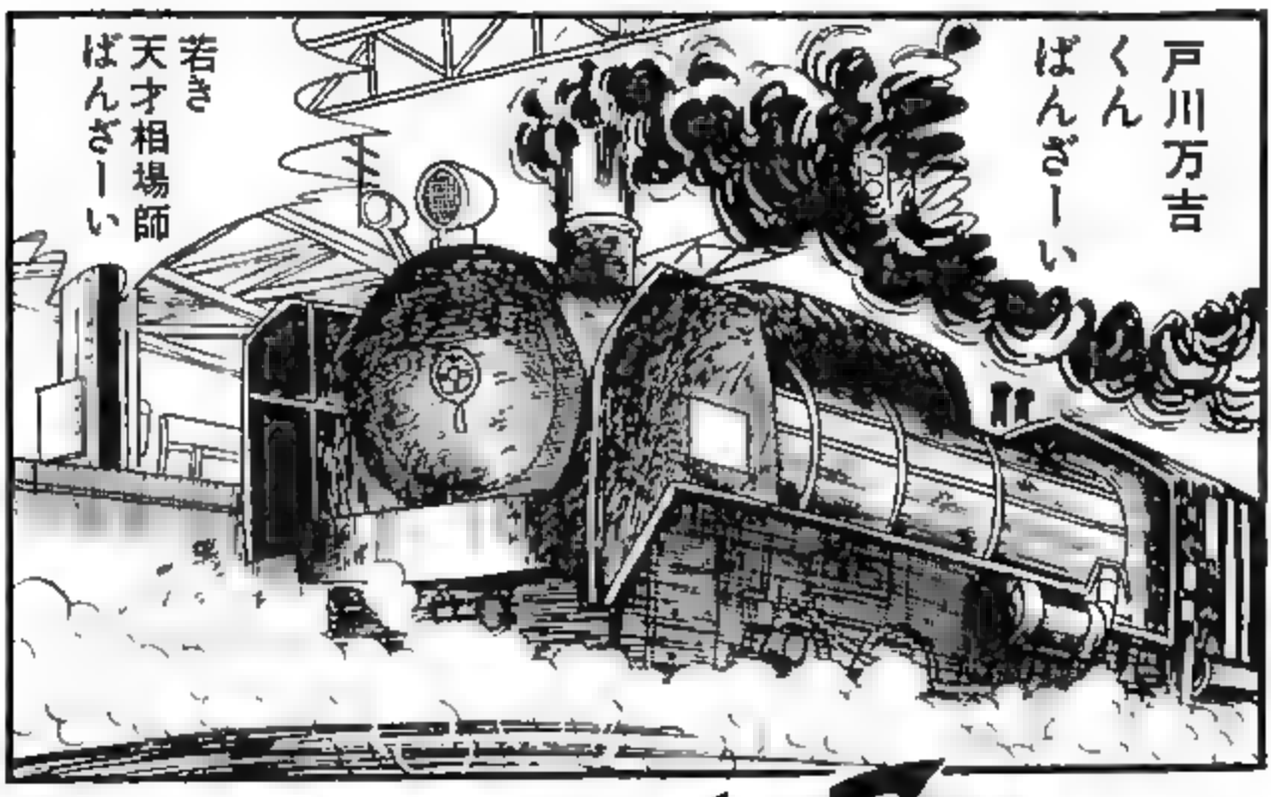
へい……
わいをだれや思うとんね
ふふ……男一匹戸川万吉
昭和ハウスごときに 一泡をすえて 満足せん……か
そっ…そういうこっちゃ……
ふふっ…はっきりいいおるわい……
まっ…むりにはいわん…
それより社長……
わいの持ち株をいま売ったら全部でいくらになる
一億七～八千万にはなるだろう
いっ…いちおく!!
いちおくってこと一億のことですかい
一億八千万……か

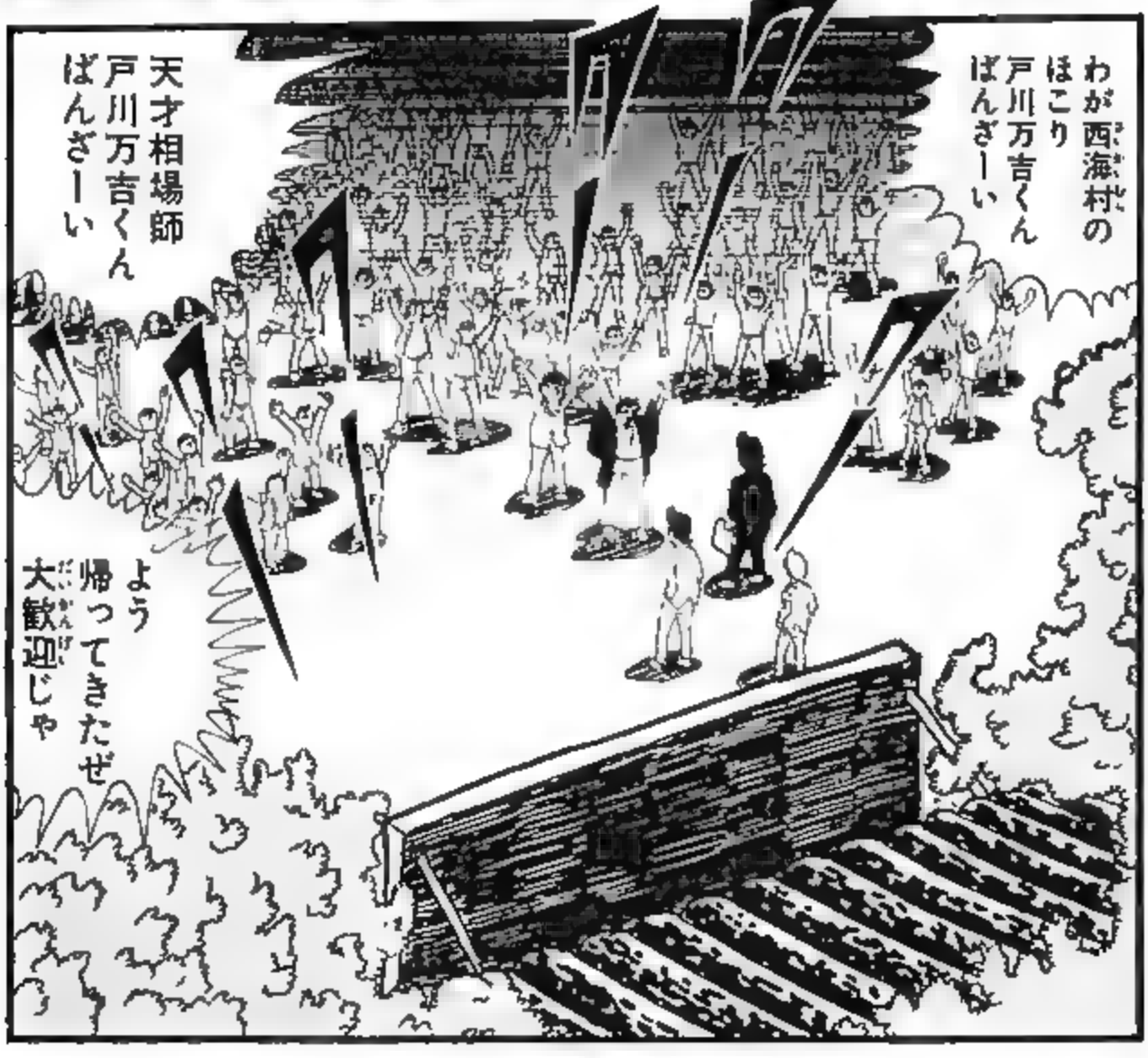
よっしゃ
ぜんぶ
売る
なんと……
ほっ……
本気かね……
ああ……
わが昭和ハウスは
まだまだ
あがるぞ……
わが昭和ハウスは
売れに 売れ
まくっとる
それをなぜ……
なぜ
そんな
気に
なったん
じゃね
わからん
売ったほうがいい
そういう気が
するだけや！
ふふ…この男
うまれついた
時から
相場師のカンを
持っとるのかも
しれん
たしかに
昭和ハウス
いま手を
ひくのが
一番いい……
人間
いつまでも
安物で
満足する
はずがない
からのう
なかなか
やるわい
親分よ…



おかあちゃん
わいは
いま帰るぞ…

このカバンの中に一億八千万という金を持ってる……
わいは おかあちゃんの財産や
でっかい財産となって帰るんや……
へえっへへ親分……
みんな大さわぎだぜきっと……
ケへへ…
みてくれこいつを
新聞でも週刊誌でも親分のことでもちきりだぜ
ぎゃはははは…


戸川万吉
くん
ばんざーい
若き
天才相場師
ばんざーい


わが西海村の
ほこり
戸川万吉くん
ばんざーい
天才相場師
戸川万吉くん
ばんざーい
よう
帰ってきたぜ
大歓迎じゃ

なっ……
なんや
これはっ？
へえっ
……

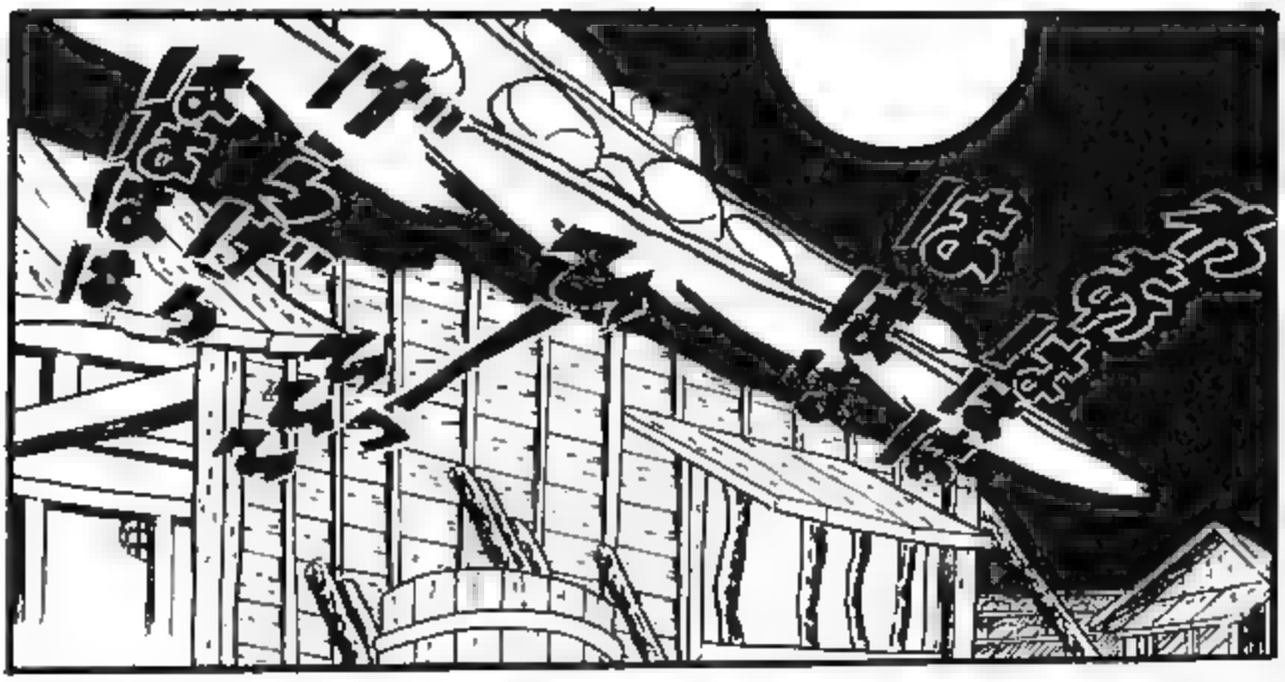
やあ 万吉くん
このたびは
大へんな
ご成功で……
村長として
大へん鼻が
高いですわ

まこと
西海村の
ほこりじゃ
のう 村長
まったく
で……

きょうは
若き西海の
英雄を……

こうして
村中で
おむかえに
まいりました

へっへへ……
お帰りなさい親分…
いひひ……
親分……
よっしゃあ
きょうはみんなでわいの家へきてくれっ
ぶわーっとごちそうするで……
いよおっ待ってました!!
西海の色男!!
日本一の相場師!!


ガハハハ

ぎゃはは
ははは
そんな
てれくさい
ことを
さあさあ
ひとつ
いや なあに
みんなの
いうとる
とおりじゃ
万吉はん

網元
はん！
万吉は まだ
未成年でっせ
こまります
お酒なんぞ…
まあまあ
そうかたい
ことを
いわんと

あの大酒のみの
源さんの
むすこじゃ
飲め
んことは
あるまい
飲めんことは
……
そうだそうだ
やれやれ
はっはは

それに
もうりっ
ぱに一人
前やのう
万吉はん
へえっへ
へへ……
そうやな
わいもこれで
いっぱしの
人間になった
んや
いっちょう
飲むか！

いよう
待って
ました
万吉親分
はっはは
ガラゲング
それで
こそ
男だ
万吉
おまえ
ごくん
ごくん
ほーっ
こいつは
すごい
さすが
源さんの
ひとりむすこ
じゃあ

これで…
いいのやろか
こんなことで……
はっはっはっはっはっ
眼帯の大将
あんたも
どうかね
おう
へっへっへ
さあさあ
もう
いっこん
ちぇっ
おとなちゅう
のんは
いいかげんな
もんや
いままでは
親分のこと
しらんぶり
しとって
なんじゃい
ほんまや
親分が
金持ちに
なったら　急にちや
ほやさらしやがって
うひゃ
ひゃひゃ
おりゃあ
一人前よ
なあ
網元!!
そうとも
そうとも
ところで
ひとつ
たのみが
あるんだ
がのう
万吉はん

う〜〜ん
たのみや〜〜〜っ
なんじゃいそりゃあ
へっへへへじつは……

港の堤防がだいぶいたんできてのう
今年中には修繕せんとそのう……

それで〜〜〜っ
金やな……

こりやどうも
さすが万吉はんやさっしがええわい……

ギャっはははは
あたりまえじゃ

さあ
持って
けっ!!
ポイッ
一千万も
ありゃ
たりるやろう
ふん
ぎゃーっ
こっ……
こりゃ
どうも
気前のいいのも
日本一やな
万吉はん
へえっ
へへへ……
あったり
まえや……
天才相場師
戸川万吉さま
じゃい!
はっはっはっ
それから
……
チッ
こいつが
……

わいらにこづかいでっしゃろ
わりゃなにさらす!!
わいのやどこれ……いててて…
あわてるな!!
その金でおかあちゃんのために
ごてんのような家を建ててくれ
……
たのむぞ網元(あみもと)……
へいへいたしかに承知(しょうち)しました

まっ……万吉
おかあちゃん
は　そんな
もん……
まあまあ
ええから
おかあちゃん…
わいに
まかしとき

それから……
ごくん
ごくん

銀次！
へい……
みんなに
借りたぶんや
ひとりひとり
10倍にして
返して
やってくれ

へい…
わかり
やした
それから
〜〜っ
こいつが…

ふたつは
もったいねえ
へっへっ
こいつが
みんなの
こづかいじゃ
とれ!!
ワーッ
ぎゃあ
〜〜〜っ
わひゅ
〜〜〜っ

わあっ
ははは
は……
こりゃ
なにさら
すわいの
やど
はっはっはっはっはっ
じゃか
ましい
わーっ
いてて
うひゃ
ひゃ
おっ……
おやぶん
ン……
そういえば
ヒック……
あのくそ坊主が
ヒック…きて
へんやないけ
ウン
～～～ッ
おいっ
網元!!

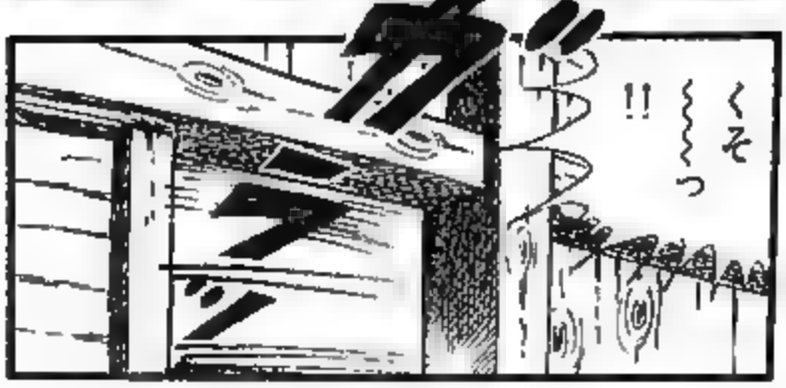
へっ
へい……

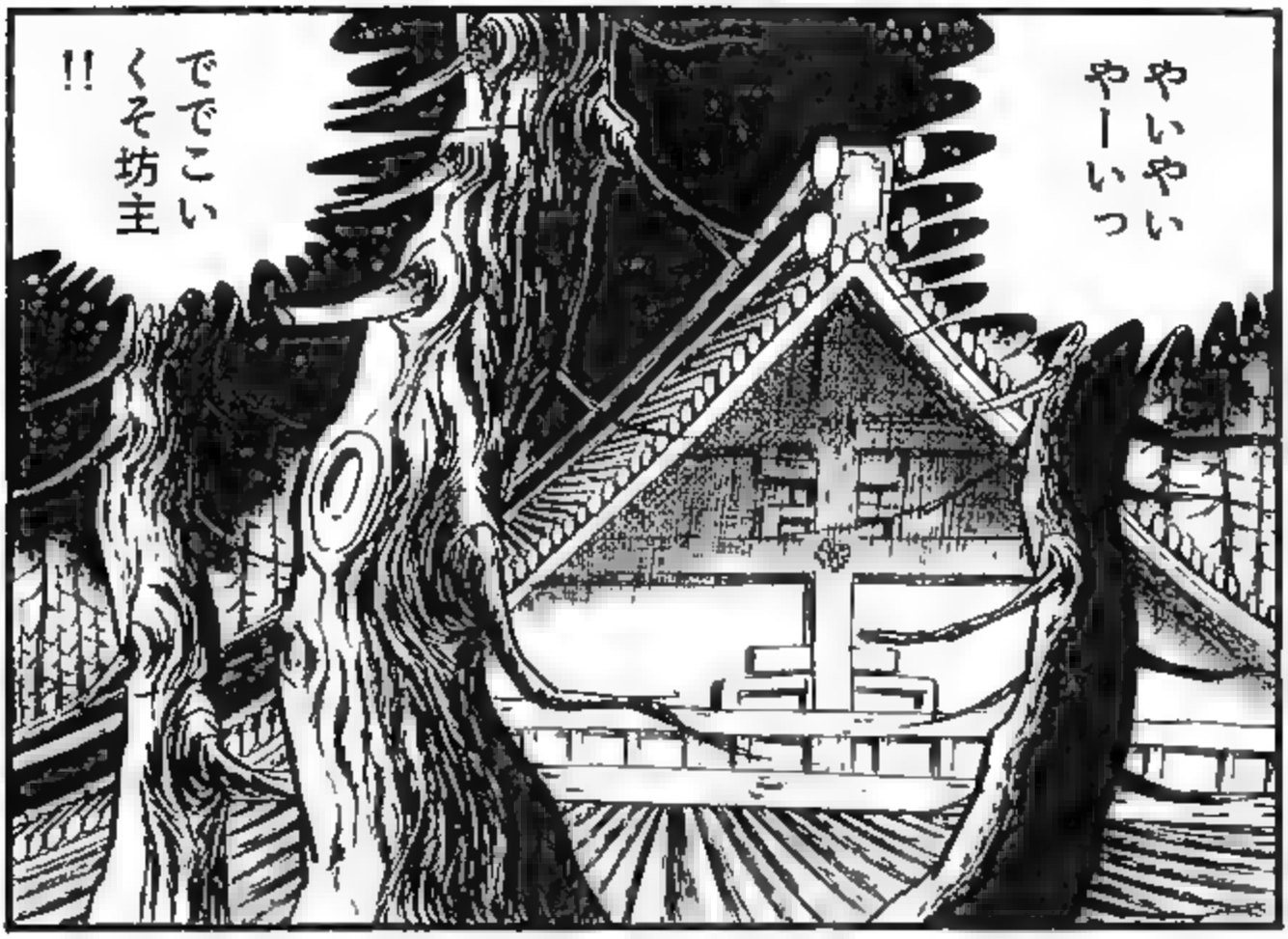
坊主はどないしたんじゃい……
くそ坊主は……
はっ
はあ……

それがその
あんなばかの所へいく必要はないと……

なにい
〜〜〜っ!!

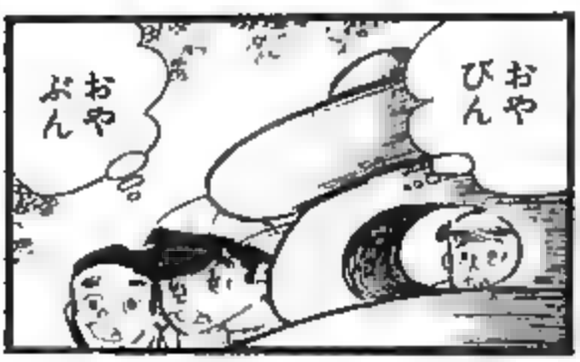
あんなばかのところへいく心要はない〜〜〜っ
わっ……わしがいったんじゃありませんよ…

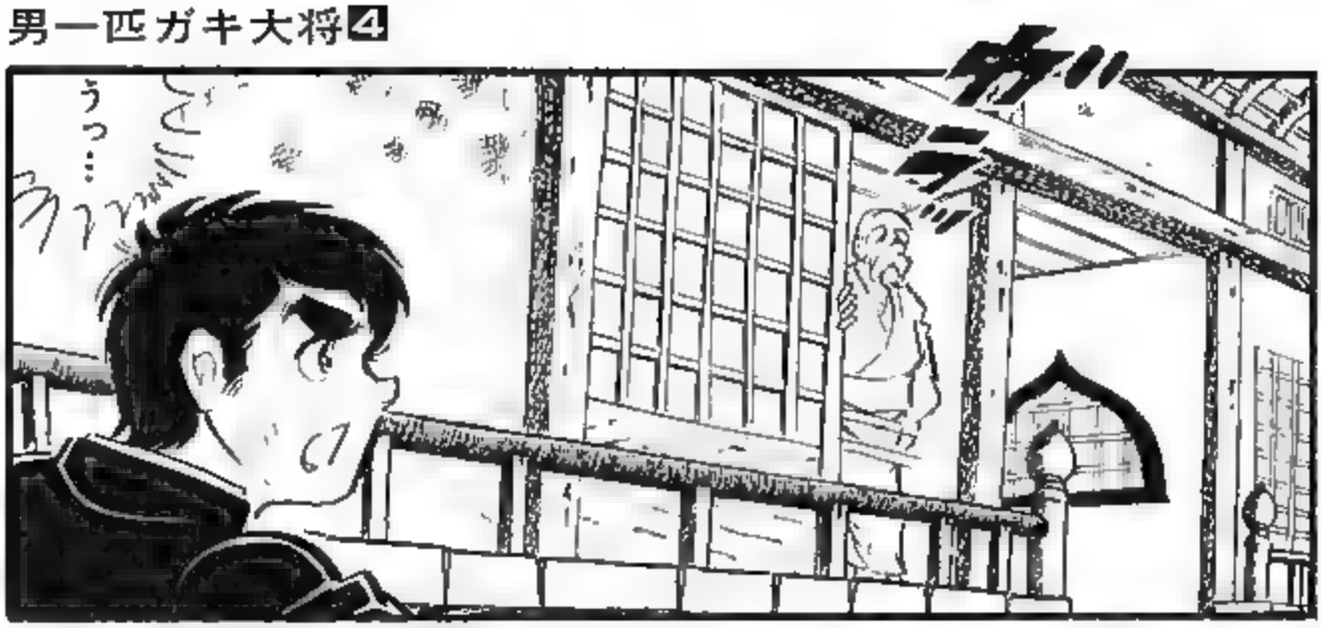

くそ
〜〜〜っ
!!


やいやいやーいっ
でてこいくそ坊主!!

万吉じゃあ……あっ!!
戸川万吉がじきじきあいにきたんじゃぞ!

でてこんかでてこんと……
こんな寺火をつけて燃やしてまうでえーっ


おやぶん
おやぶん

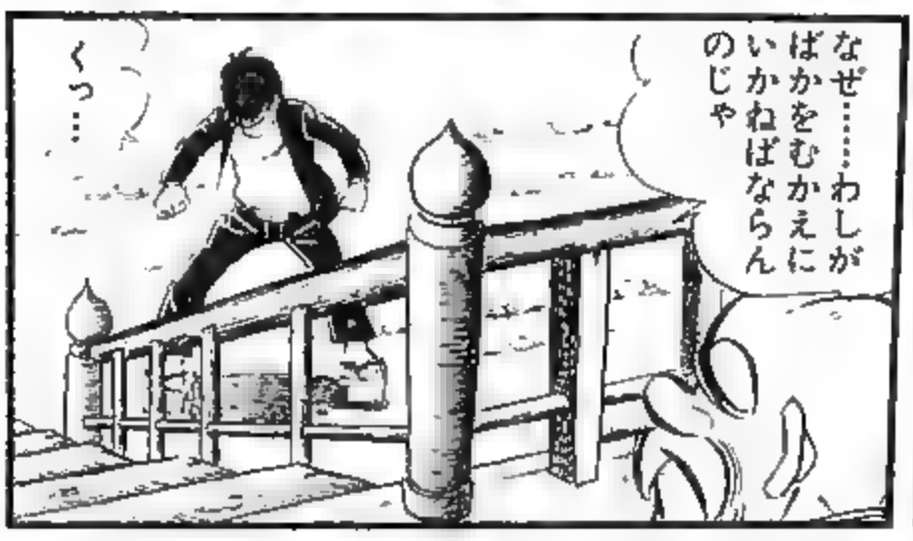

ガーン
うっ…

ふふ……
どこのやせ犬がどなっているかと思ったら……
おぬしか……
万吉……

やせ犬〜〜〜っ

ケーッ
わいが二億ももうけて帰ってきたのになんじゃいわりゃあ
でむかえにもきィへんやないけ

ふふ……


なぜ……わしがばかをむかえにいかねばならんのじゃ
くっ…

まだ
ぬかすか
くそ坊主!!
わいはな……
わいは
二億もの金を
もうけて
帰ってきたん
やど……
そのわいが
なぜ
ばかもん
じゃ!!
なぜや……
わっ
わいは…
おかあちゃんと
和尚はんに
一番よろこんで
もらえると
思って……
それなのに
なっ……
なぜや～っ
おかあちゃん
ちっとも
よろこんでいる
ようには
見えん……

うむ
〜〜っ
おぬし
酒を飲んで
おるな
おう
飲んどる
わいっ
飲んで
悪いのんか
わいはもう
一人前じゃ!!
ばか
者!!
うっ
!!うっ
!!わっ

すこしは
こたえ
たか…
ガキのくせに
酒をのむなど
言語道断
じや……
わあ
ーっ!!
まだ
わからん
のか!!
ヒッ
ピャッ

わいが　なぜ
こんなところに
つるされなきゃ
ならんの
じゃい

このくそ坊主め!!
ぶっ殺したる!!
ふはは……

うわーっ
おろせ
おろせ
おろしやがれ!!

おぬしのようなばか者にはそこが一番じゃ
やかましい!!

くそったれーっ
はげじじい
ぬかみそ坊主!!
死にぞこないめえっ

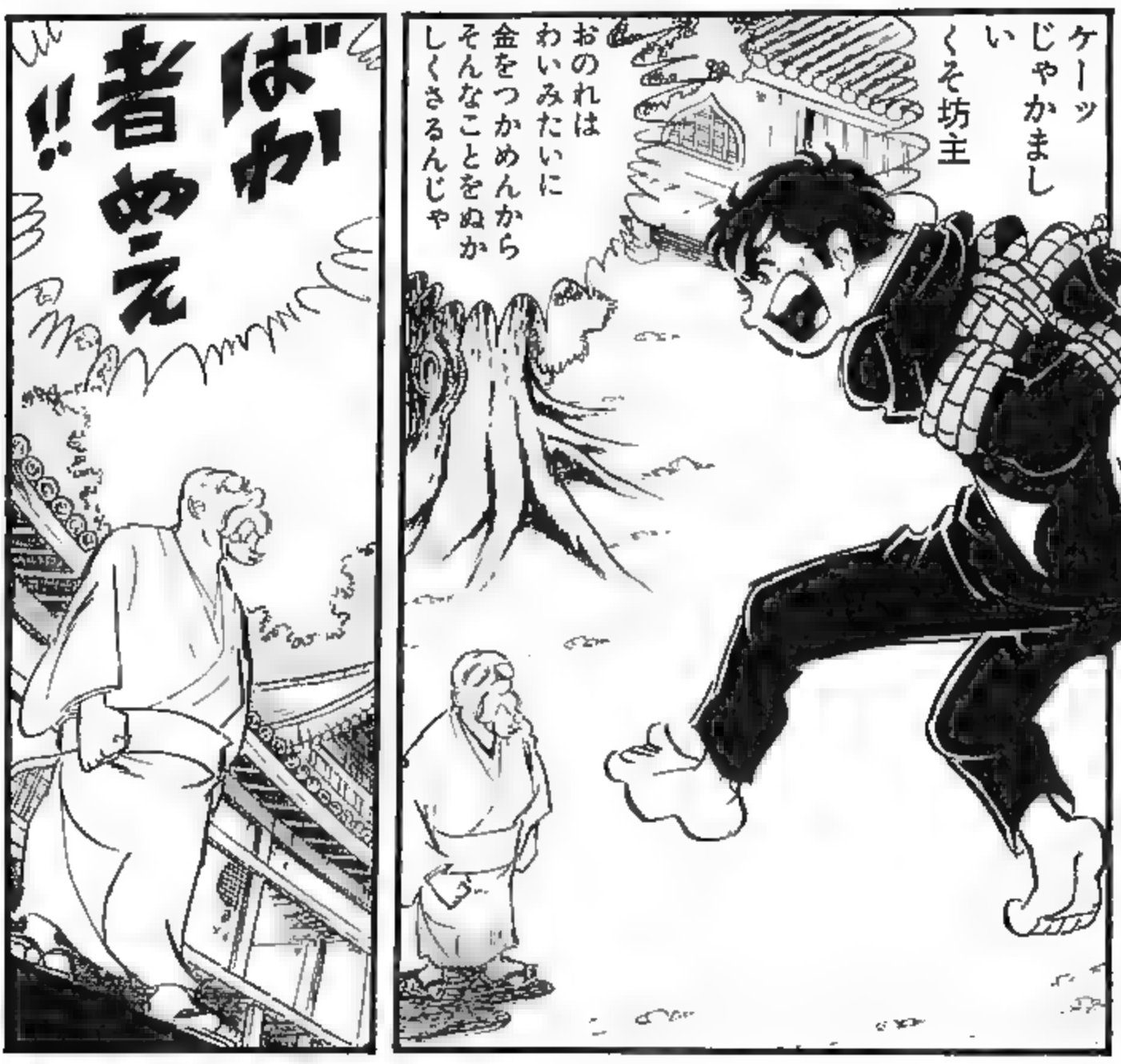
万吉おぬしゃあ
なんの目的のために金をほしがる

わけを話せわけを!
ふふ……

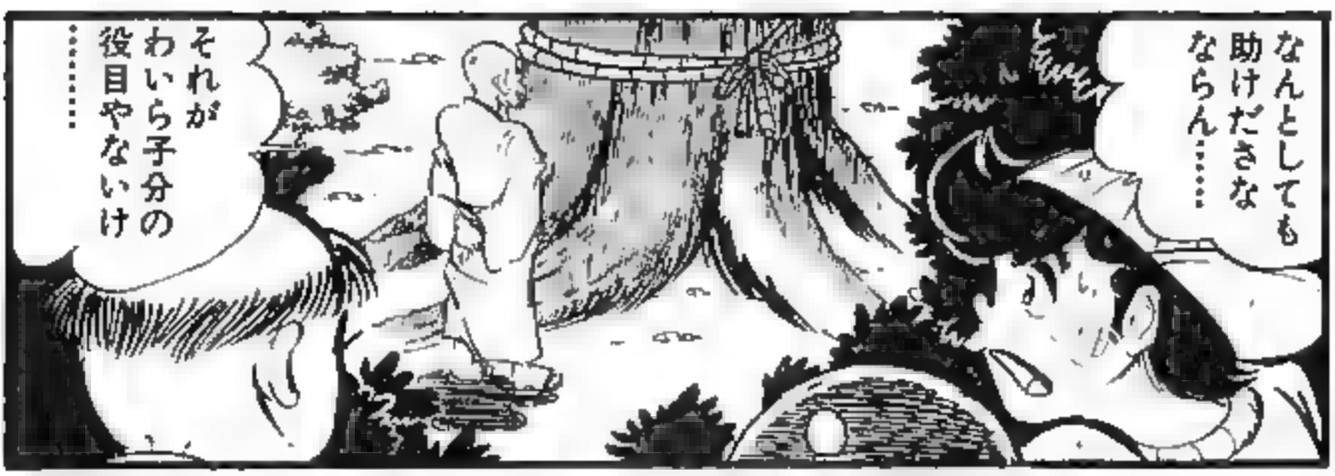
目的……

そうじゃ
金をたくさん
持って　なにを
しようと
いうのじゃ……
いうてみい
万吉……
ふふ…
いえまい
きさまには
それがない
だからすぐ
調子に
のりおる
すこしぐらい
つかんだら
天狗になり
くさるんじゃ
うすっ
ぺらな
男め…
なんじゃ
と……
ようく
聞けい
万吉!!
金のつかい方を
知らんやつが
金をほしがって
どうする!!
目的もなにも
ない人間がいく
ら　金をつかん
でもくその役に
もたたん!!
わかるか
万吉!!
目的？
……
……

しごかれる万吉の巻


ケーッ
じゃかまし
い
くそ坊主
おのれは
わいみたいに
金をつかめんから
そんなことをぬか
しくさるんじゃ
ばか者めえ!!

おっ……
どないしよう
和尚はん
ほんまに
怒っとるで
……
このまま
ほっとけへん
でえーっ
わっ……
わかっとるわい……


なんとしても
助けださな
ならん……
それが
わいら子分の
役目やないけ
……

わいは一億八千万
もうけて 帰って
きた 天下の
万吉さまやど
それをばかとは
なんじゃい
ばかとは!!
じゃか
ましい!!
おのれは
じぶんひとりの
力で すべて
やったと
思うとるのか
ききまなど
ひとりでは
なにもできん
鼻たれ小僧
じゃ!!

なっ……
なんじゃと～～～っ
一億八千万もうけたなどといばっとるがそれはひとりでやったことか？
その元の百三十六万という金はおのれが作った金か……

うっ!!
浮浪者の仲間銀次やおぬしの子分たちみんなの協力があったゆえじゃ！
とりちがえるな大ばか者めえっ!!

やっ
やかましいくっくそーっ
のぼせあがったカボチャ頭をその木の上でひやしとれ
うわーっ

うわーっ
おろせ
おろせーっ
おろし
やがれーっ
くそ坊主
ーっ

ぶっとば
したるぞ
はげじじい!!

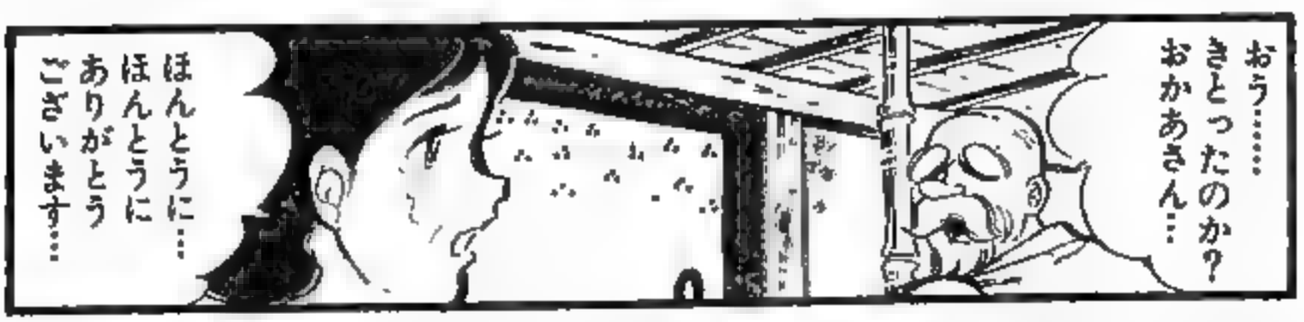
わーっ
うわーっ

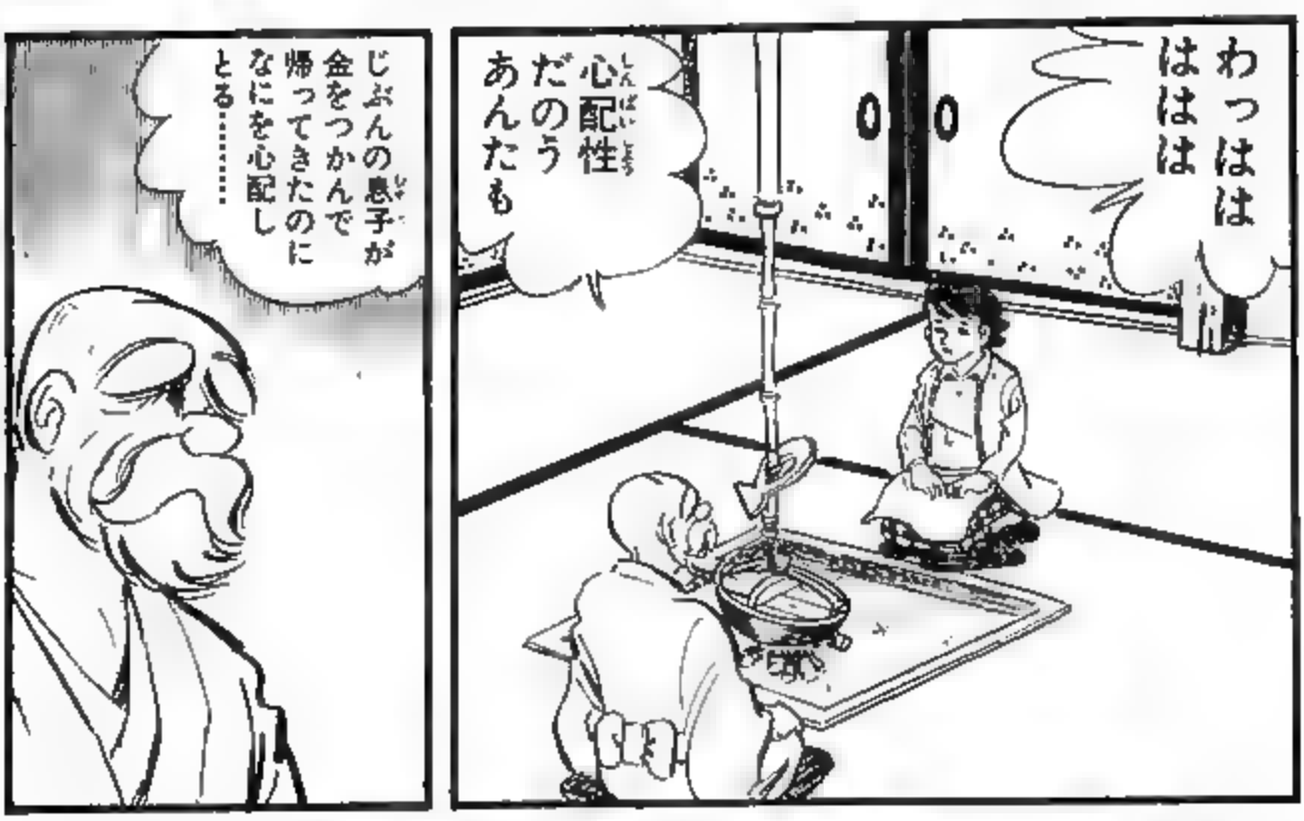
万吉よ……

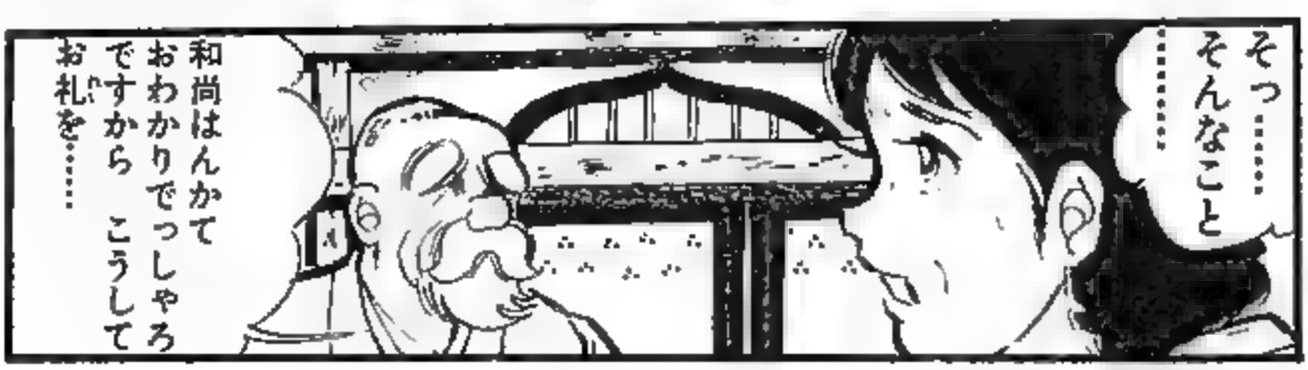
天狗に
なってくれ
るな

おぬしじゃあ
たかが二億程度で
つぶれる人間では
ない……
もっとでかい
人間になって
くれ……

あっ
ありがとう
ございます
ン……


おう……
きとったのか？
おかあさん…
ほんとうに…
ほんとうに
ありがとう
ございます…

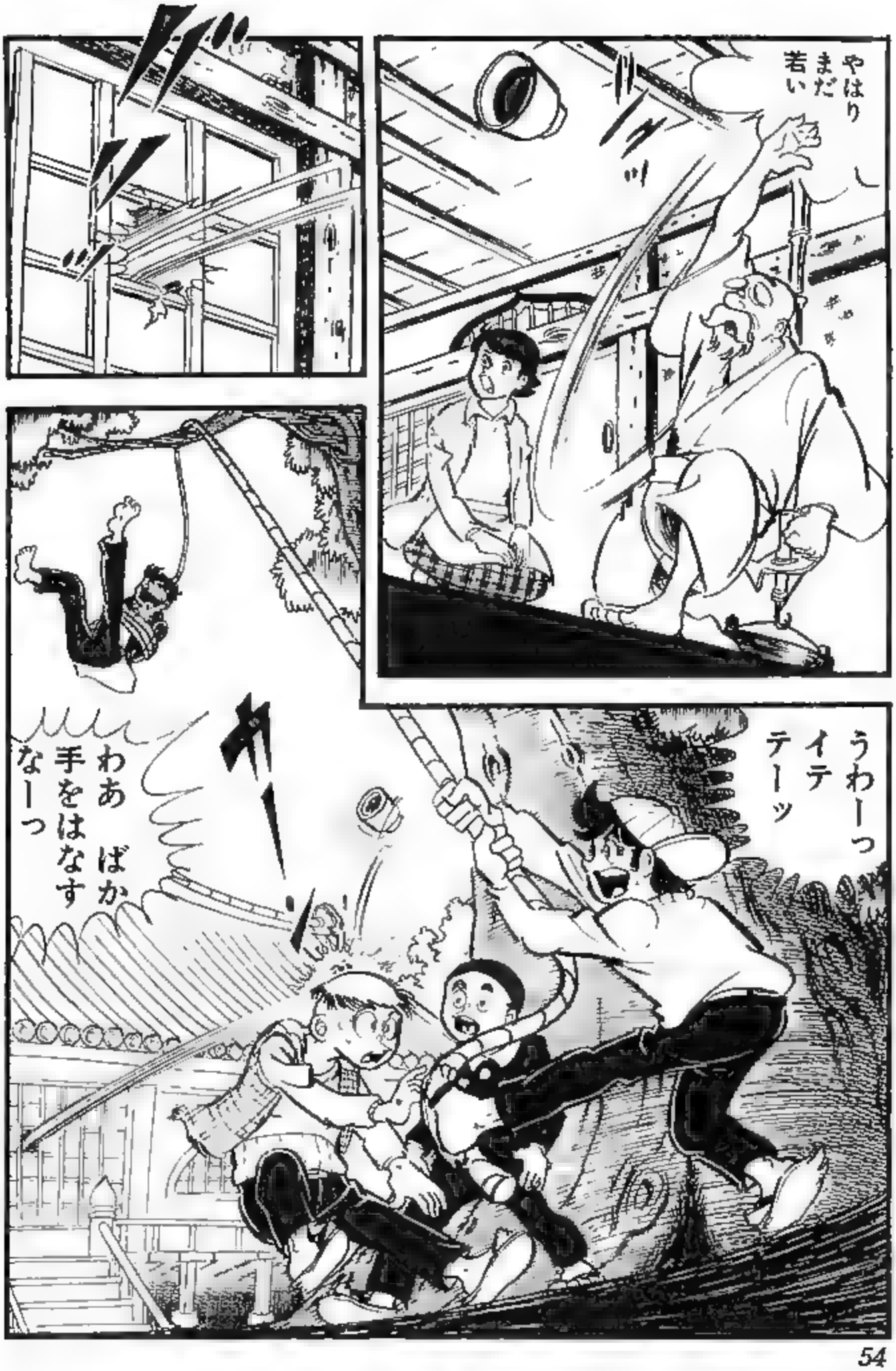

わっはは
はは
心配性
だのう
あんたも
じぶんの息子が
金をつかんで
帰ってきたのに
なにを心配し
とる……


そっ……
そんなこと
……
和尚はんかて
おわかりでっしゃろ
ですから　こうして
お礼を……

ふっふふ…
すまん
すまん
たしかに
万吉め
男じゃ
金を……
たいした
二億ちかい
あっという
間に
しおった…
かんたん
にな……
ですから
なんやら
もう
こわくて
心配で
わあっはは
ははは

まったく
あんたもかわ
った人だのう
そうでっ
しゃろか

なあに
金に
たとえるのは
悪いが
あの万吉…
一億八千万程度で
おぼれるほど……
ちゃちな男では
ない……
しかし
なあ
しかし
……


やはり
まだ
若い
うわーっ
イテ
テーッ
わあ
ばか
手をはなす
なーっ

わわっ!!
ふんぎゃあああー
ちょいと……
うぬぼれとる……
わあっはははは!!
くっくそーっ

こ……
この……っ
くそ
ぼうず
――っ
わひゃ
――っ
う
おちる
～～～っ
わーっ
おちる
おちてまう
わ――っ
ばか
なわをはなせ
……
あっ
くろ・・

しまった!!
うわ〜〜ん
親分
万吉親分ーっ
ボサーッ!!
ちいっ!!

こんにちはーっ
万吉さん
いますか？
えへへへ
……

あら～～～っ
いないの
かしら？
へんねえ
……？

えへへへ…
銀次さんって
そんなにかっ
こいいの
ええ
ちょっと
おっちょこちょ
いだけど とても
すてきな人よ

おっちょこ
ちょいか…
まあいいや
……
いっちょう
ガールフレンド
になって
やるか……

やあ
友子ちゃん
あらっ…
光五郎さん
……

万吉さんはいないの？
ああっ…みんなで西海へ行ったよわしゃ留守番だ
ええーっ
ほんとう……
う～～～んあの人ったら何もいわずにすぐどこかへいっちゃうんだから
ひとことくらいいえばいいのにもう…
なによ…それじゃ銀次って子もいないの？
はっはは
知らないそんなこと
頭ーっ!!
どうしたわかったか
じつは……
なにい白川宇太郎が!?
親分に知らせますか……
いっ…いや知らすな…
そのほうが親分のためだ……ひとりでやるほうがな…

ふっふふ
うわーっ
ちくしょう
まだ
つるす気
かーっ
くそ
坊主!!

ち〜しょう!!
おっ…親ぶーん
これでよしとっ
カッパボサハナクソ呼んでこいみんなを呼んでくるんだ
そしてわいをここからおろせーっ
へっ…へい!!
ひっひひひひ……
けへっへへへ……
なっなんじゃ
やいはげ坊主……
万吉親分にこんなことさらしよって!

とうとう
万吉一家を
敵にまわす
ことに　なり
よったな…
おっそろしいん
やどう　万吉一家は
なんせ一千人の
子分がおるんや
わあっ
ははは
はーっ
がーん
がくっ

あっ…
あれっ
笑っとる…
アホ…
やせがまん
しとるんや
きまっとる
やんけ…
ふっふふ
ふふ…

安心せい！
大ばか者の子分
など　なん万人
こようと　びく
ともしやせん…
このはげじじい
それほど
安っぽくは
できとらんわい
また～～っ
ほんまでっ
か
そんなこと
いったって
千人やど
千人……
はっはは

アホンダラくっだらねえことといっとらんで……
はよう呼んでこい
へい
待ってておくなはれ!!
もうちょっとのしんぼうでっせ万吉親分!
ケーッへへへーッ
いまにほえ面(づら)かきさらすなくそ坊主
わあっはははは
とうとうはくじょうしおったな 万吉
なっ
なんじゃと…どういう意味(い)じゃい
ふっふふ
いまにわかる…

なに
い〜〜っ
万吉親分が
和尚に
ぶっとばされ
たあ——っ
へいっ
なぜだ
理由は
なんでえっ
ええーいっ
理由なんぞ
かまわねえっ
すぐ
助けに
いくんだ
!!
みんなを
あつめろ
!!
がってん
しょうち
!!

なにいっ
えらいこっちゃ万吉親分が木につるされた――っ
みんなあつまれ――っ
……!!
万吉親分がぶっとばされたあっ
木につるされた――っ
おい親分がどうしたって
ガラッ
ガラッ
ピッ
木につるされとるらしいで
なにっ
ほんまかいな!!

万吉親分に
そんなことを
させて
たまるか!!
相手が
だれだろうと
助けだせ!!

いそげっ
!!
進
めーっ

くそ
坊主め
びっくり
しよるで
!!
これが
ほんまの
万吉一家の
実力や

おお!!

ちいっ
山門がしまっとるで
ケーッ
こわせこわせ
ぶっこわせ
よっしゃっ
そりゃーっ
こんちくしょう
がっ!!
うっ
むっ

うわあっ
ははは
きよったな
ばかの子分
どもが!!
ぎゃはは
ははは
きたか
みんな
わいを
こっから
おろせーっ
はよう
あっ
親分…
万吉
親分じゃ
!!

和尚はん
これは
どういうこと
じゃい!!
ことと
しだいによって
は　わいら
しょうちせえ
へんでっ
ちいっ
じゃまくせえっ
中へはいって
助けろっ
ばか
者…
うわっ
ちいっ
おぬしらも
万吉の子分なら
親分を
もそっと
大事にせえっ
なにい

大事やから
こそ　こうして
助けにきた
んやないけ!!
ピンチになれば
すぐ助ける
ばかりが
大事では
ない!!

万吉　わしが
さっき笑った
意味が
わかったかっ

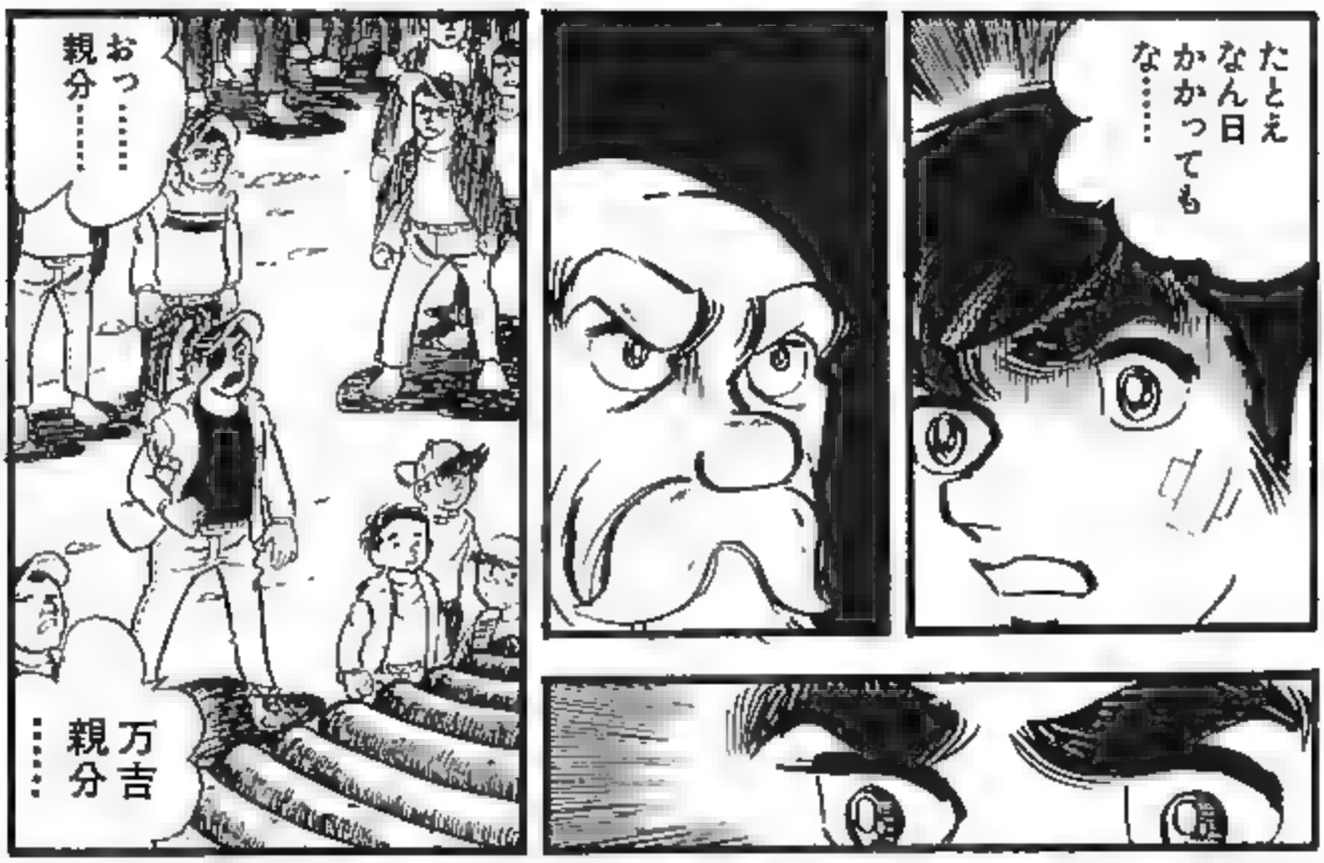
きさま一人では
なにもできんと
いうことじゃ!!

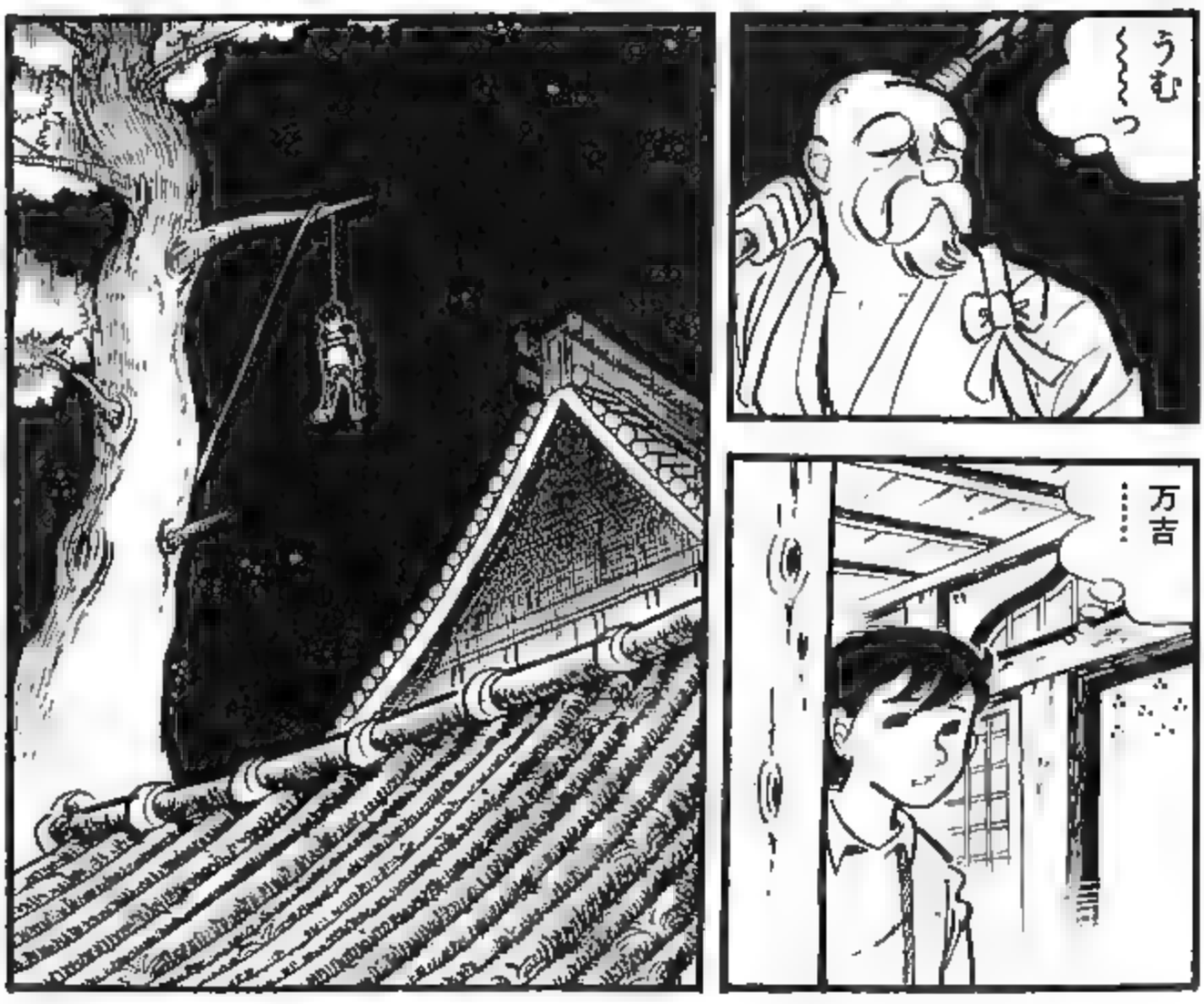
なっ
なに
い〜〜〜っ
そうでは
ないかっ
!!
おぬし一人では
わしに投げとば
されたあげく木に
つるされ　そして
一人では　おりる
こともできん

だから　こうして
子分たちに
頼みこんで
おるんじゃ!!
……
……
これがわしだったからよかったものの
本物の
敵だったら
どうする
たかが　少し
ぐらいの成功で
調子にのっておると
いまに　こういう
めにあう……
助けがこなければ　その木の上で
じたばたする
だけか
万吉よ!!
おのれひとりで
おりることを
考えてみい
おのれ
ひとりの
力でな……

チーッ あんな 坊主にだまされるな
親分を助けだせっ!!
おおーっ!!

やめろ!!
うひゃっ…
へっ…
と……
ヒッ
わいひとりの力でおりる!!
親分……
そ……そんな無理ですぜ一人でなんて……


たとえ
なん日
かかっても
な……
おっ……
親分……
万吉
親分
……


うむ
〜〜〜っ
万吉
……

しかし……
親分もよくがんばるな…
ばっきゃろうそれが万吉親分の魅力やんけ……
だけどようきょうで三日めだぜ……
あのぼうず本当にガンコだな
ぼうずがガンコなら親分は……その上のガンコだぜ……
とにかくいったんやりだしたらとことんまでやる……
ン……

やっ…
奴は…
つ…
仲台!!
仲台だ……
白川宇太郎の
ふところ刀が
なぜ……
こんな所に…
な…なんでえ
三吉……
知ってるのか
このゴリラ
みてえの……
ボ〜ン

炎の西海の巻

ばかっ……
うぐっ……
めったなことをいうな…
やつは…やつは…
ケーッはなしやがれっ…
う……
くっだらねえ!!
なにをびくついていやがる

ゴリラみてえだからゴリラっていったんじゃねえか
ばっ…ばかきこえたらどうする……
うるせえな～～っ
おっ…おまえは知らんのだやつのおそろしさを……
ヘッ
おれっちはいまむしゃくしゃしてるんでえ…
親分がもう三日もあんなめにあってるってのに…
おれはなにもしてやれねえ……
ケッ
スカッとけんかでもやりてえや
ちくしょう
まて……小僧

小僧
～～～っ
ふふ
……

人さまを
ゴリラ呼ば
わりして…
ただあ
帰れると
思っているの
か……

どうしろっ
てんだい
ゴリラ…

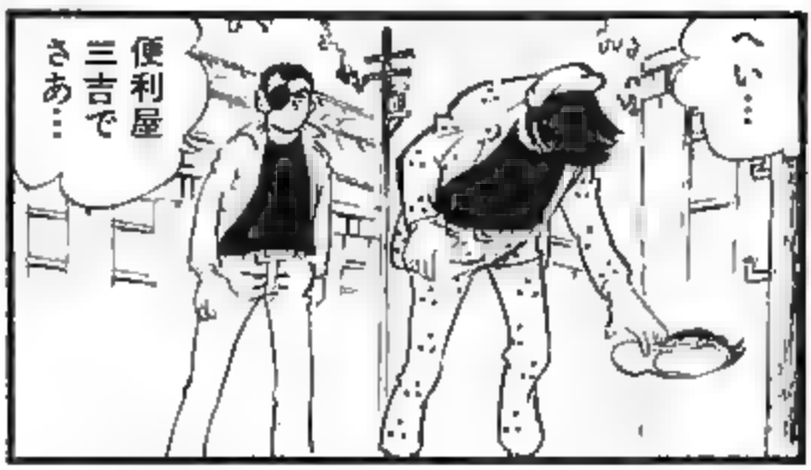
へっ…

ふふ……わしを
ぶじょくするやつは
ガキだろうと
……

赤ん坊だろうと
よろじゃはせん!!
ラッ!!
やろう〜〜っ
眼帯の銀次さまをなめるんじゃねえ

やめろ
銀次!!
ちっ
はなせ
はなし
やがれっ
このやろう
ぶっとばして
やめねえか
ばかやろう
うっ

仲台さんよ
あんたも 大人
げねえぜ……
ン……


へい…
便利屋
三吉で
さあ…

おっ…
おまえは

仲台さんともあろうお方がどういうわけですかい…
こんな片いなかにくるなんて
ちい…めんどうなやつにみつかった…
ただの旅行さ……
旅行……？
ふっふふこいつあどうも聞くだけやぼだったなあんたの用事など…
あんたはいつでも秘密でうごくかげの人だっけ…
ただしひとことだけいっておく……
万吉親分…？
もし　万吉親分になにかしようとしてきたんなら……この三吉も銀次さまもだまっちゃいねえぜ
戸川万吉さまよおっ…

ふっ…
ふふふ……
ふはは
はは
うぉあっ
ははは
はー!!
くっ
こっこの野郎
なんでえその
笑いかたは
その
万吉とか
ぬかす
小僧……

どんな男かしらんが
この仲台が動かねばならんほどの人間か…
のぼせるな……
なにいっ！
やめろ銀次!!
おい三吉やつは一体なに者なんじゃ
おそろしい男……
おそろしい男だよ……
……

ふふ…
……

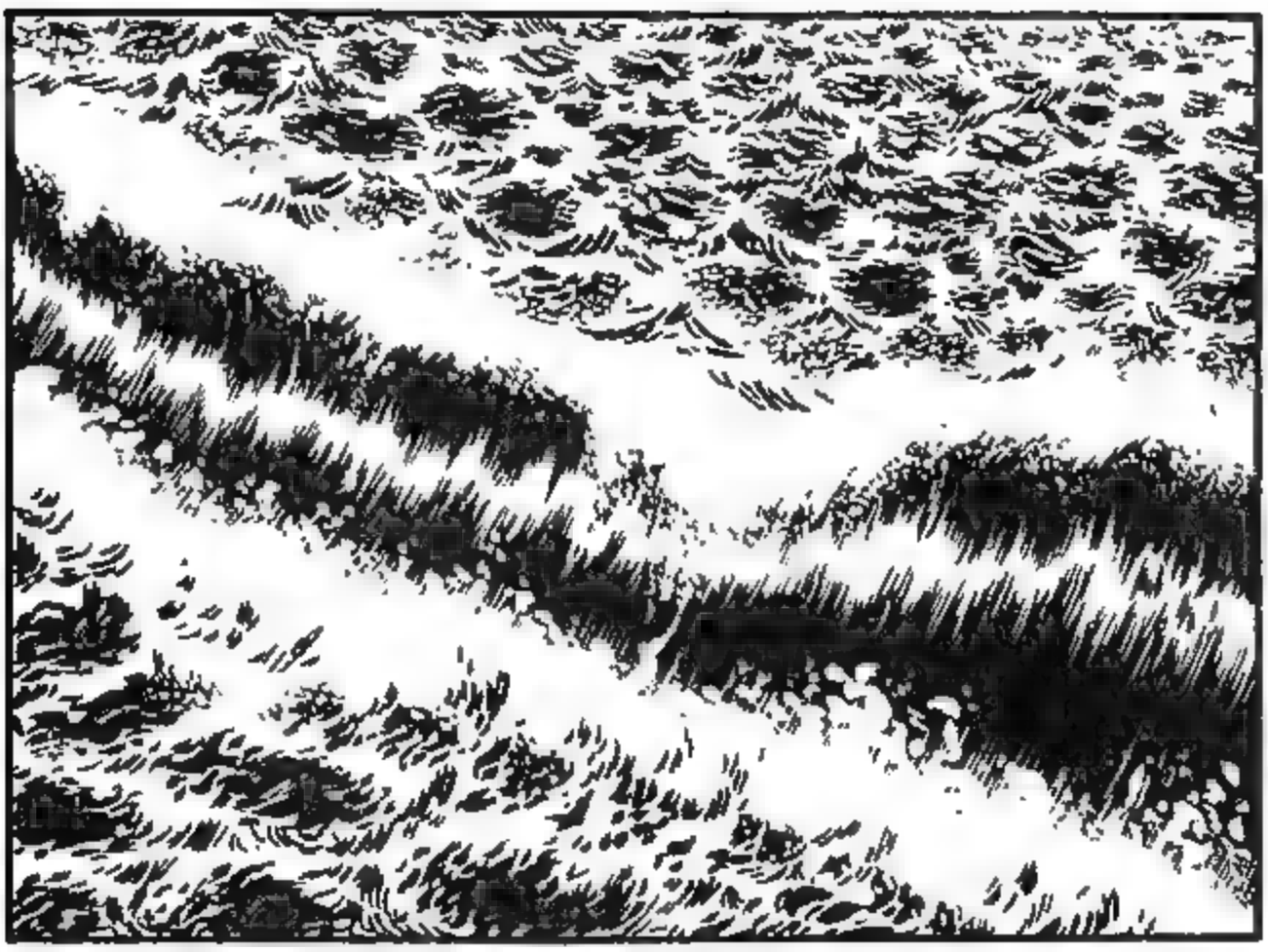
万吉…おぬしやあ　ほんに楽しい男じゃ

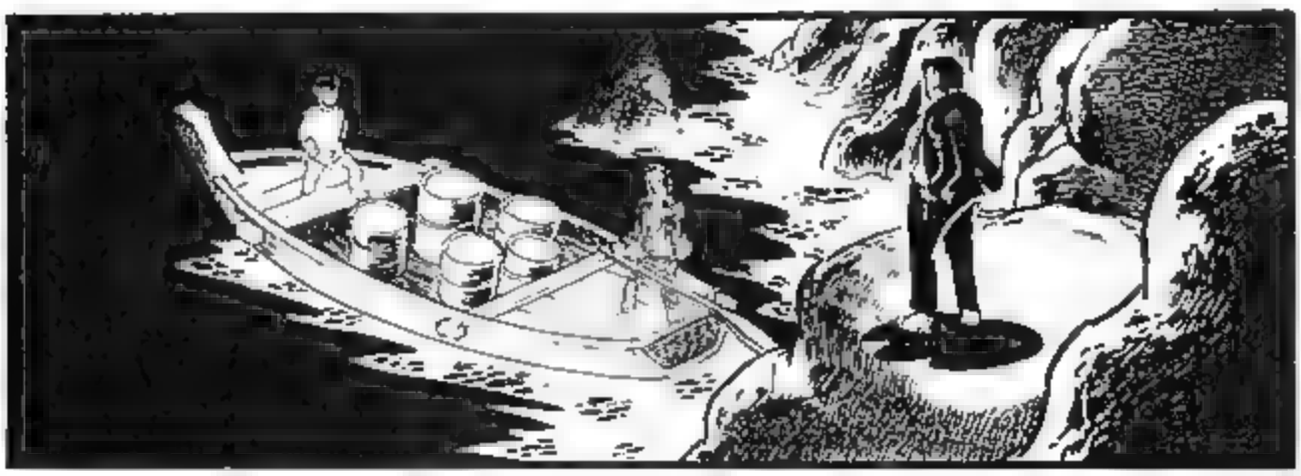
わしゃあおぬしを見ているだけで……
年がいもなくわくわくするぞふっふふふ

のう万吉……
おいこりゃ…万吉…
ふふ……さすがの万吉も三日もつるされたらまいったか
万ちゃん〜〜〜っ
はっはは……

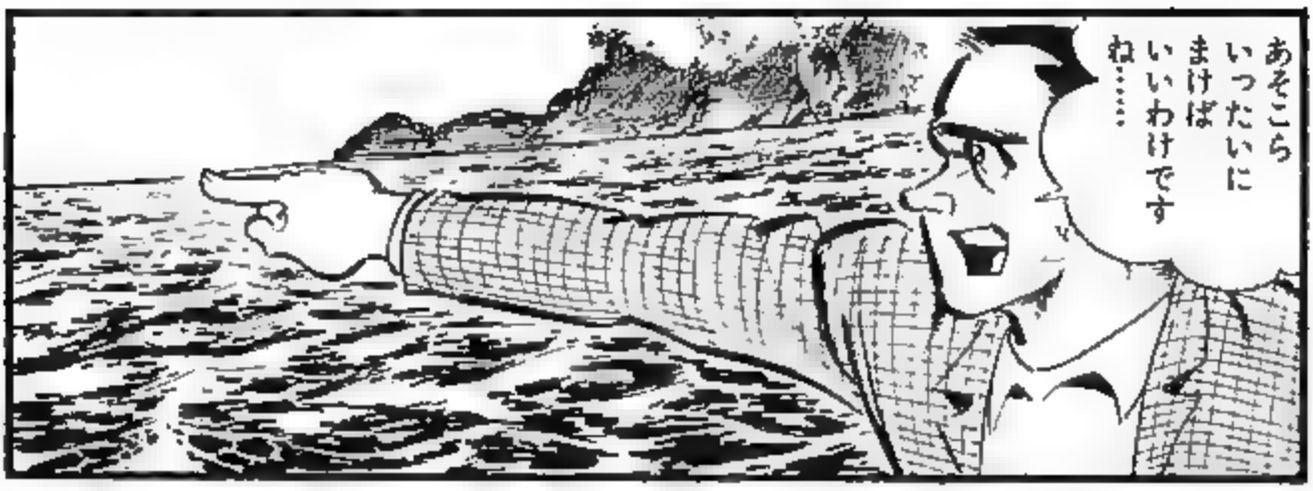
しかし……
少しょう気になるの……
おい　大丈夫か万吉……
むっ…むういかん…
おいこら万吉しっかりせえ
大丈夫か…

まいったんなら…おろしてやるぞ
万吉!!
うっ
ひっかかったな!
おっ
うわーっ
ぎゃははは なめさらすなくそぼうず
たかが三日ぐらいで この万吉さまがまいると思うか
けえっへへへへ
あまかった…ー

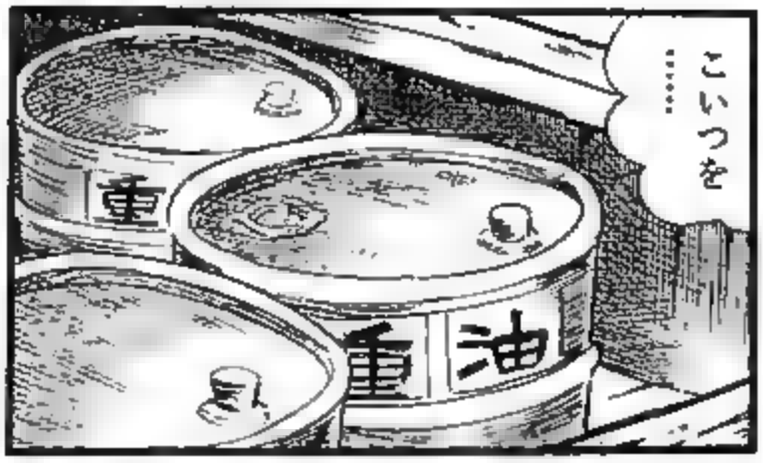




頼んだぞ…
へい
……
わかっとりやす…


あそこらいったいにまけばいいわけですね……

こんなことでひとりあたま十万とは
へっへへへぼろいぜ兄き


こいつを……
重
油

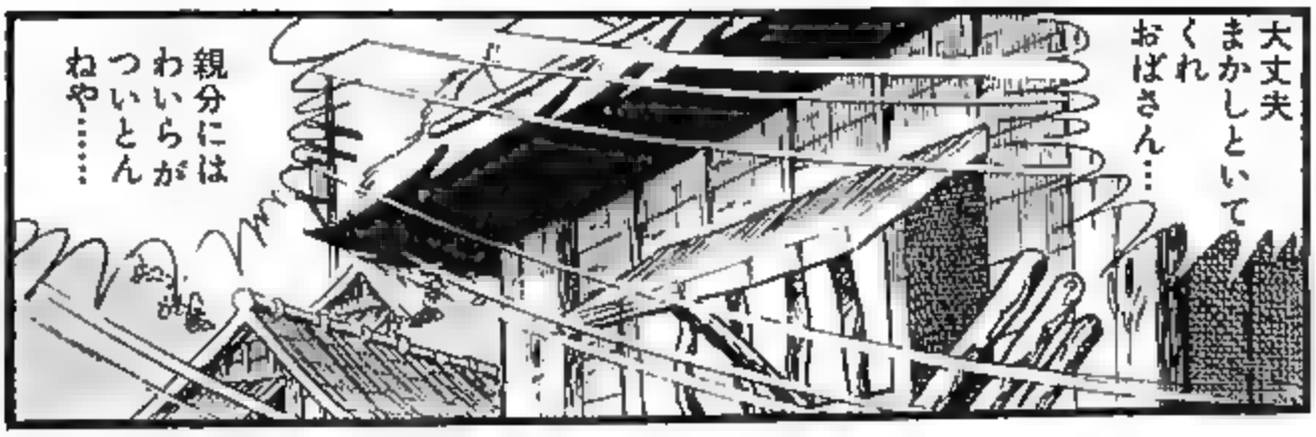
へっへっへっ……わかってまさあじゃあ……

だれかにみつかりでもしたら殺すぞ!

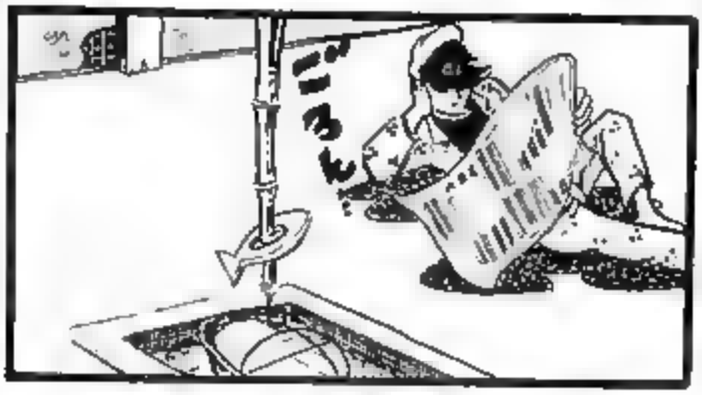
まきおわったらすぐ…大阪へでもどこへでも行けここいらへんでうろうろしているな

あら…ずいぶん風がでてきたみたいやね……
ほんまや……
親分…さむいやろな…
……
しかし親分に用でないとすると……
なぜだなぜ仲台がこんないなかへきたんだ…

なにかあるぜったいになにかあるはずだ
くそーっ仲台めっ
おっ…おれ親分が心配だちょっといってくらあ…
わいもいくでっ…
あっあの…
えっ
すっすんませんねえ……
へっ
えへへへへ…


大丈夫
まかしといて
くれ
おばさん…
親分には
わいらが
ついとん
ねや……

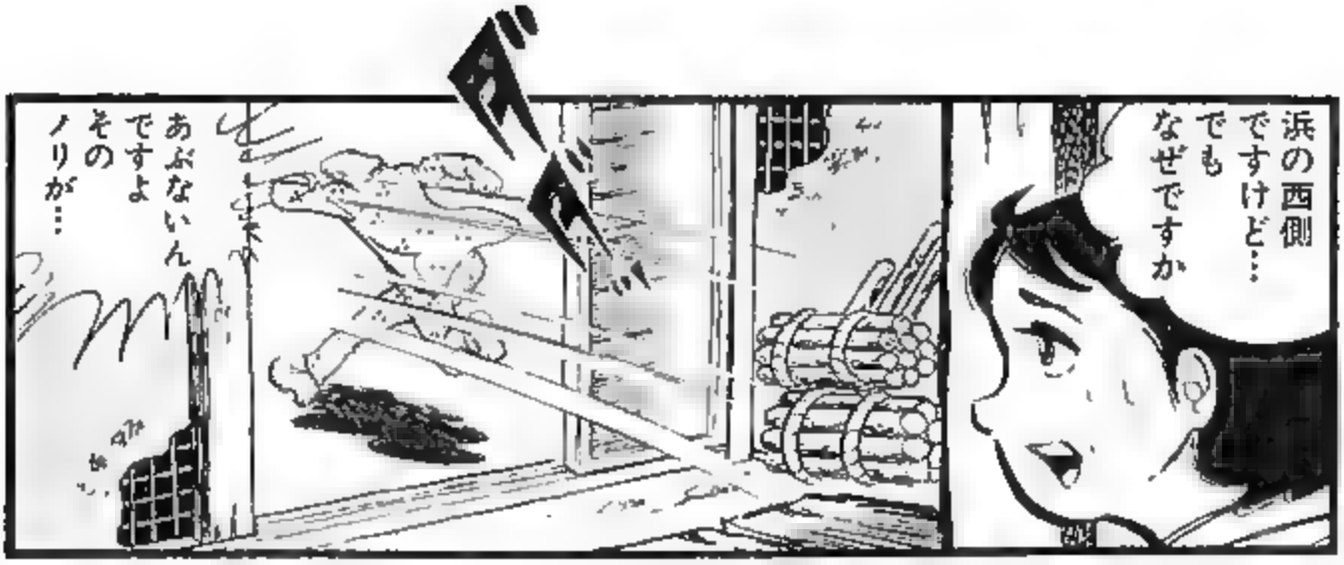
はい三吉さん
夕刊　きて
ますよ…
あ
どうも
すみま
せん

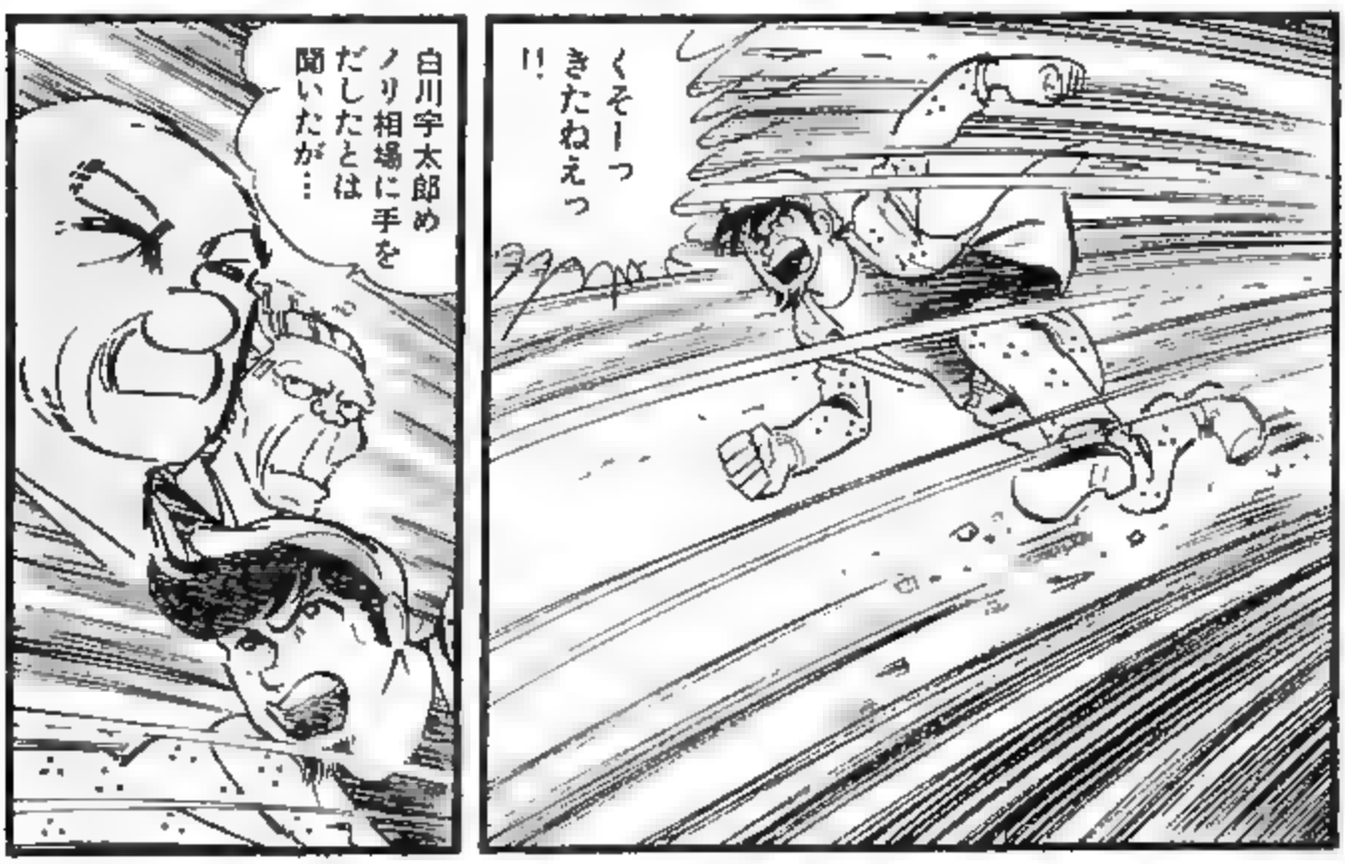

ごろん

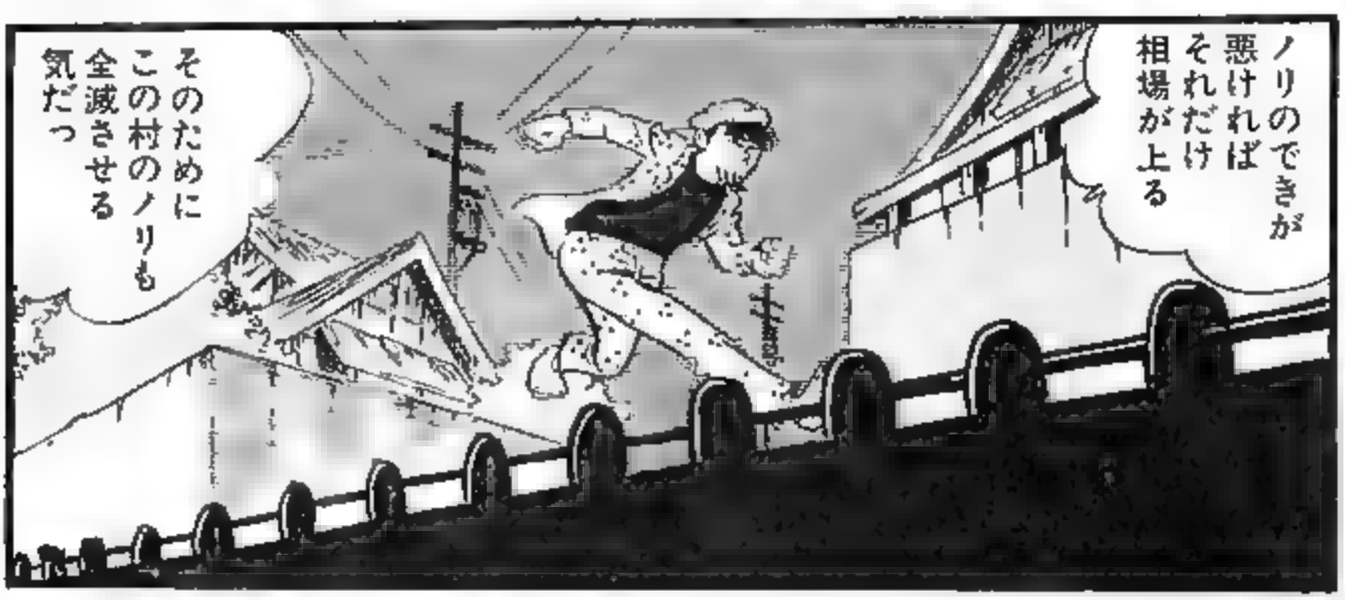
千葉県のノリ養殖地帯に
どこからか重油が流れこみ
かなりのひがいをだした

うっ…

なぜ 重油が大量に流れこんだのか 原因はまったくナゾであり……
キッ…
おばさん!!
はっ はい…
この西海ではノリを…
ノリを作ってますか…
えっええ そんなに大規模ではありませんけど
や……やはり
これだあ〜〜っ
仲台めこいつにちがいない!
場所は 場所はどこですか!!


浜の西側ですけど…
でもなぜですか
ガガガ
あぶないんですよそのノリが…


くそーっきたねえっ!!
白川宇太郎めノリ相場に手をだしたとは聞いたが…

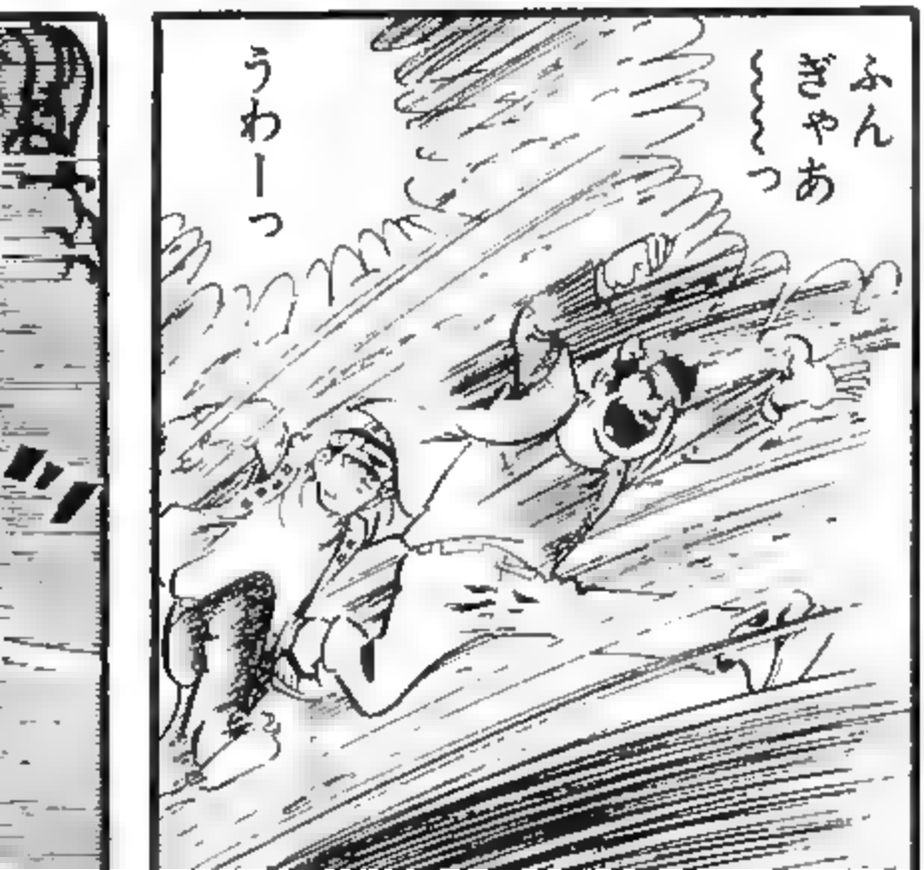

ノリのできが悪ければそれだけ相場が上る
そのためにこの村のノリも全滅させる気だっ

ガ"
ガ"
ガ"

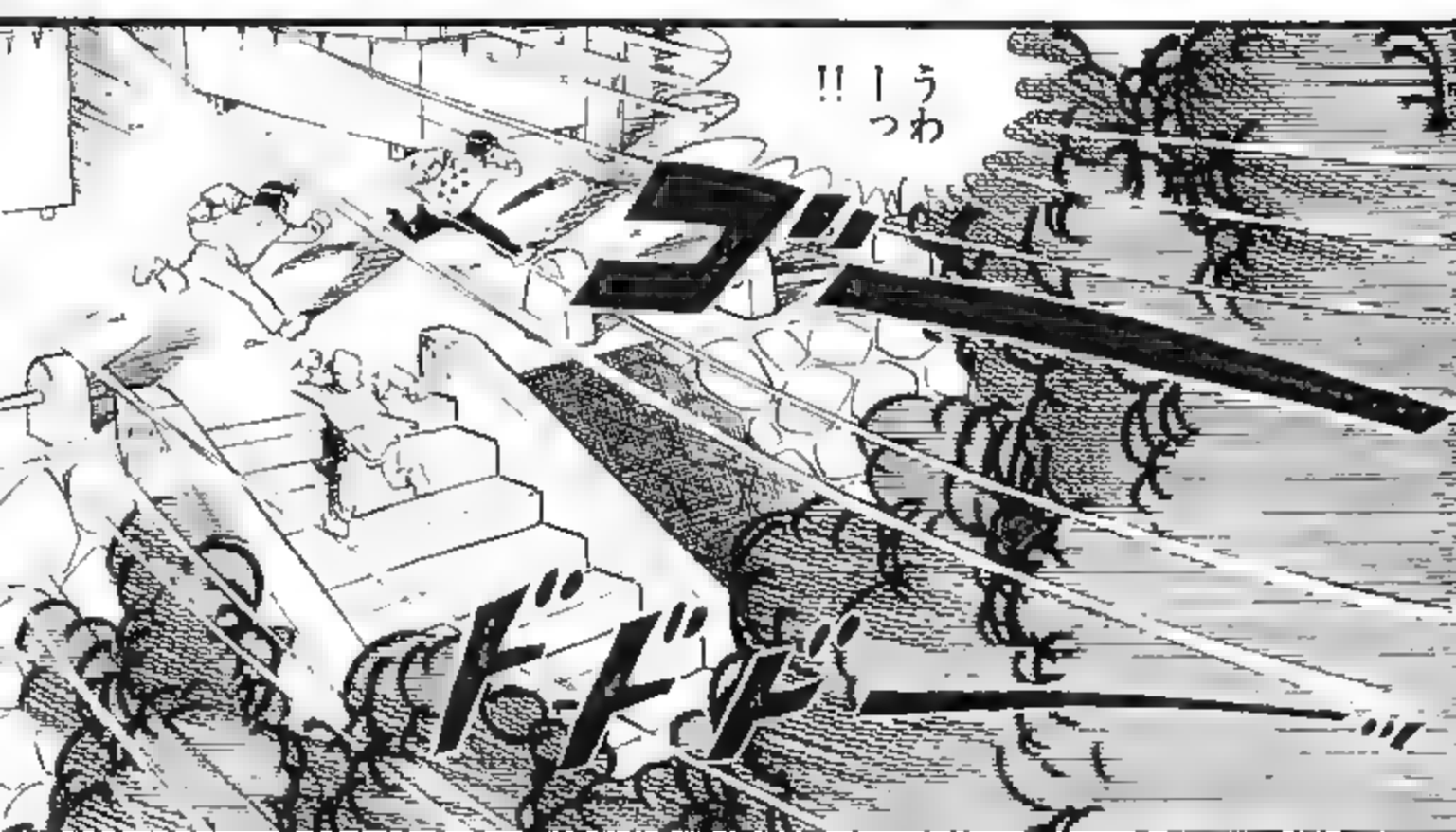
おっとと……
ボッ
あぶねえーっ!!
ばっきゃろう 火をけせーっ
なっ…なにっ…
なんだっておい……
ボッ

まぬけ
ーっ
はなれろ!!
わっ
あほんだらなにをさらすねん…
ゴーーーーー
シ!!
うっ

ラァわあああっ


燃えとる海が…
海が燃えとる…
ふんぎゃあ〜〜っ
うわーっ

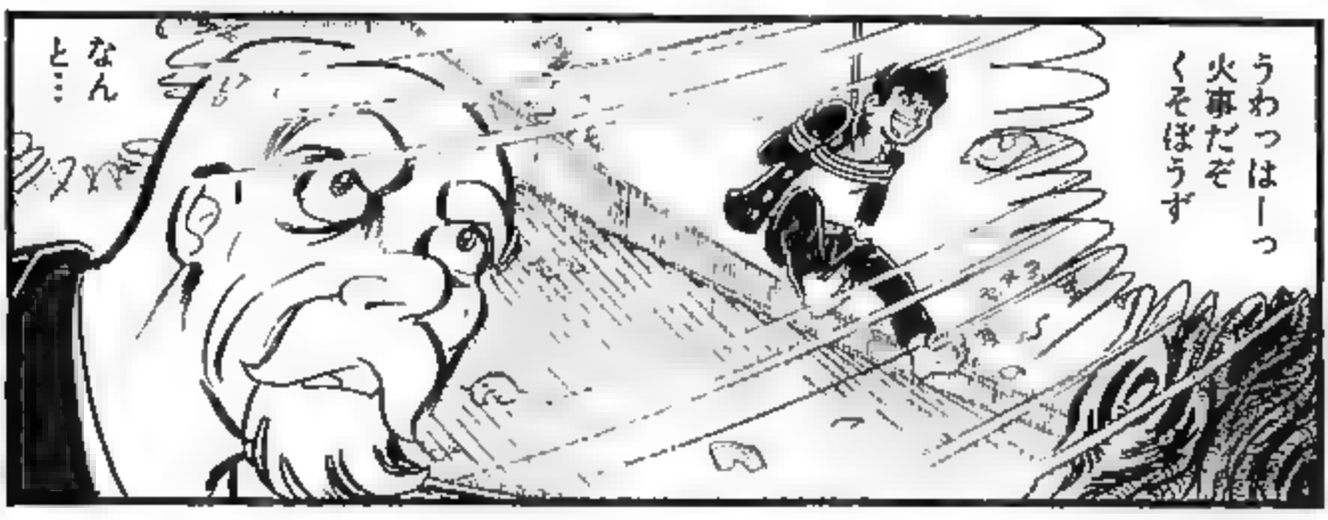
も…
燃え
とる!!

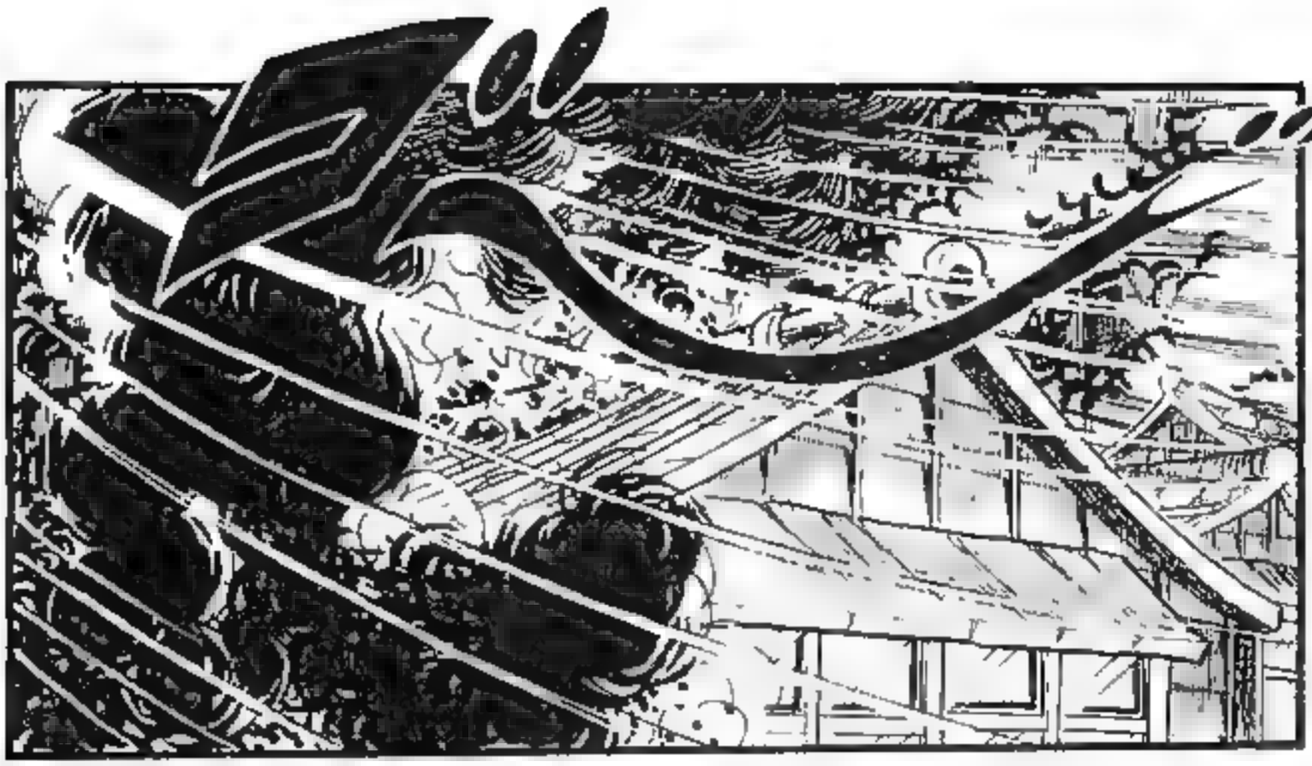

うわーっ!!
ゴッ
ドドド

ン〜〜〜

なっ…
なにごとだ
こりゃあ…
うっ…
海が
燃えとる

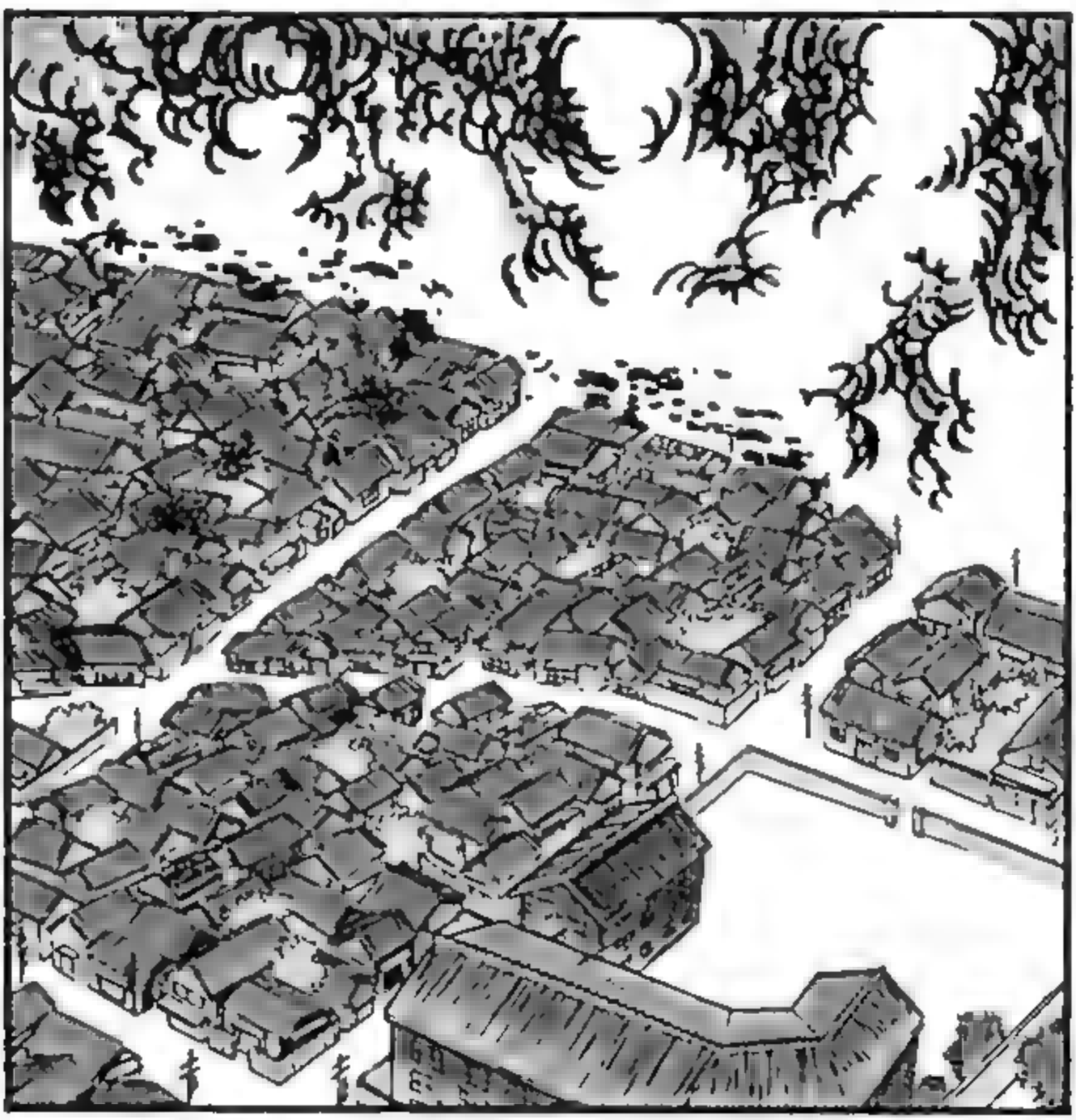
なんだ
さわがしい
のう


うわっはーっ
火事だぞ
くそぼうず
なん
と…



うわーっ
火事だ
火事だ
〜〜っ
きゃーっ
きゃーっ
わーっ

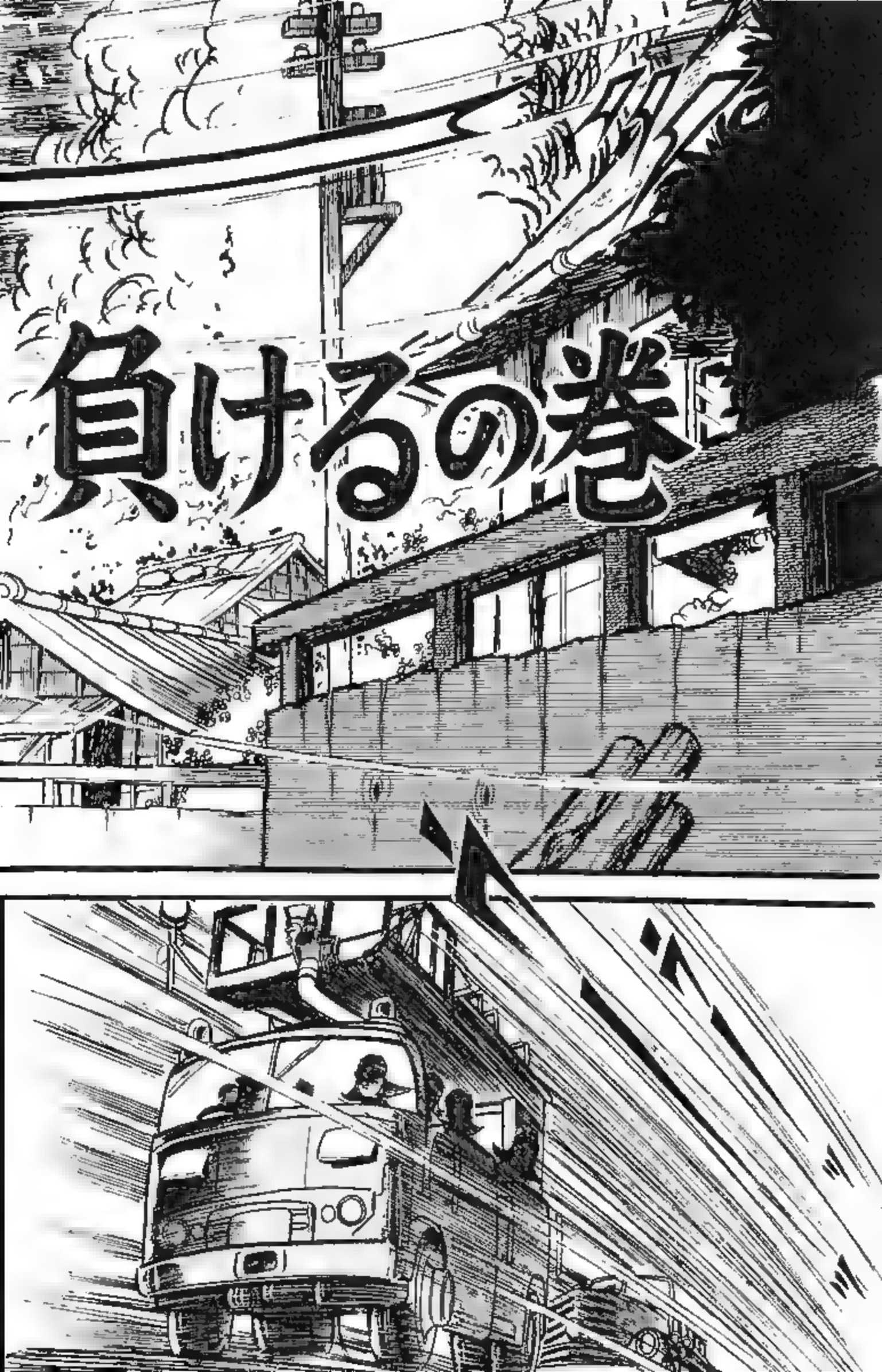
かぜに
あおられて
民家にうつり
やがった……
くっそーっ
ひでえっ
ひでえぞっ
こいつは



旅館みやの
ノリさえ全滅させればよかったが……
めんどうなことになりおった…
ふふ……
しかしわしは旅行者…
なにひとつ証拠はないのだなにひとつな…
うっふふふふふ……

あほぞ
だらあっ
!!
だっ だって
親分…
この風向きじゃ
寺のほうへ
火はまわって
きますぜ…
ケーッ
わいは
自分ひとりの
力でおりると
いったはずじゃ…
いかげんに
してくれ
親分…
くそ意地はって
死んじまったら
どうする
んでえ
ラッパ…
なわを
ゆるめろっ
おおっ
!!
もし…
おろして
みさらせ
はりたお
すぞっ
!!

おっ…
おや
ぶ〜〜〜ん
おや
ぶ〜〜〜ん
泣くなラッパ
みんな！
こいつあな…
わいがひとりで
おりる絶好の
チャンスなんじゃい
万吉は〜〜〜
やる気か
おぬしの
ためなら
こんなボロ寺の
ひとつふたつ
もやしても
かまわんぞ
ケエッ
へへへ
きた
そこまで
きたかあ
——っ
親分…
万吉親分!!


負けるの巻

和尚

うわ——っ
きゃあ——っ
どけえ——っ
家からはなれろっ
ちいっ…ひどいぞこれは…

村田はん…
寺が　寺が
……
あっ
……

木に
つるされた
まんまや
!!

……
……!
親分が
万吉親分
が……

親分……
あんたはいったい
なにを考えとるんや
くそ意地をはっとるんならやめてくれ…
死んでもええのんか……
なあっ 万吉親分!!
うるせえ!!

わあっ
火が　火が
木に
うつったあ
うわっ

うひゃっ
ははは

うっ…
そうか
そういう
ことか
し

だまって
見とれっ!!

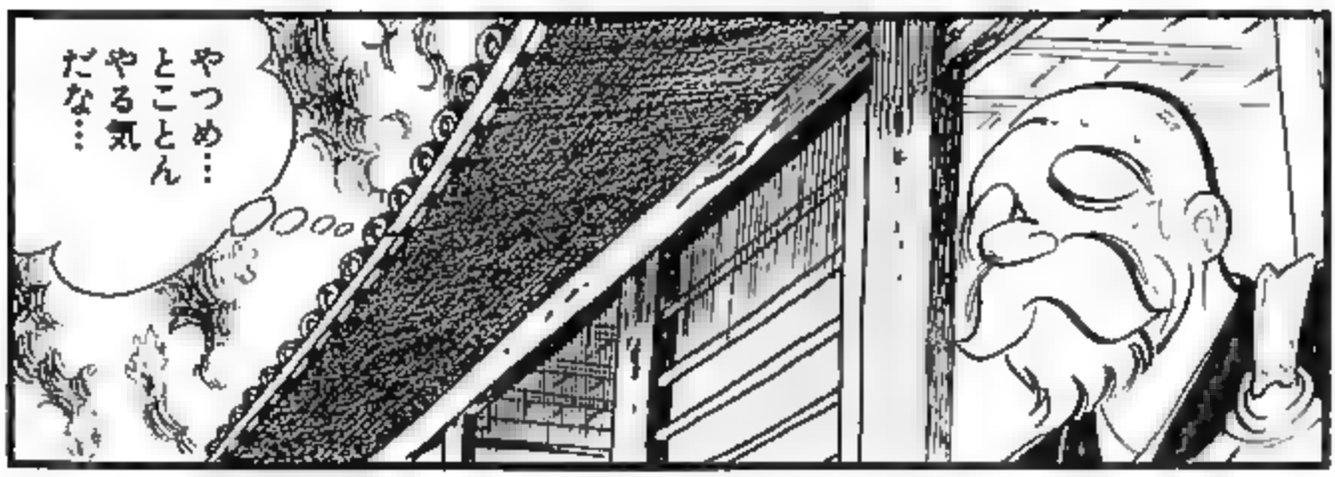
きた
へえっへへ
へへ…
きさらし
よった
おっ…
親分
……
くっ
くそ！
親分
いやだよ
――っ
むちゃ
くちゃやあ
――っ

やめろ…
ラッパ…
アホ　本気で
こんなことやっとったら　親分が死んでしまうやないけ

ばかやろう
親分の度胸を
信じろいっ
それよりな
ふとんを
用意
するんだ
なっ……
なんやて
ふとん？

ああ
……
ふとん
だよ
……

へっへ…
わかったよう
やな　銀次…
ゲボ…
ゴボ


やつめ…
とことん
やる気
だな…

うわっ
ちちち
――っ
うわーっ
親分!!
大将!!
くっそーっ
もうちょい
もうちょいや
そっ
そ
そうか
あっ
親分は
つるされて
る
なわが…
燃えて
るのを
とるんや
切れ
待っ

そうか
そういうことか
親分
さすが
わいらの
万吉親分
じゃ!!

きあ
親分
どさっと
おちてきて
くれっ
せっ…せやけど銀次
なわが　切れる前に
親分が　黒こげに
なってしまうかも
しれへん…
……
……

信じろよ
親分の度胸
を……
そっ…
そうや
な…
うわっ
銀次…
あうっ
!!

うわ――っ
きゃ――っ
助けてくれーっ

ひでえ手がつけられねえぜ…こりゃあ――っ
これじゃ西海村全部がやられてしまうで

はなせっはなせ
アホンダラ死ぬ気か～～～っ
子どもが子どもが中にいるんだっ

ふっふ…
とんだ
計算ちが
いだぜ…
しかし…
わしのせいでは
ない
わしのな…
ふっふふ…

うわーっ
くずれるぞ
逃げろーっ
助けて
——っ
きゃ
——っ
!!

待ちな
こそどろ
め…
ふっ

かばんを
待って…
逃げる
気かい

この火事だ
交通は
すべて
ストップして
逃げられや
しねえぜ
仲台さんよ
きっ…
きさま

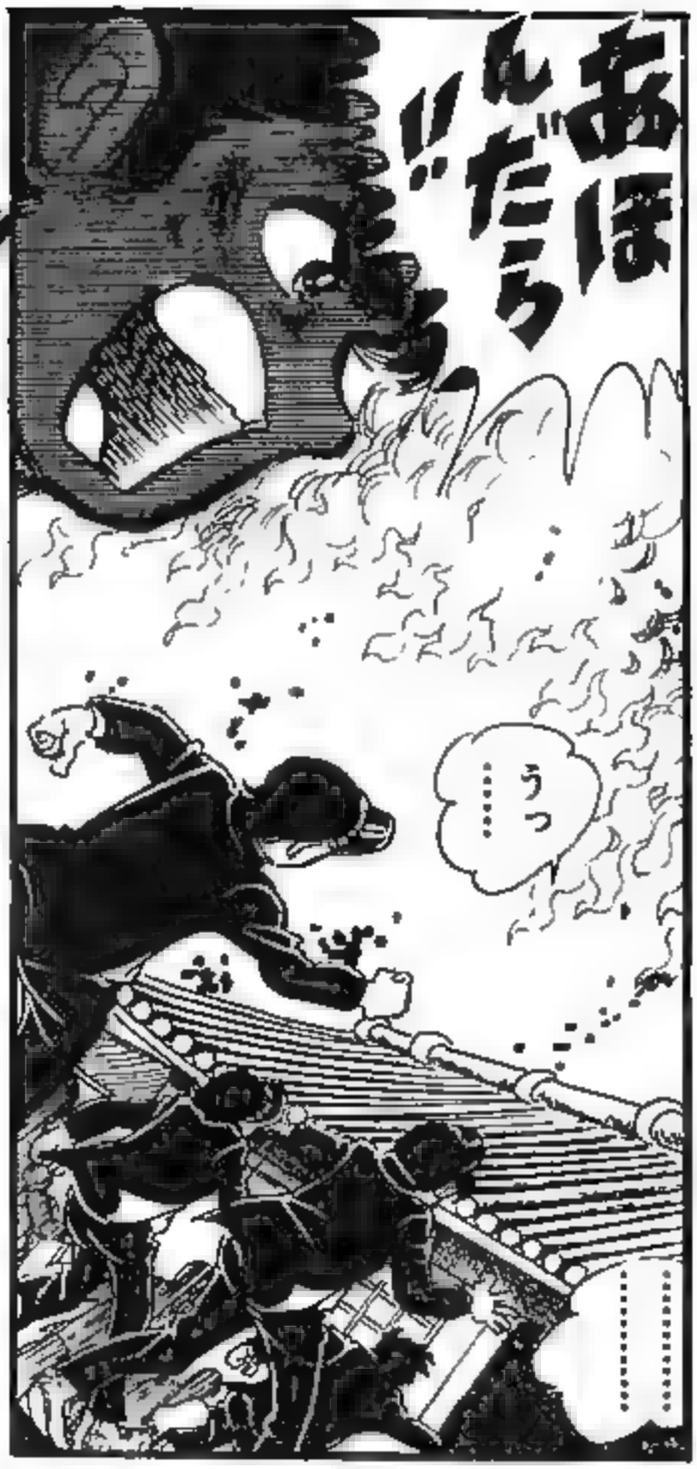
うあっ
ちいーっ
ギャー!!
親分
大将!!
くっそ
——っ
ボーク
がっ…がんばれ
親分…
もうちょい
もう
ちょいや
まったく
この小僧
くそ
どきょうの
あるやつじゃ

やったあーっ!!
うわーやったやった!!
親分!!万吉親分——っ

村田　われは二百人ほどつれて村の西側の火を消せっ
へっ……
なっ…なんですって……
アホンダラ……ボケーッとしとったら西海は全滅やど

そっ……そうや……かっ火事や
そういえばわいの家は……
わいの家にも火がまわっとるかもしれん

うわーっ
おとっちゃんおかあちゃん
えらいこっちゃ——っ


あほんだら!!
うっ……
……

こんな大火事やひとりひとりになったらなんにもできん
みんなで団結して火を消すんじゃ

むう…
いまは 西海中が火事なんやど……
西海全部が自分の家だと思えっ
わかったぜ万吉親分!!
ついてこいやろうども
おお——っ
いいかっもえひろがるようだったらかたっぱしから家を ぶちこわしてしまえっ
松川 われはこの寺を三十人ぐらいで守れっ
よっしゃあ!!

銀次
われは
三百人つれ
て北側じゃ
急げっ
がってん
しょうち

のこりは
わいに
ついてこいっ
!!
おお
——っ
!!

きーっ
ひひひ
ひーっ

万吉よ
おぬしゃあ
ほんまに
うれしい男
じゃ
ぐひゃひゃ
見てるだけで
涙がでて
きよる……

なにが…
なにがいい
たいのだ
きさまは!!
にげられや
しねえと
いうことよ…

へっ…
くだらん
いいがかりを
つけると
なぐり
たおして
この火の中へ
ほうりこむぞ!

ふっふ……
そうすりゃ
だれもが
火事で死ん
だと思う
だろうぜ
ノリと
同じように
証拠は残ら
ねえ……か

やれたら
やってみやがれ
カス野郎
めえっ!!
きっさま
あ〜〜〜っ

どけどけ
どけー!!
万吉一家の
おとおりじゃ
この火は
わいらが
消したる
わいっ

焼け野原の万吉の巻

そりゃあ——っ

うわあ——っ
おのれらなにさらすねん

わいの家をことわりもなくなんちゅうことを…
アホやなおっちゃん
ほっときゃあどうせ燃えてまうやんか

そのまえに
燃えひろが
らんように
ぶっこわして
しまうんや!!
それ
——っ
うわ
——っ

屋根に登って
火の粉をはら
うんじゃ
おおっ
!!

なにボケーッとさらしとるんじゃ！
うひゃ……
そんなひまがあったらあんたらも火の粉をはらわんかい！

へっ……
へい
そうや……
そういう
こっちゃっ
！
子どもらに
まけて
られへん
でっ……

万吉はん……
あんたという
男は……
……
アホンダラ
そっちへ
火の粉が
とんどる
やんけっ
ぼやぼや
さらすな！

すんま
へん
親分!!
うわーっ
こんどは
そっちや
そっち!!
あかん
燃えだしよった
家をぶっこわ
せーっ!!

親分
っ!!
万吉
親分
っ

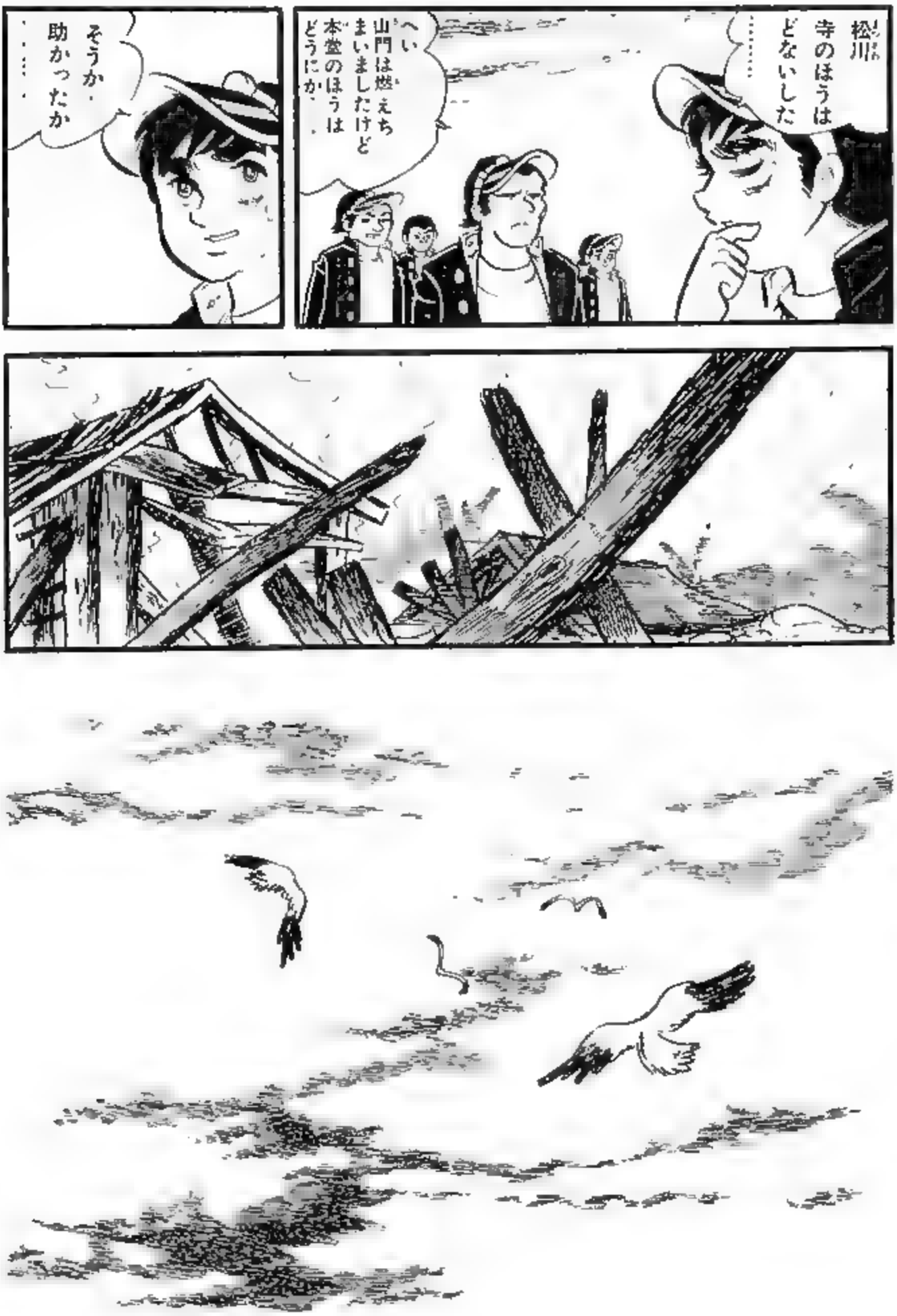
どうだったラッパ……

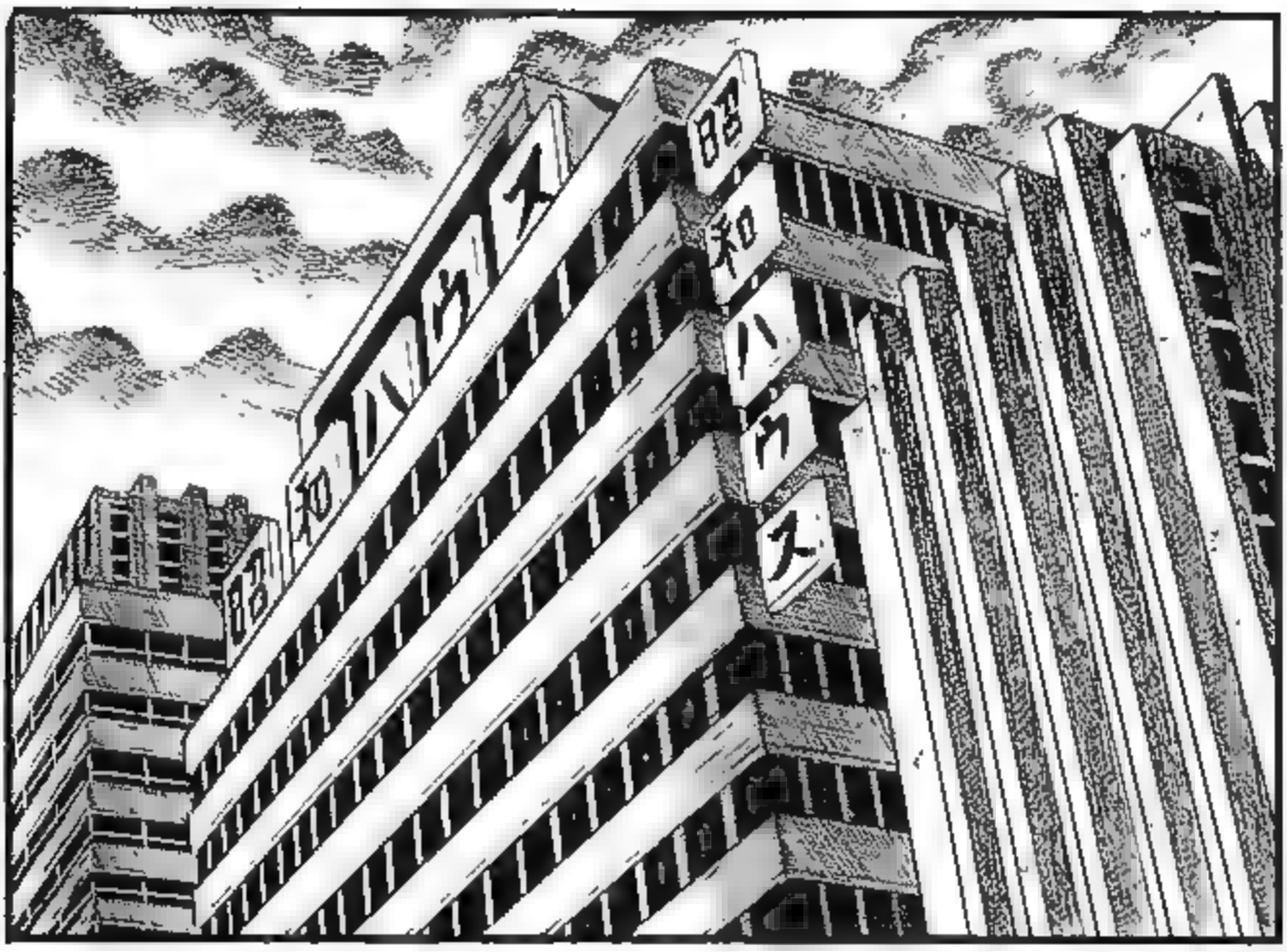
親分のうちはかろうじて燃え残りましたぞ
そうかっ……

ン……どないしたんや
あまり…うかない顔やな…

わいの家もカッパの家もボサの……みんな黒こげでんね……
ざわ…ざわ…
……

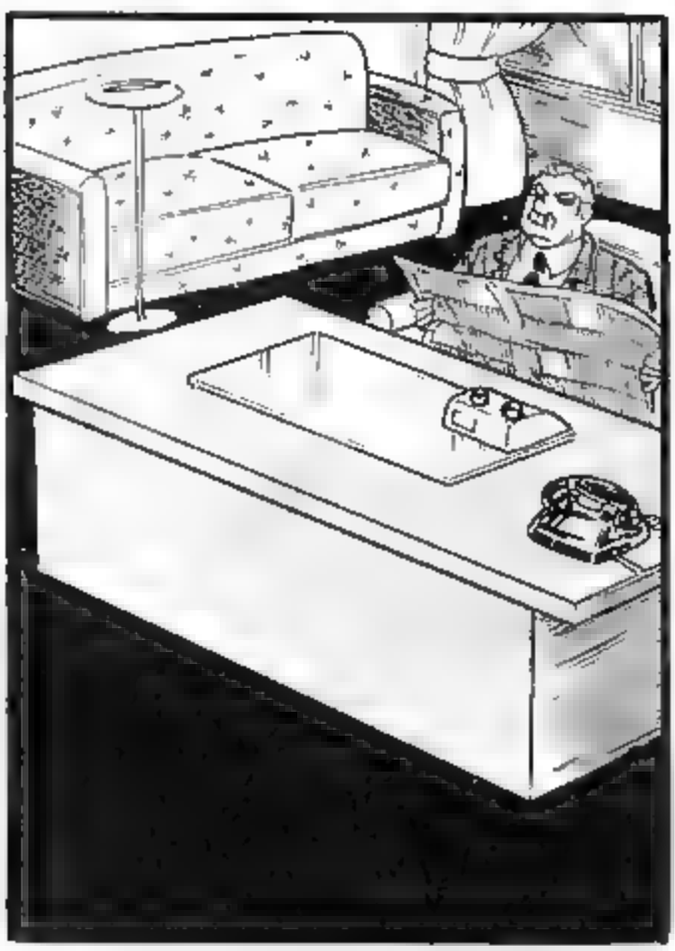
わいの家もや……
ほんまか…わいのところもパアや……


松川
寺のほうはどないした……
へい
山門は燃えちまいましたけど
本堂のほうはどうにか……
そうか
助かったか
……


昭和ハウス
昭和ハウス

……

販売部長を呼んでくれ…
はい社長



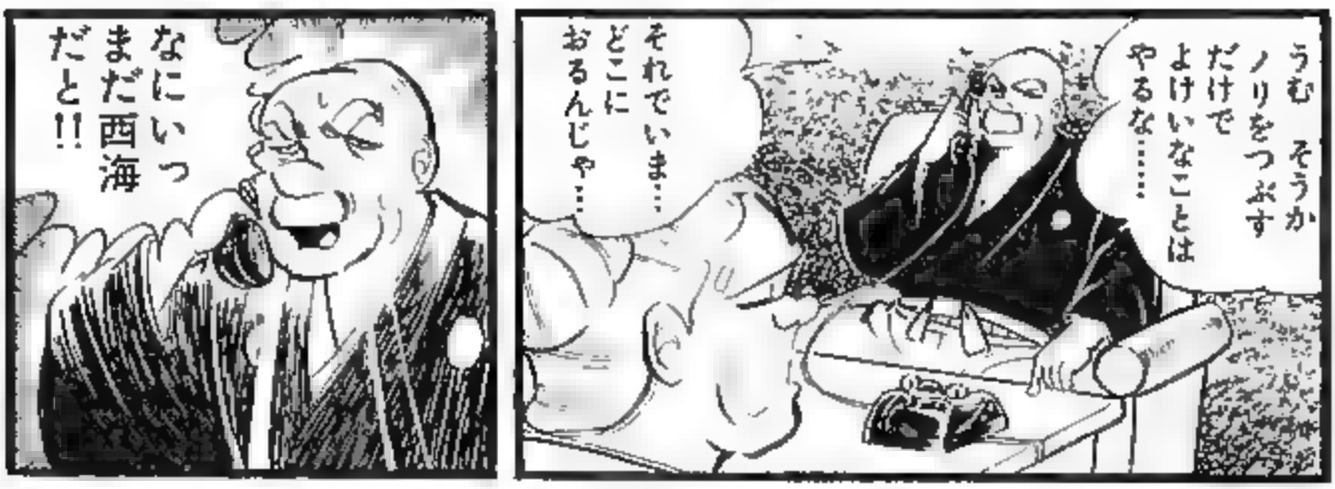
なんですか社長……
はいれ！
コンコン
いま 在庫はどのくらいある……
はあ……注文のほうがおおすぎまして…製造がまにあわん状態でして…
どのくらいあるかと聞いとる……
はあそれでも五十戸ほどなら……
ぜんぶ西海へ寄付しなさい!!
ええっなんですって!!
新聞を見たろう
西海は万吉くんの生まれ故郷じゃ……
はっはあ……

はっはは
わっはは

先生……
仲台さんから
お電話で
ございます
うむ
……

ばか者……
あの火事はどう
いうわけじゃ
おぬしとは
関係ないので
あろうな…

ああ
わしだ…


うむ そうか
ノリをつぶす
だけで
よけいなことは
やるな……
それでいま…
どこに
おるんじゃ…
なにいっ
まだ西海
だと!!

ばか者!!
いつまでそんな
ところに
おる!!
へんにうたが
われたら
どうする気だ!!

うん
うむ…
駅が燃えて
汽車が
動いとらん
のだな

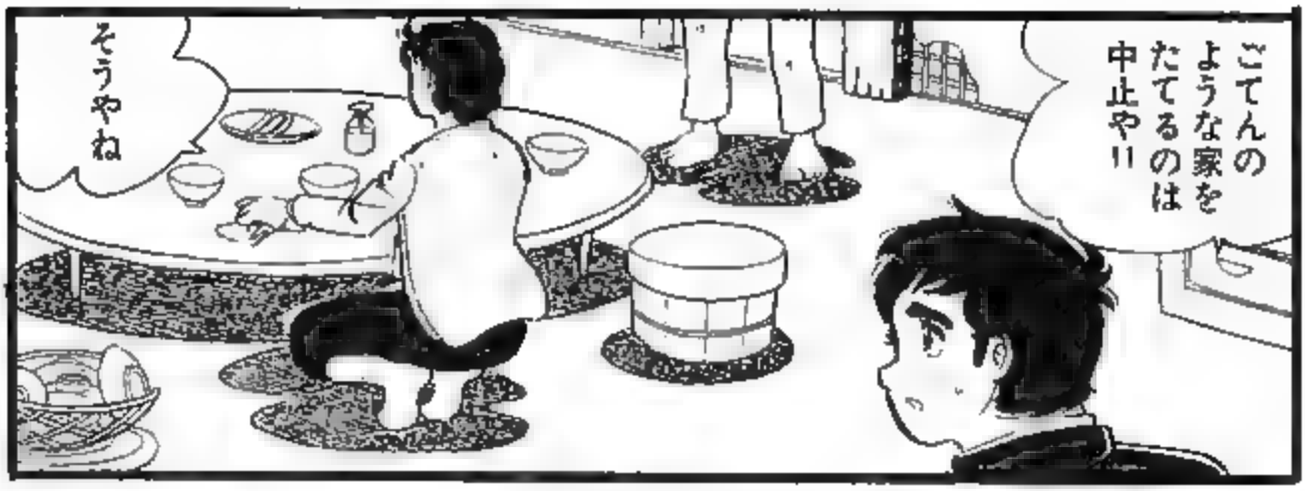
仲台とも
あろう男が
なにをぐずぐず
しとるか
まったく……

ふっふふ……
このままでは
すみませんぞ
白川先生

わかった
車をむかえに
やる……
すぐに
ひきあげ
ろ!

万吉…か
……

おかあちゃん
なに……


ごてんのような家をたてるのは中止や!!
そうやね

へっ……

かあちゃんはボロでもこの家が一番すきや
なんせおとうちゃんと一緒になる時苦労して建てた家やもんね…

ちょっとやそっとじゃ手ばなせへん……
ぎゃはは ほんまかおかあちゃん!

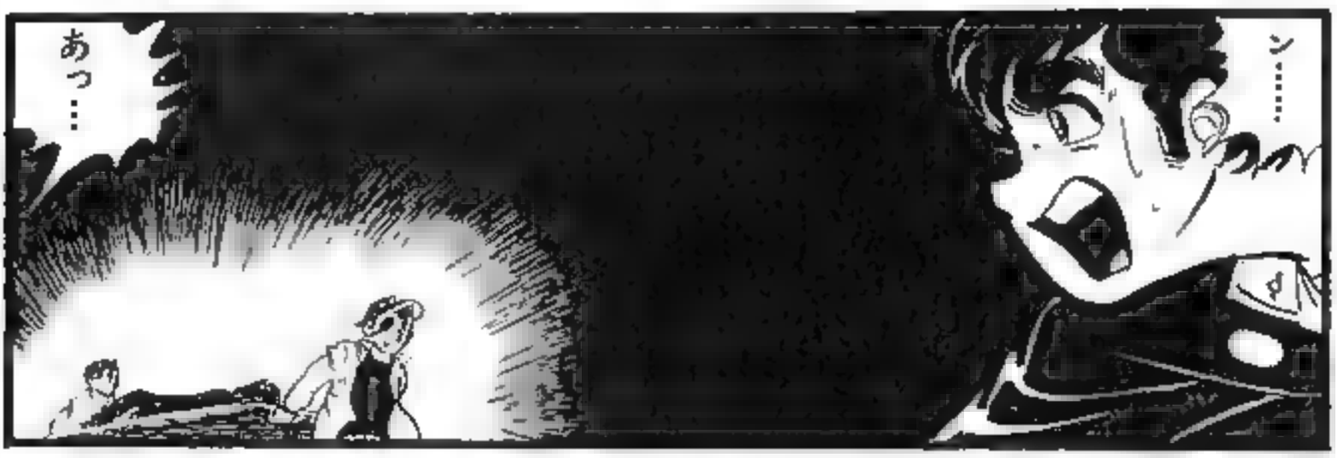
この金をすぐ家が焼けた人にくばってこいっ!
ええっ…

やっ……やっちまうんですか?…

アホ……
こんな時は
金だけが
たよりや
返せる時に
返せばいいと
いって!!
わかった
親分!!
万吉…
……
でも 万吉…
へんな話や
なあ…
海が急に
燃えだす
なんて…
ああ
……
海が燃えだした
おかげで…
ノリのほうも
全滅やそうや
……
ノリが
……?

そうや……
ノリといえば
三吉さんが
へんなことを
いってた
なあ…
三吉が…
うっ
!!
そうだ
そういえば
三吉が
おれへんや
ないけっ
あら
……
ほ……
ほんまに
おかあ
ちゃんも
いままで気が
つけへん
かった…
いつからおれ
へんように
なったんや
ノリが
あぶないとか
いって……
火事になる
ほんのちょっと
前やった…
まずい
もしや
……

もしや
あの火事
で……


ン……
あっ…

おっ……
親分!!
さっ…
三吉!!
あうっ
……

万吉怒るの巻

ちょいと
下へおりて
くれねえ
かい
下へ
おりて
くれって
いってるん
だよ……
こらーっ
交通のじゃま
だぞ きさまら
てめえにゃ
用はねえっ
すっこん
でろ
!! わっ

なっ
なんだ
きさまら
は!!

ン……
ちいっ 生きていやがったのか……三吉め
うっ……

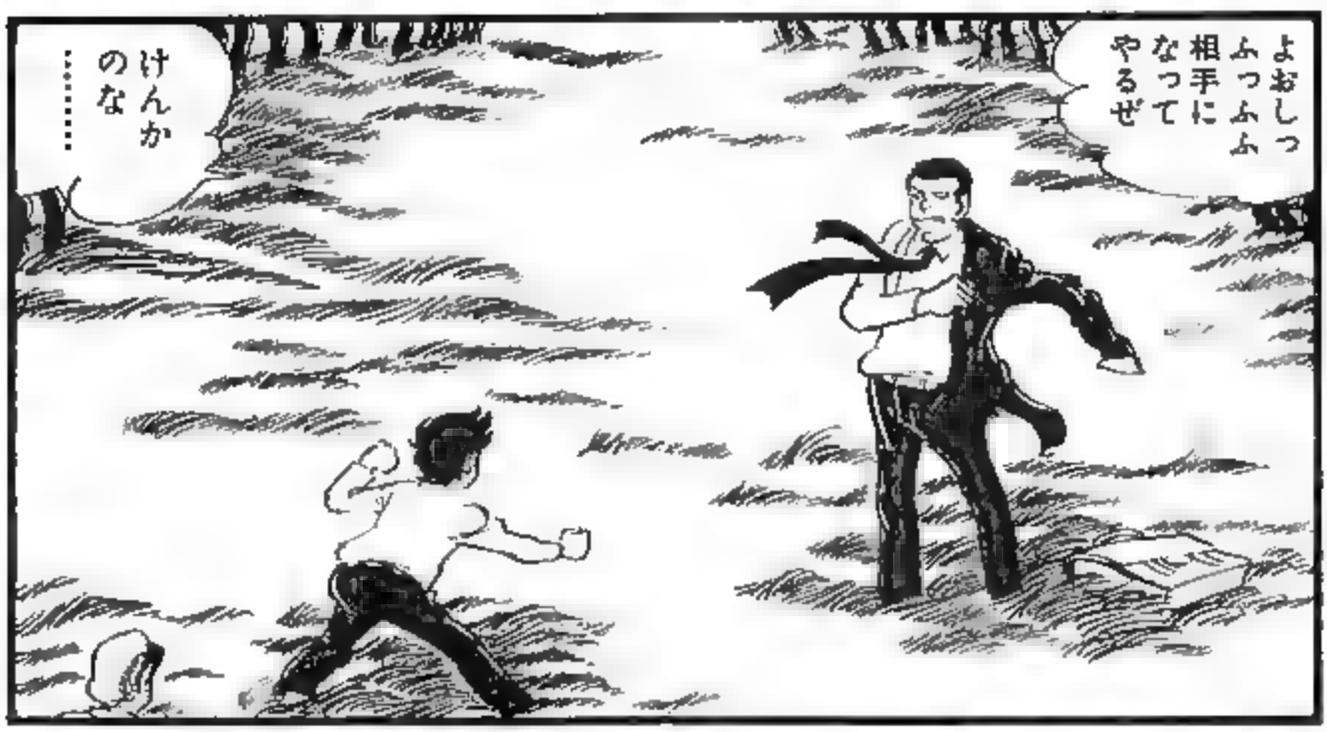
フン……
きさまら
……
このわしに
何をやる
気だ……
話は
三吉から
すべて
聞いた…
きさまか
万吉とか
ぬかす
小僧は
なんの話を
聞いたか
知らんがね
むだなことは
やめろ
物的
証拠は
あるのか?
ふふふふ
証拠は……
あまったれるんじゃねえ!!
そんなものが
通用すると
思うかっ!!
……
……

なんやてえ
そりゃあ
ほんまか
三吉!!
へっ……へい
この火事も
もとはといえば
あの仲台の
野郎が……
ノリを全滅
させるために
海に油を流した
ちゅうのんか
それを感づ
いたお前を
殺そうとした
ちゅうのんか!!
なめた
まねさらし
やがってえ
……っ
だっためだ
だめなんだよ
親分……

ねえんだよ
それを裏づける
物的証拠が
なにひとつ
ねえんだ…
アホンダラッ
そんなもん
必要ある
かっ!!
きたねえ…
うすぎた
ねえ……
うすぎたねえ
まね きらし
やがってえ
おのれのやり
くさったことを
証拠がどうの
こうのと
ごまかし
やがる
とは
ケエッ
!!
そんなもんが
この万吉さまに
通用すると
思うとんのか
くそったれーっ
銀次!!
すぐみんなを
集めろ!!
おおっ
いそげっ
五分以内に
集めろっ
わかり
やした

証拠なんぞいらん!!
おんどれがやったことが事実なら それでいいんじゃ!!
それがこの戸川万吉さまのやり方よ!!
したくをさらせ!!
けんかだなこいつは……

けんかと
思いたければ
思えー
この
戸川万吉さまが
ひさしぶりに
大げんかを
やったるで!!


よおしっ
ふっふっふ
相手に
なって
やるぜ
けんか
のな
……

ちいっ

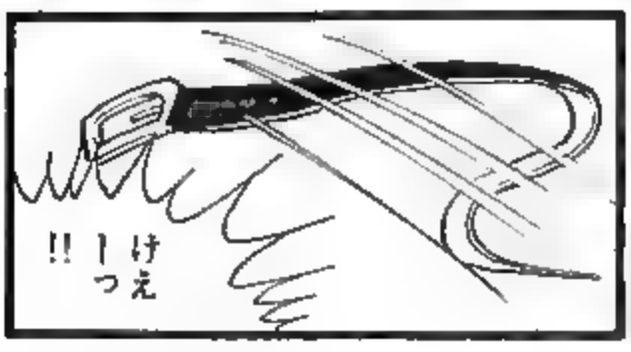
えいっわしゃガキだろうと赤ん坊だろうとようしゃせん
ケッ空手か
ふっふ……
どおりゃ!!
ケーッ!!
うっ

なめるんじゃねえ!!
ちいっ
ぐうっ
この〜〜〜っ
カス野郎!!
ぐわっ

きたねえ
まね
さらし
やがってえ
!!
おのれさえ
もうかれば
それでいい
のか!!
他人が
迷惑(めいわく)しようが
かまわんちゅう
のんか!!

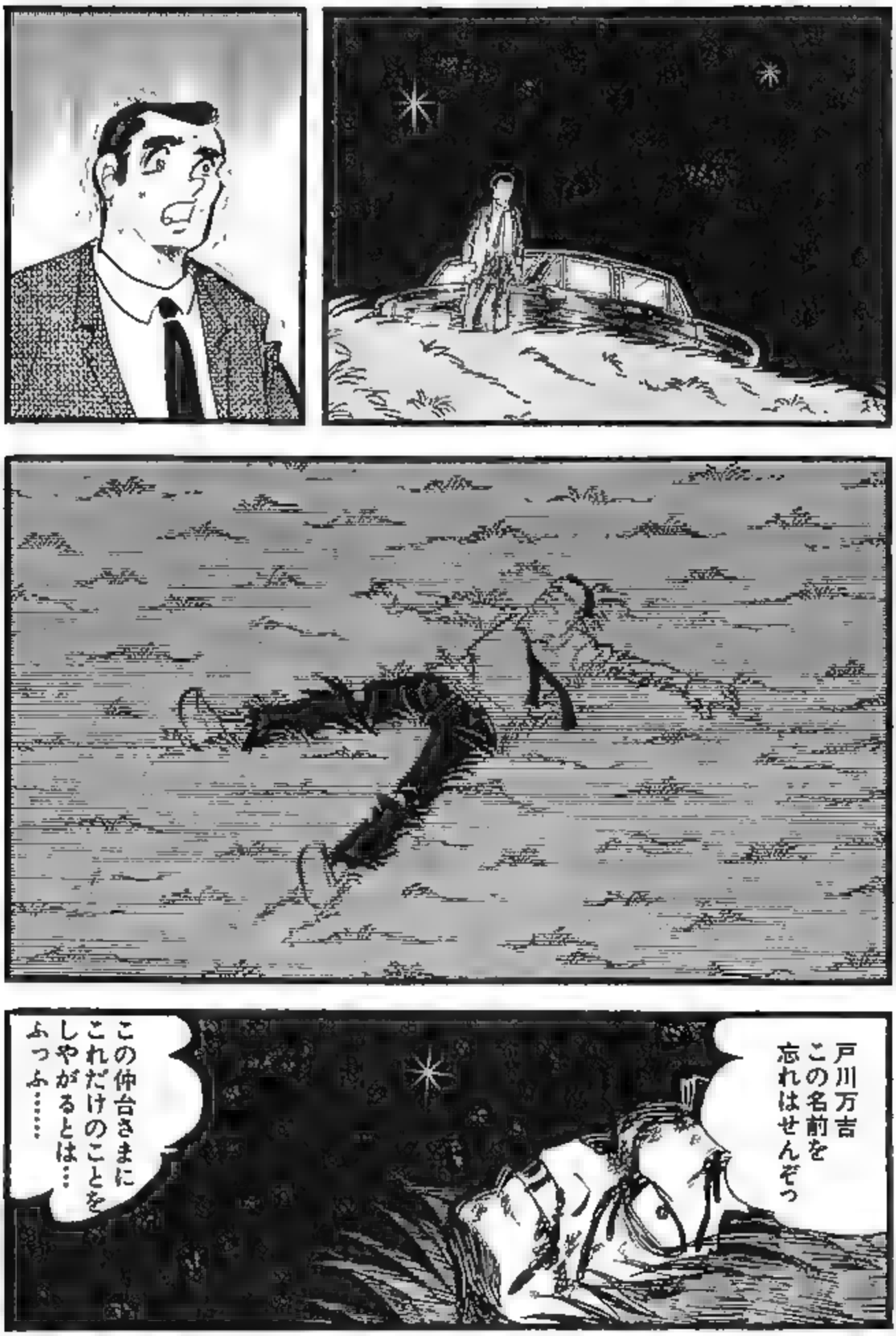
きっ……
きっさま
あ〜〜っ

おんどれの
おかげで家を
なくした者が
何人いると思う

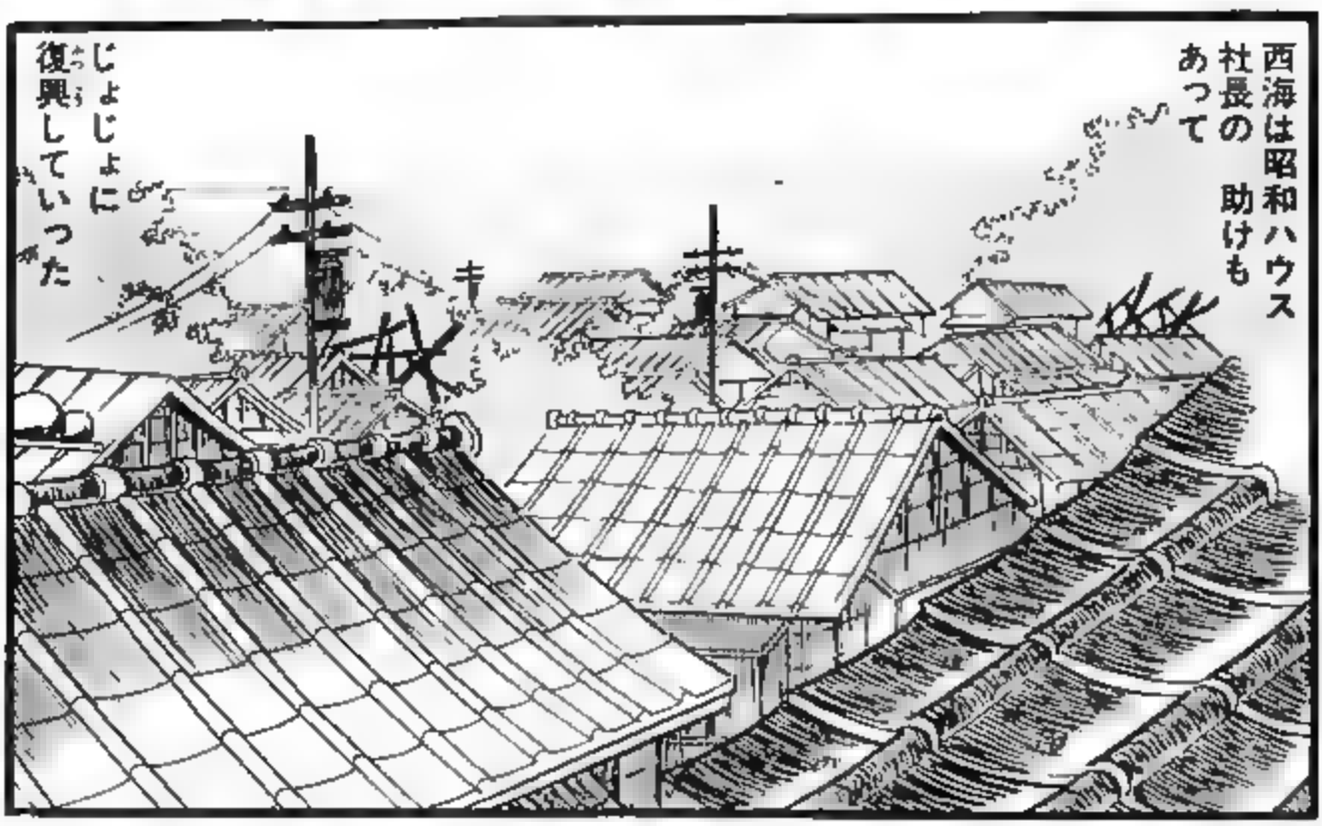

けえ
しっ
!!

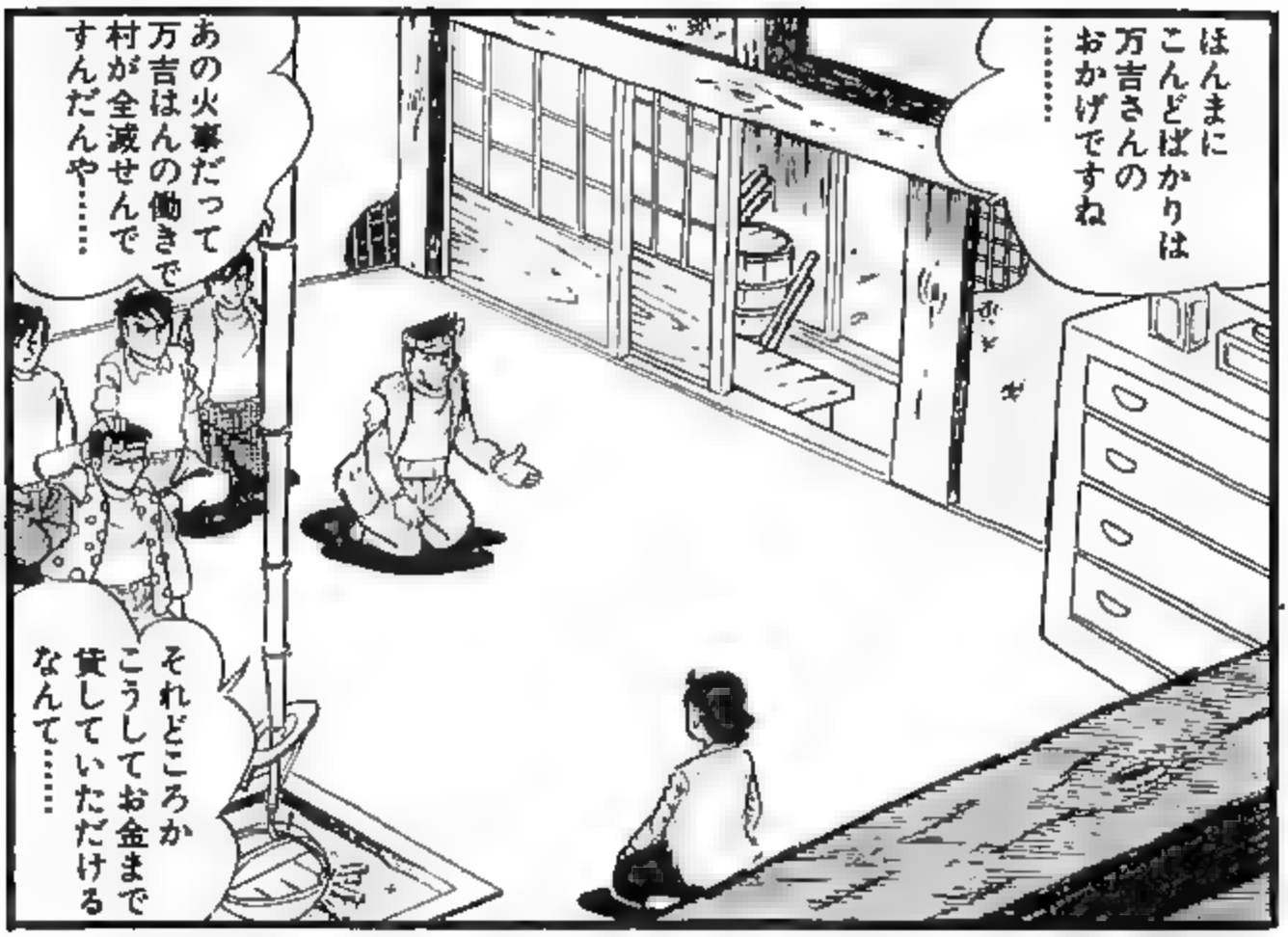
サシで勝負してやってるんやでえっ
しっかりさらせっ!!
ゲッ
それがおんどれらのやり方かいっ!!

このていどで すんで助かったと思いやがれっ
ゲッ!!
家を焼かれた奴は前へでろ……
かまうことあれへん思うぞんぶんぶちのめしたれ!!
へい


戸川万吉
この名前を
忘れはせんぞっ
この仲台さまに
これだけのことを
しやがるとは…
ふっふ……

村の半分以上は
焼けつくした
それから…数日


西海は昭和ハウス
社長の　助けも
あって
じょじょに
復興していった


ほんまに
こんどばかりは
万吉さんの
おかげですね
……
あの火事だって
万吉はんの働きで
村が全滅せんで
すんだんや……
それどころか
こうしてお金まで
貸していただける
なんて……

ほんまにもう
なんと お礼を
いってよいの
やら……
もう
わいらの
神さまですわ
ほんまに
……

とんでも
ございま
せん
こまった時は
おたがい
さまですよ
ところで
万吉さんは
…
はあ
……

うおあーっ!!
ドドド

気でも
おかしく
なったか
万吉……
和尚
!!

あんさん
たしか　わいの
金には
目的がない……
目的のない
金など
つかんでも
くその役にも
たたんといったな

ふふふ
ふ……
おぬし
目的を
つかん
だか!!

おお
!!っ
金をつかんで
なにをやるかっ!!
じっくりキモに
銘じたわいっ!!

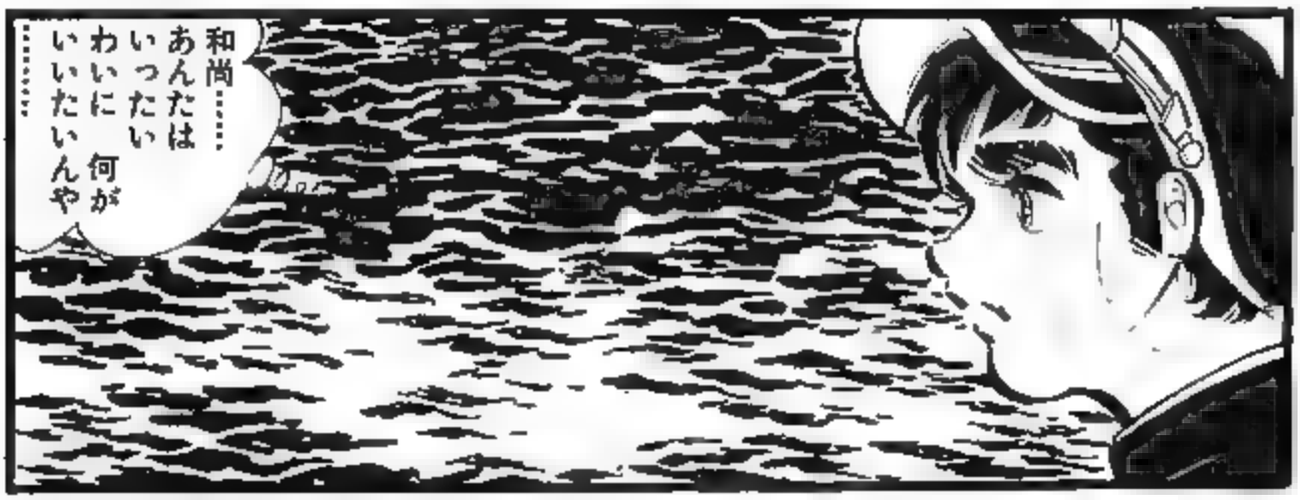
『おとなになれ！』の巻

その第一の目的はな……
水戸のばばあ仲台たちおとなの世界をめちゃめちゃにしてやるんじゃい
それをあらためて自分のきもに銘じた…
目的よ…
のう…万吉…
おう……

この前の火事の一件いらいわしゃあ おぬしにいうことはなにも なくなった……
ましてやそこまで生きる目的をつかんだのならなおさらのこと
だが ひとつさいごにいっておく!!
うっ……
おとなになれいっ!!
なっ なんじゃあ〜〜〜っ
いままでのおぬしはどこかの片すみでも生きていられた……
ただ おのれひとりの感情だけで生きられた

しかしこれからはまわりのことも考えなければならん……真中へでるんのだ
自分ひとりだけで生きているのではない……
その意味でおとなになるんじゃ…
これからは自分ひとりだけの感情でつっぱしることはできなくなる
天下をとる気ならな…
自分ひとりの感情だけではつっぱしれなくなる……
おとなになれ……

おとなになれ……
わからん……


和尚……
あんたは
いったい
わいに　何が
いいたいんや
……

おとなになれ…
そのひとことで
わいは　またわけが
わからんように
なった……

わいの考えは
そんなに
子どもや
ちゅうのかい
そんなにあまい
ちゅうのんか？

万吉親分
……
ン……

おうっ!!
光五郎……
いつきたんや……
そんなことより……まずい……
なぜ…あんなまずいことやったんだ
なっ……なんだと……
仲台のことだよ親分…
なぜ手をだしたんだ……

あほんだらっ
悪いのはあの仲台の
くそ野郎や
おのれは
なにも知らん
のんじゃい!!
あんた…
あまく見すぎた
な　奴らを…

なっ……
なんじゃ
とお〜〜っ

仲台は　まだ
いい…しかし…
奴のうしろにはな
……

日本財界を
アゴで
動かすほどの
大人物……
白川宇太郎がかまえとる
……

白川宇太郎
……

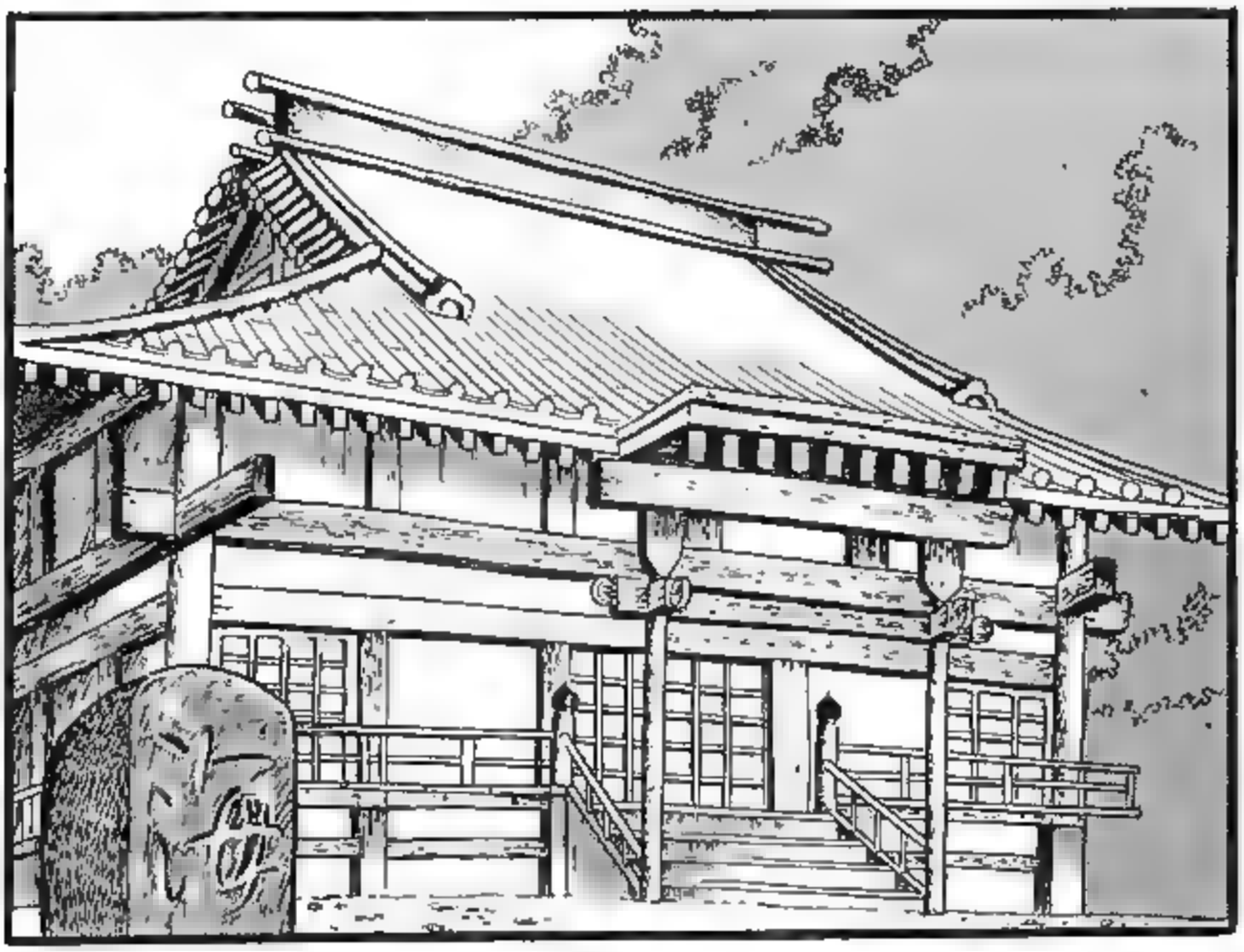
なんじゃ
そりゃあ
〜〜〜っ
その白川が
だまっちゃ
おるまい…

ケーッ
無いのんは　奴らの方や　そんなカス野郎がなん人こようともびくともするかい…
!!
かん

なあ親分……
こいつはすでにおとなのけんかに　入っとるんやで

おとなのけんかとは　なぐりあうことではない
今までのあんたのやり方では　通用せんのだ……

いちおうの覚悟だけはしておいてもらおう…
万吉親分……



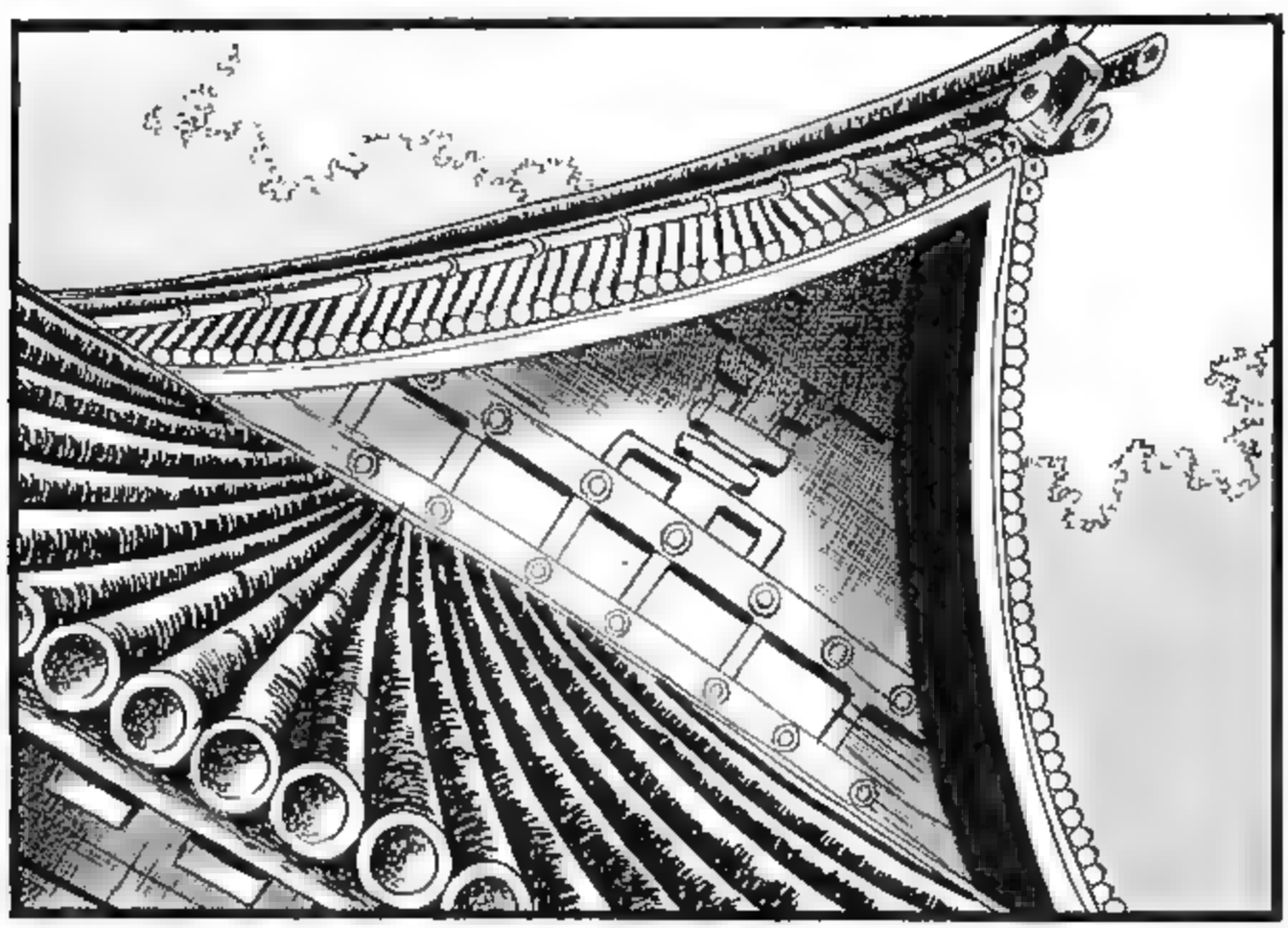
いやなもんだで……
万吉よ……

おとなというものは…

いちいちまわりのできごとに気をくばりピクピクしておるんじゃ……

今まで なにをしるにしても理屈より 体でしってきたおまえじゃ
野性の男だった人間じゃ…
そんな万吉におとなになれ まわりに 気をくばれとは
わしも罪な坊主かもしれん

しかし万吉…今までのような野性味だけでは…これ以上でかくなれんのじゃよ
野性プラス理性…それが…人間じゃ…



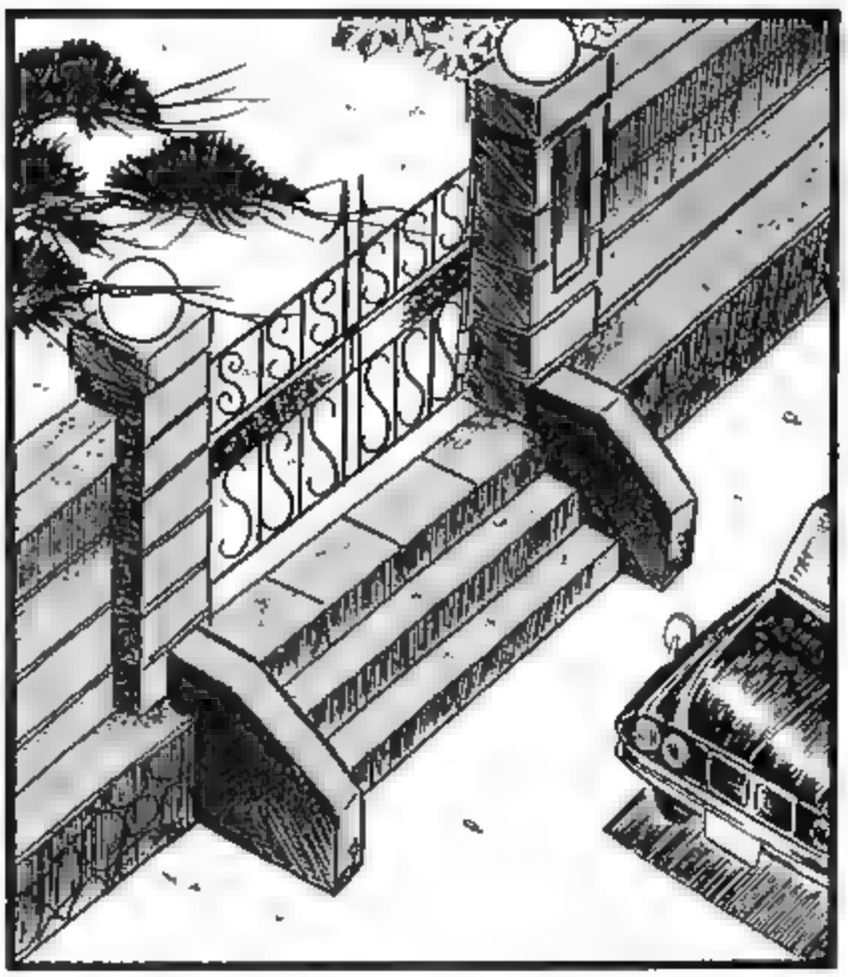
ばか者
めえっ
!!

はっ…
はあ…

たかが
小僧一匹に
……
なんという
ざまじや

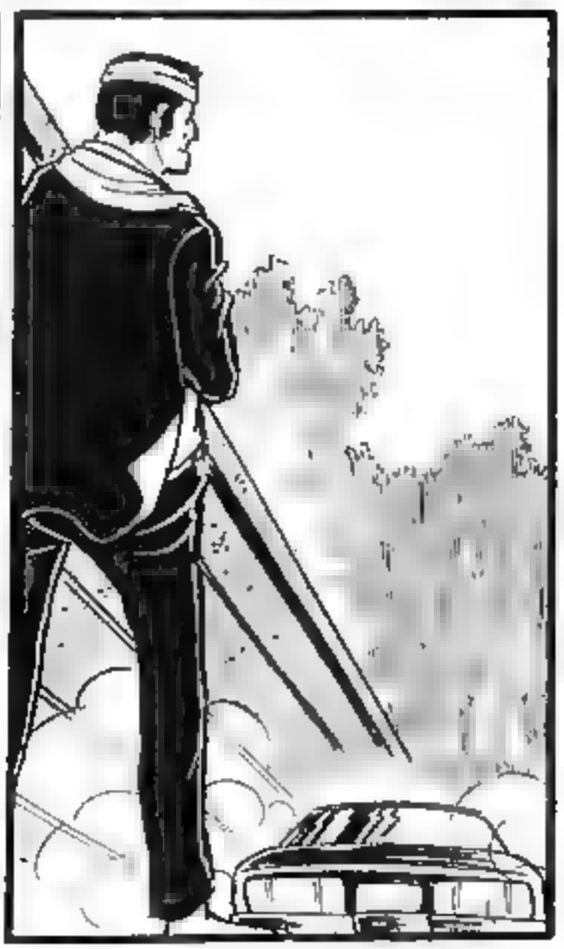
仲台……
はっ…
海に油を流したふたりをすぐ…自首させろ
ええっ
はい先生……
検察庁の田中につないでくれ……
田中か…白川だがな……
これはこれは白川先生…わざわざなんのご用で…
ンム……たいした用ではないがな……
小僧をひとり告訴したいと思ってな……

いいか……わしのいったとおり すぐ入院するのじゃ
すべてたのんである……

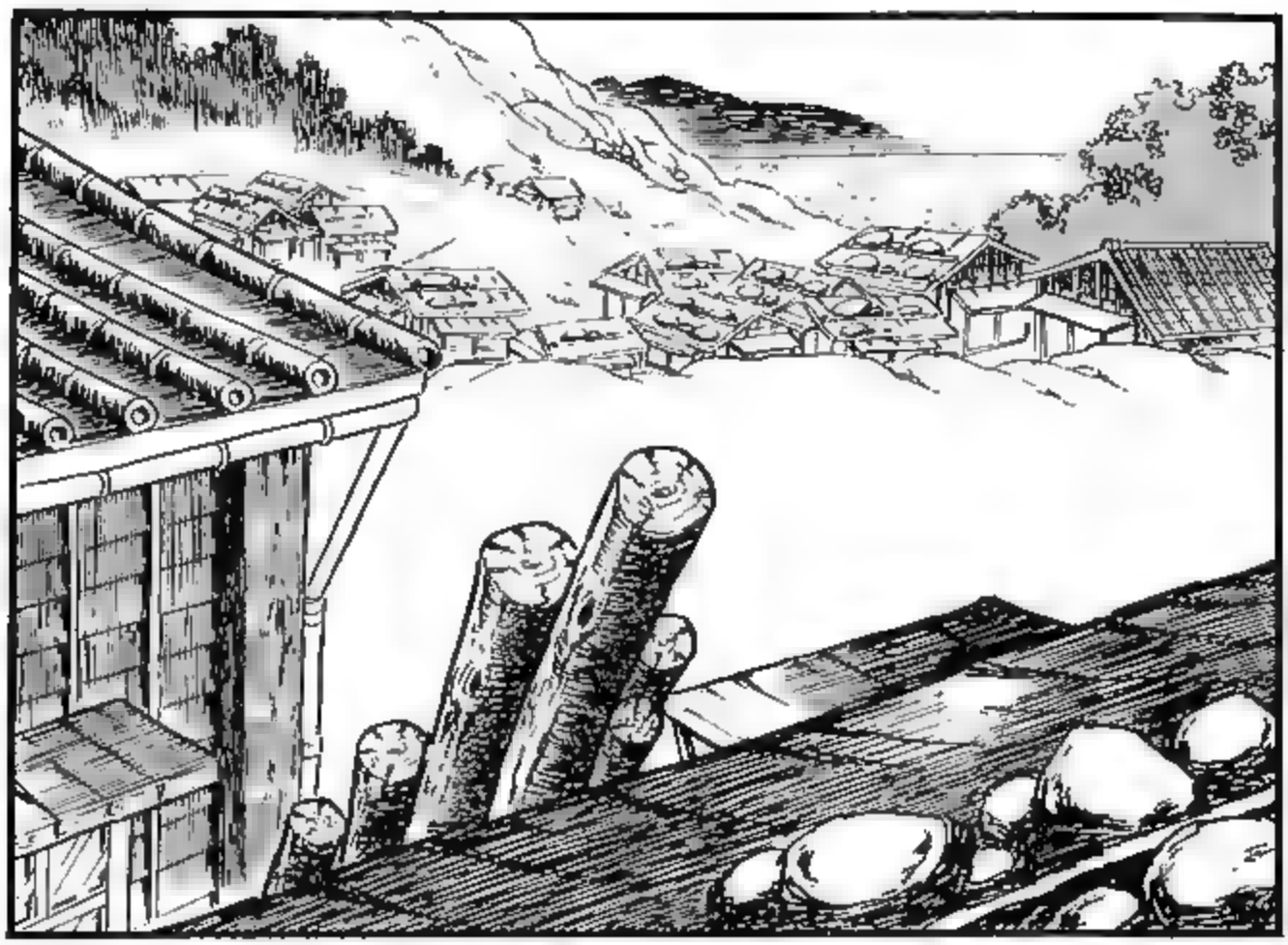


はっ

ふっふふ……ばかに こだわりますな万吉に……
ふっふ……



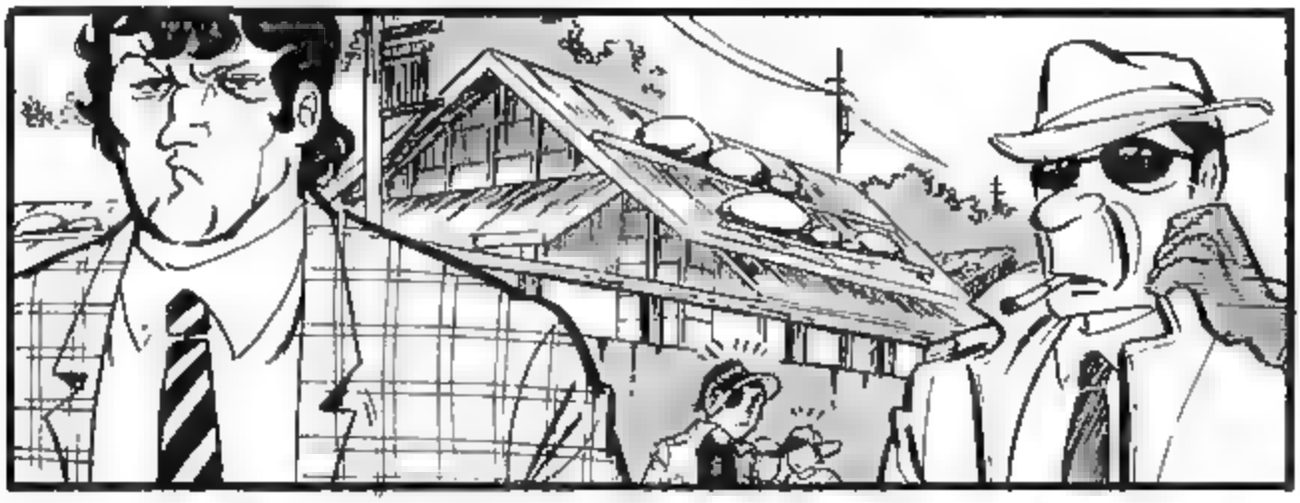
しゃらくさい小僧じゃ……
少し にえゆを飲ましといてやろうと思ってのう…



あっ…銀次兄き!!
よう おまえら……

あれっ……なんやのん…そんな格好して……
ばっきゃろう 見りゃあわかるだろう 釣にいくんでえの！
へーっ つり〜っ
あの……銀次ちゃんが……
あっはは きゃはは
ばっきゃろう なにがおかしい……
だって…気のみじかい銀次ちゃんが釣だなんて…
ガラとちゃうでえ
ちぇっ…親分が例の病気にかかったからよう……
例の病気？……
ああ……寺の屋根ですわるのよ……

ええ〜っ
また〜っ
でも
なんでや…
そんなに
なやむこと
ないはずやで
知るかい
そんな
こと……
だから…
こーんな
でっけえ
タイでも
つってな
親分を　元気
づけようと
思ってんだよ…
どうだ
お前らも
いくか？
わーっ
いくいく
……
そうか
よっしゃ
つれてって
やるぜ……
そういうことだったら……わいらが
いかなきゃ親分に
タイをたべさせ
られへんもんな
なんせ……
銀次兄イに
つれるわけ
あれへん…
なにーっ



あっ
あいつら
刑事だ…
まちがい
ねえ……

いや 待てよ…
それとも
こんどの
万吉親分の
功績に対して
……

おれっちの感に
くるいはねえ
……
そうか…
いよいよ…
こんどの火事の
原因を 調べに
きたんだな
どったん
銀次兄イ

なんか表彰に
きたに
ちげえねえっ

よう
ちょっと
待ちねえ
刑事さん
うっ！
ン

へっへへ…
あんたら
刑事さん
だろっ
……
しかも
東京の
刑事さん
だっ……
うむ～っ

たしかに
そうだが…
しかし
よく
わかったな
きみ……

へっへへ…
ずいぶん
世話になった
からねえ
おれも
……

第六感で
ピーンと
くらあ…
じつはな
……
戸川……

万吉親分だろっ
そいつも
ピーンと
きたぜ……

うわーっ
親分
万吉親分
えらい
こっちゃあー
銀次が
銀次がっ……
ン……
どうした…
何があった
んだ……
へい…
なにいっ!!!
銀次
がっ…
なんでだ……
なんで
そんな
ことを……

赤姫山籠城の巻

きっ
きさま
われわれに
こんなことを
して……
いったい
どういう
気なんだ…
やっか
ましい
～～～っ
ほめられ
こそすれ
……
おれたちの
万吉親分は
な……
つかまえ
られること
なんざ
ねえんだ
……
うぐっ
ばか
やろう
～～～っ

ちくしょう〜〜っ
ちくしょうーっ
うわっ
わっ
わっ 銀次!!
おっ おやぶん……
きさま 東京の刑事になにをやったんじゃい
おやぶんよお〜〜っ
ぎっ…銀次〜〜っ

ラッパ〜〜〜ッ
なっ なんじゃい……
これから すぐに 万吉一家を 召集しろっ
なっ… なんやて〜〜っ
いいから 集めろっ ラッパ
おっ… おやぶん
銀次の いうとおりに しろっ…
へいっ!!
そのかわり わけは… 話してくれる だろうな… 銀次…

ほんとに
ここには
いないわけ
ですな…

かくすと
ために
なりません
よ……

なぜです
……
どういうわけで
うちの万吉に
逮捕状なんて…

仲台氏に対する
集団暴力行為の
うたがいです
仲台氏は
いま全治三か月の
重傷で 入院
している…

いませんよ 万吉は…
どこぞへ遊びにいっているんでしょう…
何度もいうがかくすとためになりませんよ……
帰っておくんなはれ!!
うわ〜〜っ
親分…
こういうことなんだよ…
和尚もわしもいった大人というものは…
人をなぐればそれだけのむくいをうけなければならん……
目的だけでの感情では動ききれなくなってくる…

しかたがない
それじゃ
万吉が帰ったら
すぐ連絡して
くださいよ…
いちおう
われわれは
これで帰り
ますから…
うっ
……
なっ…
なんだね
あんたたちは
……
東京の刑事
だか何だか
知りまへん
けどな…
万吉はん
はこの村の
救い主や…
あの火事の時で
も万吉はんが
おれへんかったら
村は全滅してた
かもしれへん…
いいことは
してるが
悪いことは
これっぽっちも
してへんのや

それを
逮捕とはどな
いなっとん
のじゃい!!
うっ
どついて
もたろか
!!
まて
まて
まてーっ
これ以上 さわぎを
大きくしたら…
なおさら
万吉親分の
たちばを
悪くするだけだ…
し…
しかし
光五郎さん
いいから
わしに
まかしとき
さい……
頭!!
じつは
……
なに
いーっ
!!

わかったかあ野郎ども

おうっ

どんなことがあっても万吉親分を守るんだっ!!

親分はこれっぽっちも悪いことはしちゃあいねえっ

悪いことをしてねえのになぜつかまえられなきゃならねえんだい!!

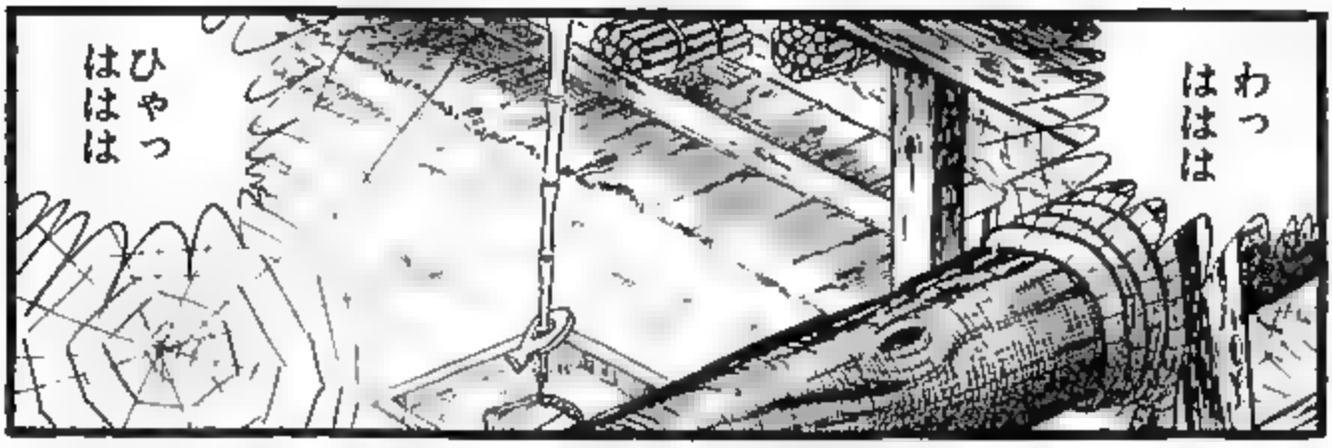
赤城山の国定忠治じゃねえが一年が二年になろうとも

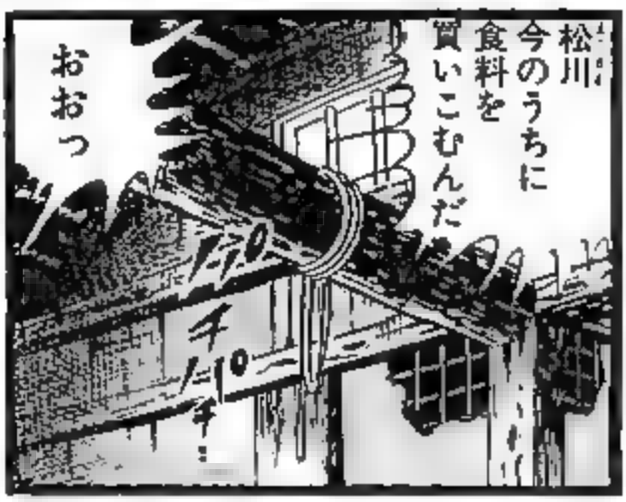
この赤姫山へ
たてこもって
籠城だあ
〜〜〜〜っ
おおーっ

兵隊は千人
金はこのとおり
がっぽり
あるぜ

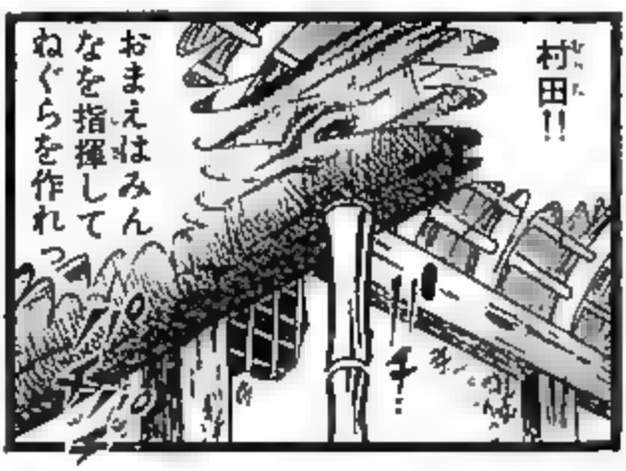
そしてけんかの
あいては親分を
つかまえにくる
警察
だっ!!

こいつは
おもしえことに
なって
きたぜ!
なにが
なんでも
親分を渡して
たまるか
いよいよ
わいらの
出番じゃ
い……


わっ
ははは
ひゃっ
ははは


松川
今のうちに
食料を
買いこむんだ
おおっ

ケエ～～ッ
へへへへ
銀次
おんどりや
かんろくが
ついてきたな


村田!!
おまえはみんな
なを指揮して
ねぐらを作れっ

あった
ぼうよ……
わあ…
ははは
はは…

和尚……あんたがいった大人になれという意味わいのばかな頭でいまはっきりわかったぜ……

ふふふふ……赤城山の国定忠治か……

うわあっはははははは

へい親分…

ズバッ…

山を降りてこの手紙をおかあちゃんにとどけるんじゃ……

うわあ
ははは……
ひーひっ
一千人の
子分をひきつれて
赤姫山に
たてこもった
とは…ひっひ
はほほは
なんと…
なんという
笑いごとだ…
はあっは
ははは……
どうしても
逮捕する
きかね…
ああっ
なにごともなく
すなおに 出頭
すれば かるい
始末書ですんだ
かもしれん
がな……
われわれに
暴力行為をし
こうなって
しまっては
ただでは
すむまいっ
……

なにがおかしい
あすにでも逮捕する……
ふっふ……
そう 簡単にいくかと思ってな……ふっふふ……
なに!!
あれは事故だ……
そんなことより海に重油が流れこんでいた原因はわかったのかね
船ではこぶ途中あやまって船を転覆させてしまったらしい
こわくなって逃げていたらしいが自首してきた
やはり手はうっていたか白川め…

なにい〜〜っ
それから三吉にたいする仲台の殺人未遂は
ボッ
殺人未遂……ばかをいうな……
あれも事故だぐうぜん燃えた柱の下じきになっただけさ…
仲台氏はなにも手をくだしていない……
ふっふふ
あんたらまでワイロをもらっているらしいな
きっ
ききまーっ
なんてことをいいやがる日本の警官をなめるな!
ぐっ

ふっふ……ふ…
怒ったか…
怒れば　あんたら
でも　なぐりたくも
なるだろう
なにいっ
やめろっ
きみ!!

万吉親分も
おなじことを
しただけじゃ
……

ふふ…
まあ……
かんたんに
逮捕できると
思わんほうが
ぶなんだな…
ふっふ
ふ……